

# 浪江町 住民意向調査 報告書

令和8年3月

復興庁  
福島県  
浪江町



# 浪江町 住民意向調査

## 報告書

### 目次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 調査結果（主要項目）</b> . . . . .	5
2-1 世帯の属性・状況 . . . . .	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1）） . . . . .	7
2-1-2 現在の居住自治体（問4） . . . . .	7
2-1-3 現在の住居形態（問5） . . . . .	8
2-1-4 現在の世帯人数（問6） . . . . .	8
2-2 調査結果 . . . . .	9
2-2-1 浪江町への帰還意向（問7） . . . . .	9
2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由（問8） . . . . .	13
2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じている こと（問9） . . . . .	14
2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族（問10） . . . . .	15
2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問11） . . . . .	15
2-2-6 浪江町への帰還時期（問12） . . . . .	16
2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること （問12-1） . . . . .	17
2-2-8 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・ 帰還しない理由（問13・問15） . . . . .	18
<b>III 調査結果（全項目）</b> . . . . .	19
3-1 回答記入者の属性 . . . . .	21
3-1-1 性別 . . . . .	21
3-1-2 年齢 . . . . .	21
3-1-3 現在の職業（就業形態） . . . . .	22

3-1-4	現在の業種	23
3-1-5	今後の就業意向	24
3-1-6	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業 (就業形態)	24
3-1-7	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種	25
3-2	東日本大震災発生時の世帯の状況	26
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	26
3-3	現在の世帯の状況	27
3-3-1	現在の居住自治体	27
3-3-2	現在の住居形態	29
3-3-3	現在の世帯構成・人数	30
3-4	将来に関する世帯の意向	31
3-4-1	浪江町への帰還意向	31
3-4-2	浪江町への帰還を決めた理由	36
3-4-3	浪江町内での今後の生活において必要だと感じている こと	38
3-4-4	浪江町内での今後の生活において必要だと感じている ことの具体的な内容	40
3-4-5	浪江町へ帰還する場合の家族	41
3-4-6	浪江町へ帰還した場合の世帯構成・人数	43
3-4-7	浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態	44
3-4-8	浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望 する地区	44
3-4-9	浪江町への帰還時期	45
3-4-10	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること	47
3-4-11	浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由	48
3-4-12	浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいと して検討する住居形態	50
3-4-13	浪江町に帰還しない理由	51
3-5	復興公営住宅についての世帯の意見	53
3-5-1	福島県営の復興公営住宅(浪江町外)への入居意向	53
3-5-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期	55
3-5-3	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	55
3-6	情報入手についての世帯の意見	56
3-6-1	浪江町に関する情報の入手経路	56
3-6-2	浪江町役場から欲しい情報	57
3-6-3	なみえ新聞を利用しているか	58

3-6-4	なみえ新聞を利用していない理由	58
3-7	不動産の取り扱いについての世帯の意見	59
3-7-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向	59
3-7-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向	59
3-7-3	浪江町内に保有する農地の利用意向	60
3-8	浪江町に対する世帯の思い	61
3-8-1	浪江町への誇り・愛着を持っているか	61
3-8-2	浪江町の自慢できるところ	61
3-9	意見・要望	62
3-9-1	意見に係る記入内容の分類結果	63
3-9-2	生活について	64
3-9-3	震災発生前の居住地について	66
3-9-4	賠償について	68
3-9-5	帰還について	69
3-9-6	避難期間中及び将来の住宅について	71
3-9-7	除染について	72
3-9-8	復旧・復興について	74
3-9-9	原発の安全性について	75
3-9-10	原発事故に対する対応について	76
3-9-11	その他	78
<b>IV</b>	<b>●考資料</b>	<b>79</b>
4-1	使用調査票	81



# I 調査の概要



## 1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた浪江町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	浪江町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 6,976世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）、及びWEB調査
(4) 調査期間	令和7年10月6日（月）～令和7年10月24日（金）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、浪江町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 2,889世帯（有効回収率41.4%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和7年度について述べている。  
（令和6年度の結果は、参考値として掲載）



## **II 調査結果（主要項目）**

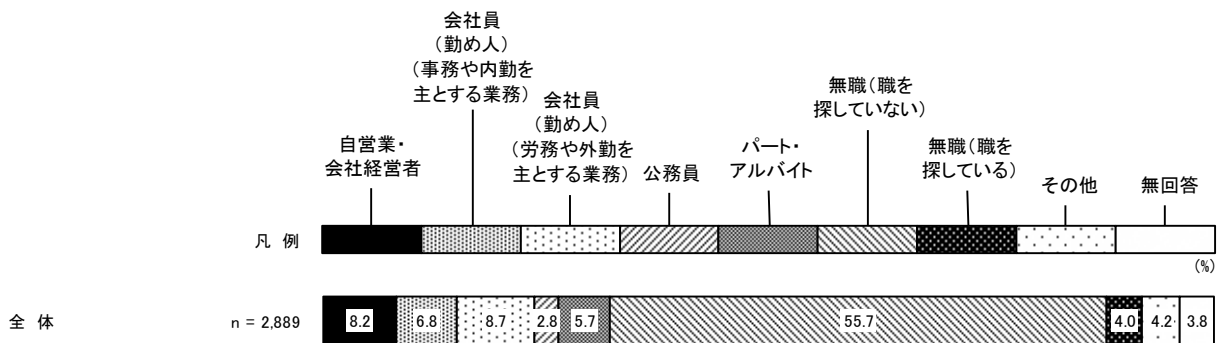


## 2-1 世帯の属性・状況

### 2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が8.7%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者」が8.2%となっている。

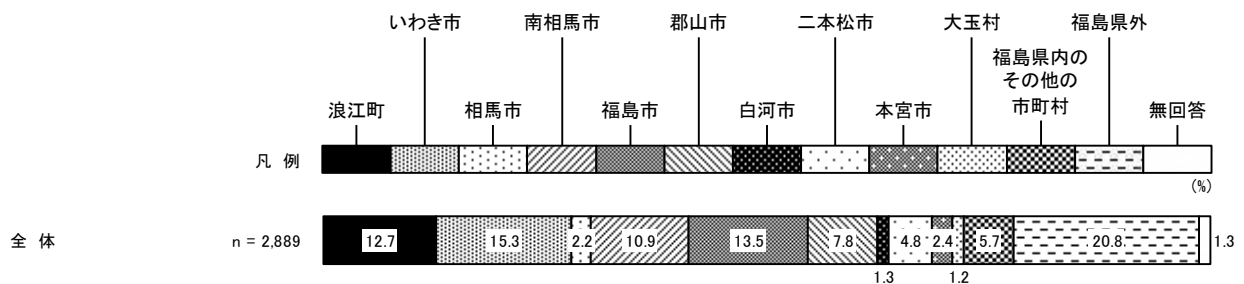
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



### 2-1-2 現在の居住自治体（問4）

現在の居住自治体については、「福島県外」が20.8%と最も高く、次いで「いわき市」が15.3%、「福島市」が13.5%となっている。

<図表2-1-2 現在の居住自治体>



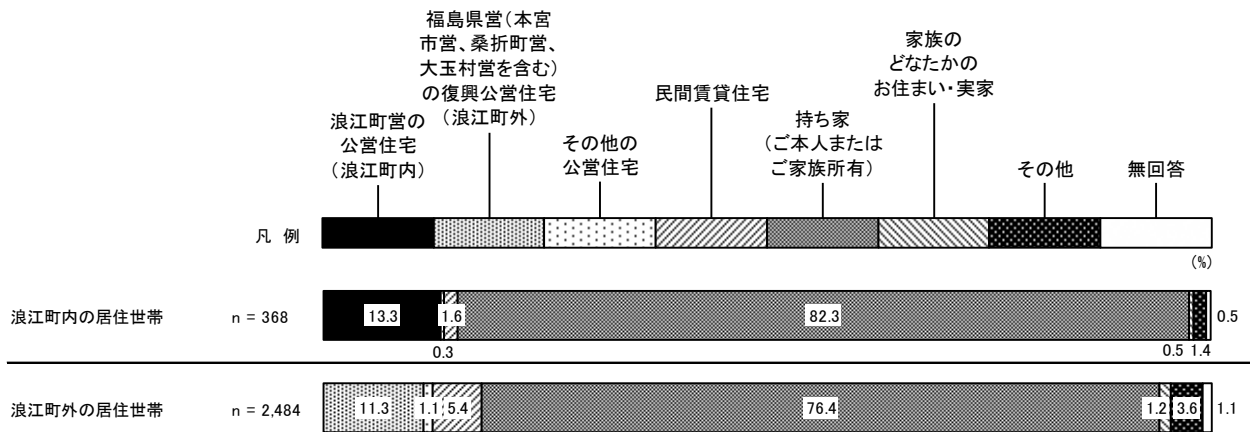
## II 調査結果（主要項目）

### 2-1-3 現在の住居形態（問5）

現在の住居形態について、浪江町内の居住世帯では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が82.3%と最も高く、次いで「浪江町営の公営住宅（浪江町内）」が13.3%となっている。

浪江町外の居住世帯では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が76.4%と最も高く、次いで「福島県営（本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む）の復興公営住宅（浪江町外）」が11.3%、「民間賃貸住宅」が5.4%となっている。

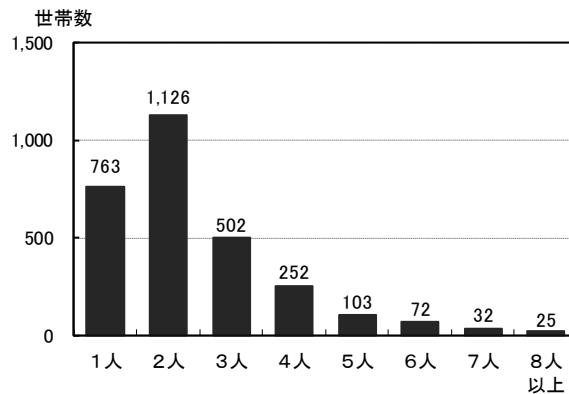
<図表2-1-3 現在の住居形態（現在の居住地域別）>



### 2-1-4 現在の世帯人数（問6）

現在の世帯人数については、「2人」が1,126世帯と最も多く、次いで「1人」が763世帯、「3人」が502世帯となっている。

<図表2-1-4 現在の世帯人数>



## 2-2 調査結果

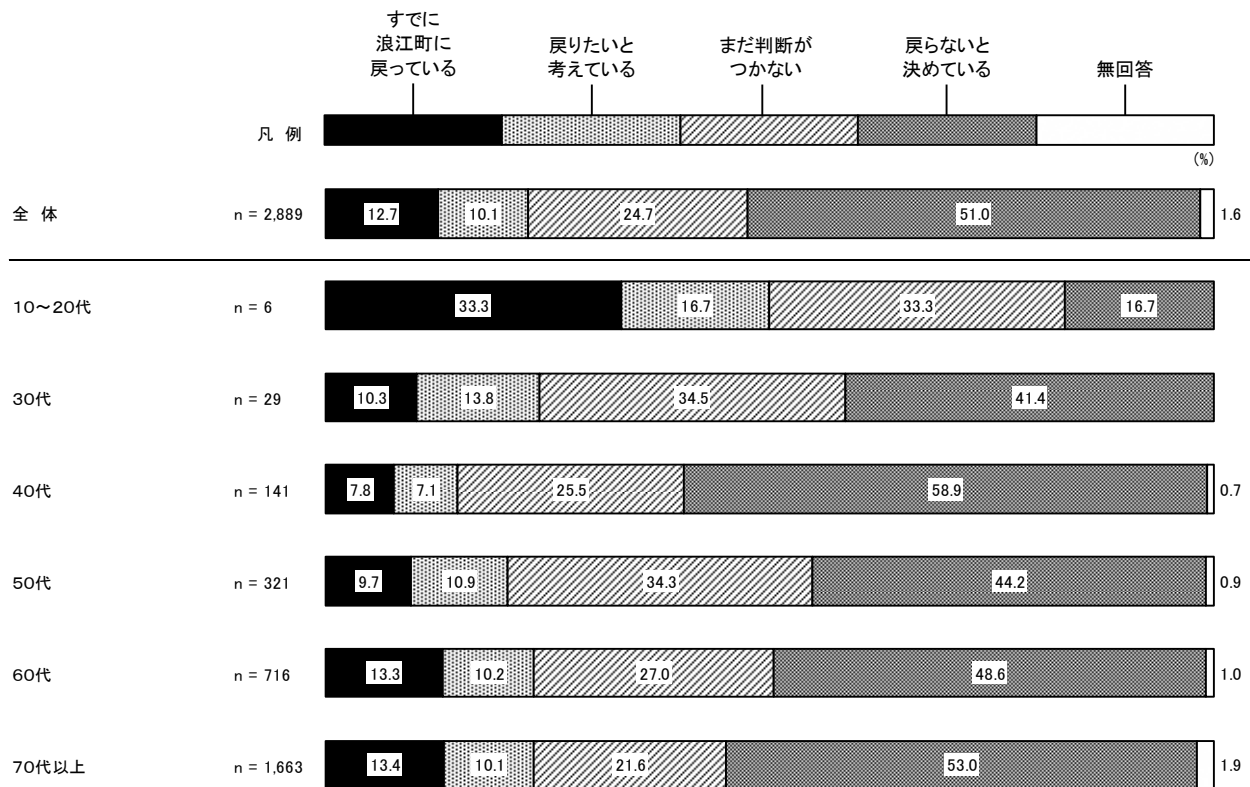
### 2-2-1 浪江町への帰還意向（問7）

浪江町への帰還意向については、「戻らないと決めている」が51.0%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が24.7%、「すでに浪江町に戻っている」が12.7%、「戻りたいと考えている」が10.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「すでに浪江町に戻っている」「戻りたいと考えている」を合わせると浪江町への帰還意向のある人は、40代以外では2割以上となっている。

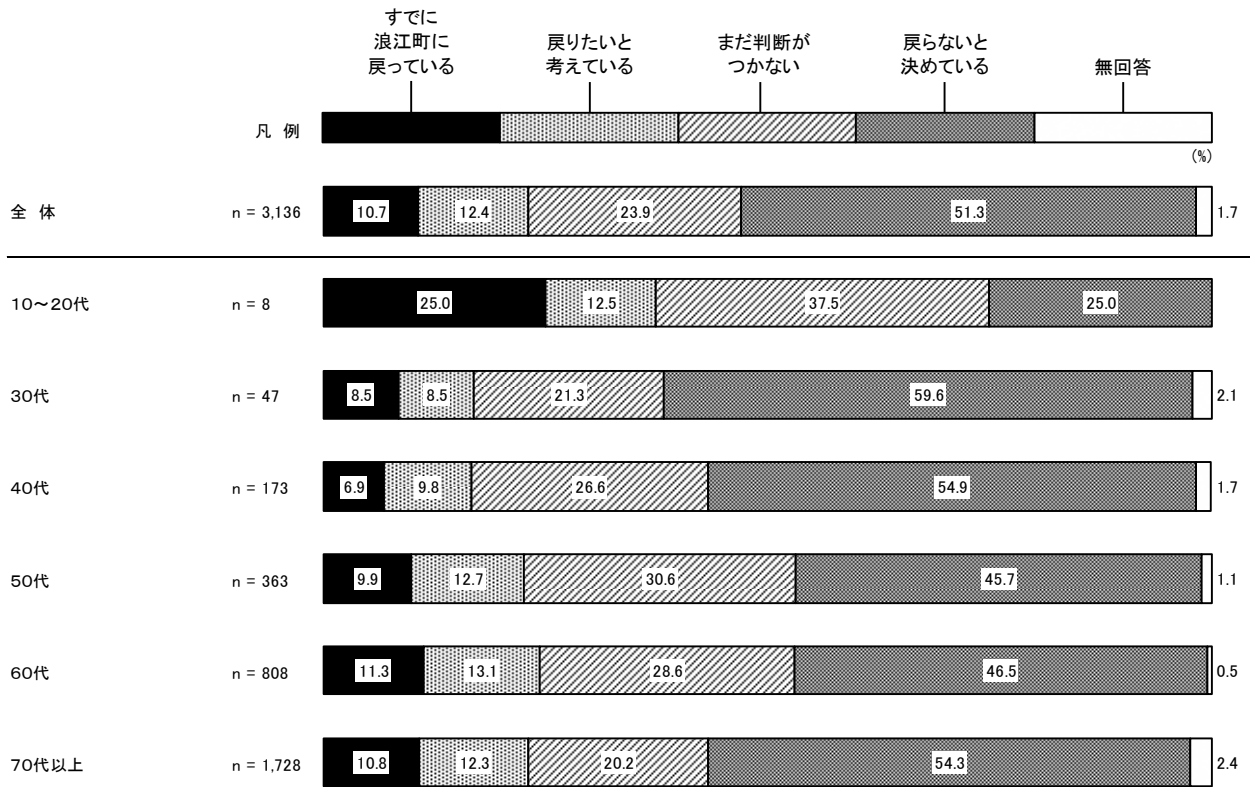
震災発生当時の住まいの行政区別にみると、浪江町への帰還意向のある人は羽附（52.0%）、畑川（50.0%）、南津島下（45.7%）、大屋（44.4%）、井手（40.0%）で4割以上となっている。

<図表2-2-1-1 浪江町への帰還意向：令和7年度（年齢別）>

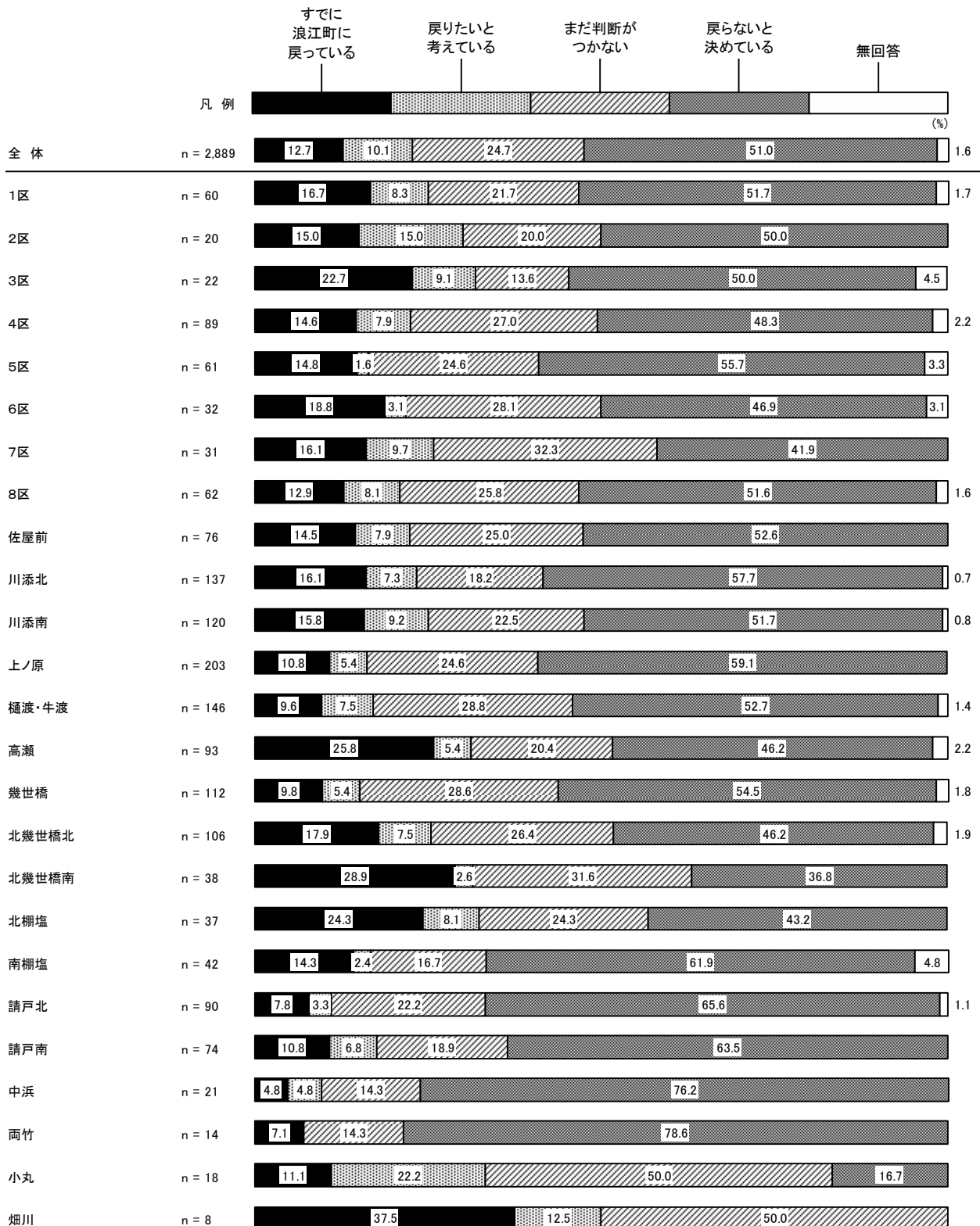


## II 調査結果（主要項目）

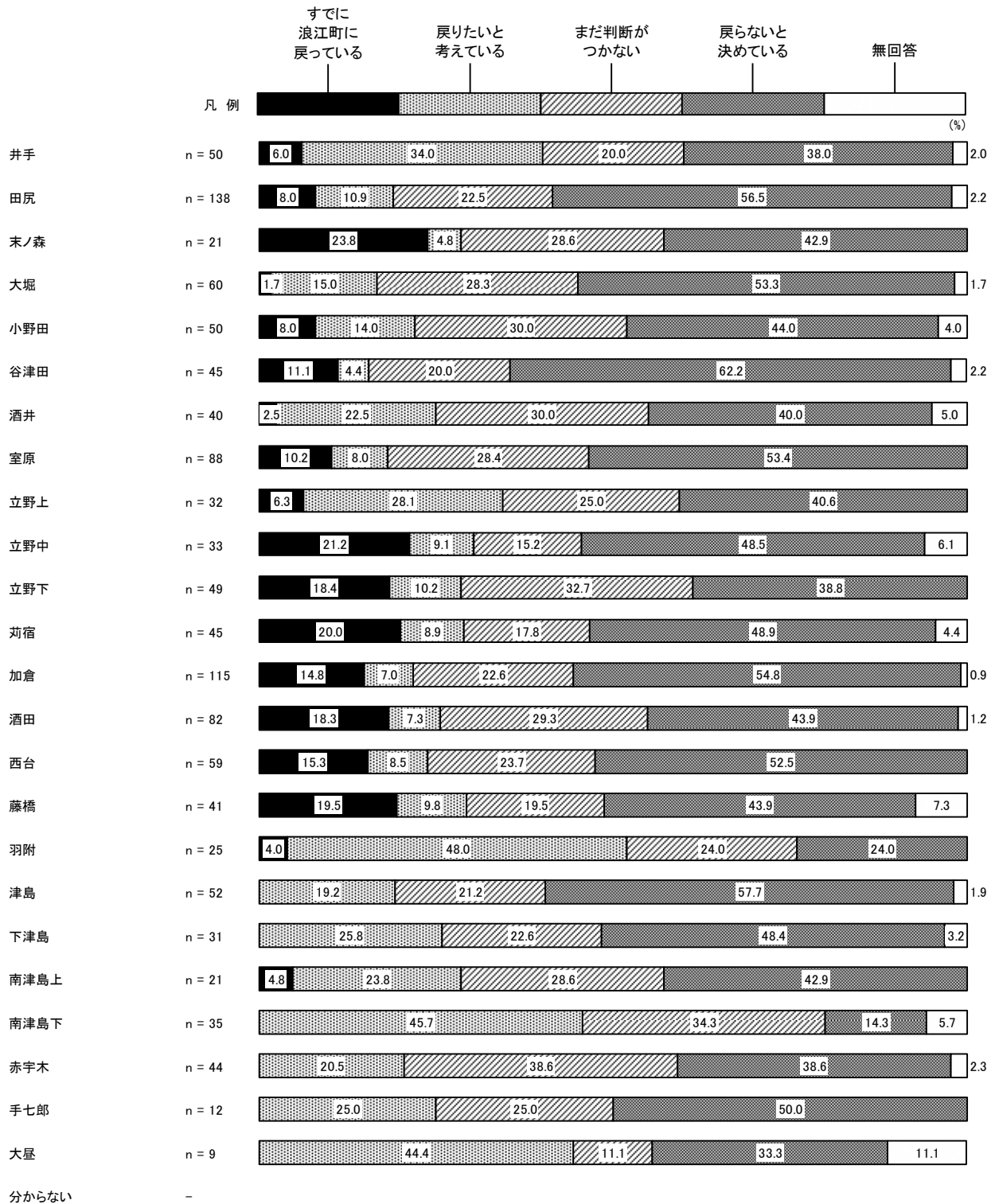
<図表2-2-1-2 浪江町への帰還意向：令和6年度（年齢別）>



<図表2-2-1-3 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



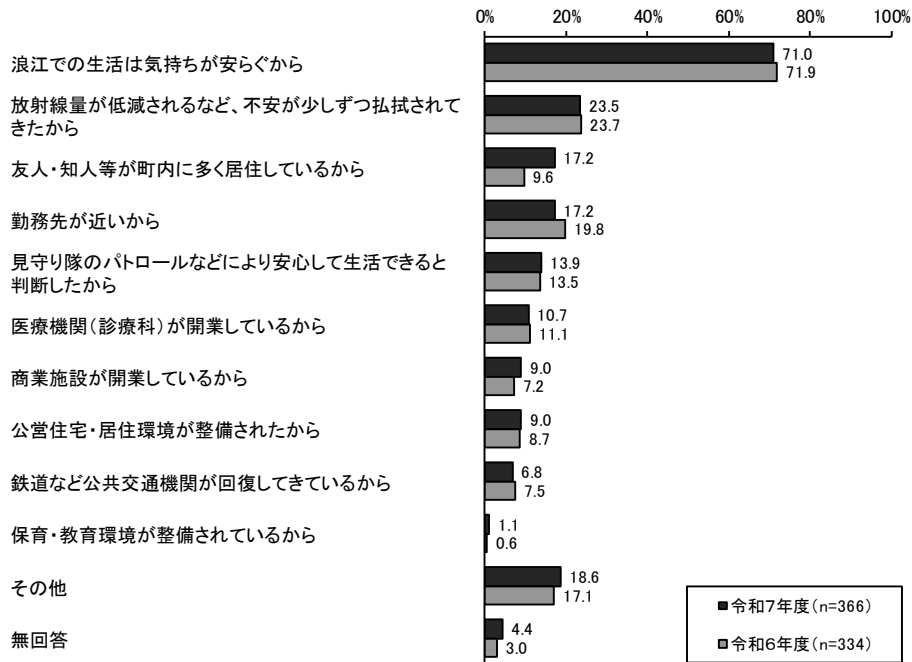
<図表2-2-1-3 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由（問8）

浪江町への帰還を決めた理由については、「浪江での生活は気持ちが安らぐから」が71.0%と最も高く、次いで「放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから」が23.5%、「友人・知人等が町内に多く居住しているから」「勤務先が近いから」がともに17.2%となっている。

<図表2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由>



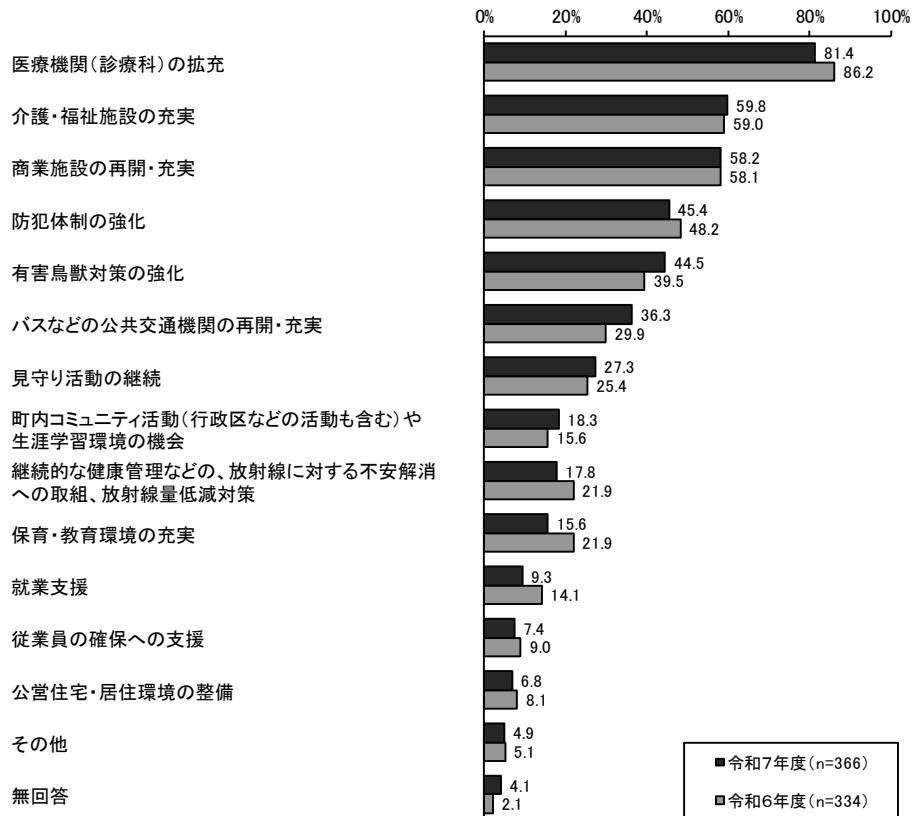
※問7で「すでに浪江町に戻っている」と回答した世帯のみ  
 ※複数回答可

## II 調査結果（主要項目）

### 2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（問9）

浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が81.4%と最も高く、次いで「介護・福祉施設の充実」が59.8%、「商業施設の再開・充実」が58.2%となっている。

<図表2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること>

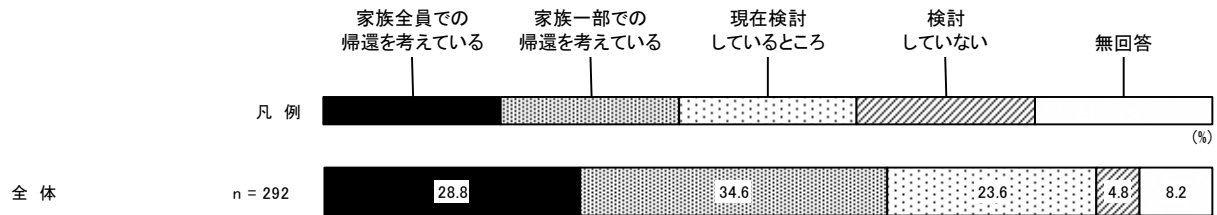


※問7で「すでに浪江町に戻っている」と回答した世帯のみ  
 ※複数回答可

### 2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族（問 10）

浪江町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が34.6%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が28.8%、「現在検討しているところ」が23.6%となっている。

<図表2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族>

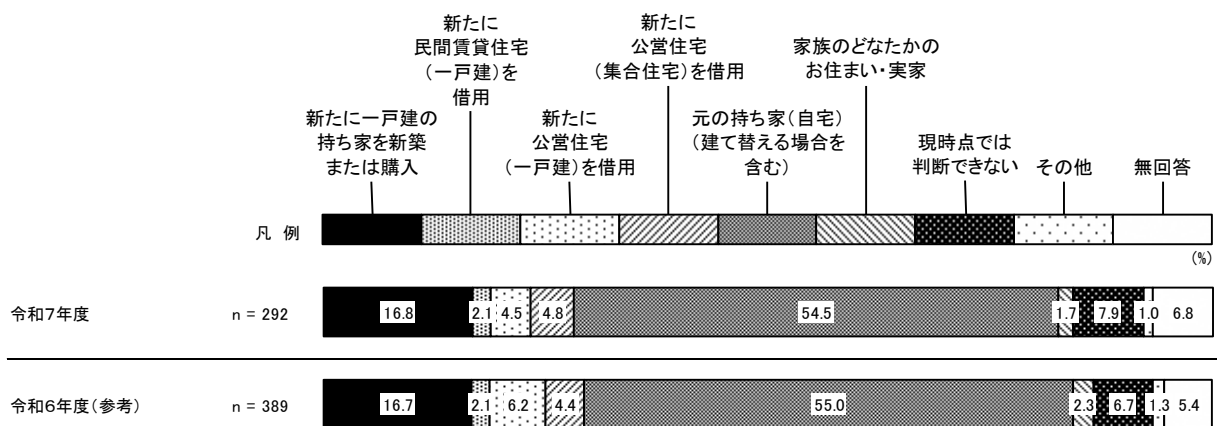


※問7で「戻りたいと考えている」と回答した世帯のみ

### 2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 11）

浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が54.5%と最も高く、次いで「新たに一戸建の持ち家を新築または購入」が16.8%、「現時点では判断できない」が7.9%となっている。

<図表2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態>

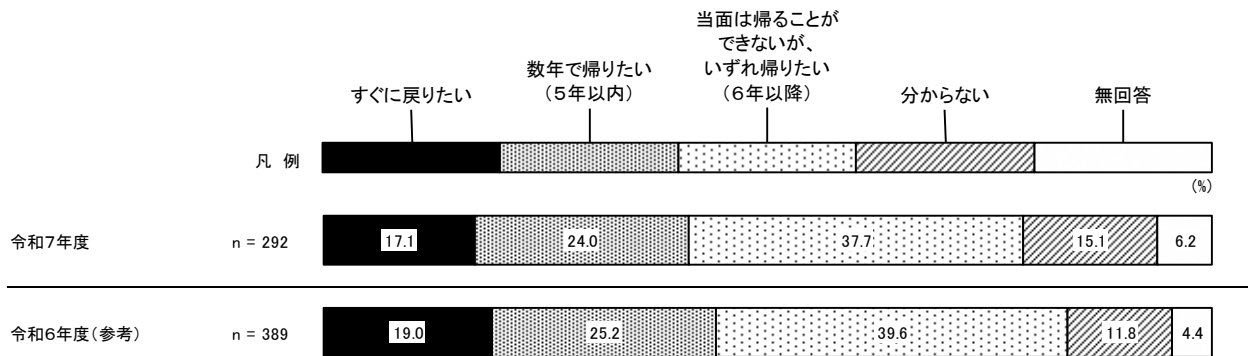


※問7で「戻りたいと考えている」と回答した世帯のみ

2-2-6 浪江町への帰還時期（問 12）

浪江町への帰還時期については、「当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」が37.7%と最も高く、次いで「数年で帰りたい（5年以内）」が24.0%、「すぐに戻りたい」が17.1%となっている。

<図表2-2-6 浪江町への帰還時期>

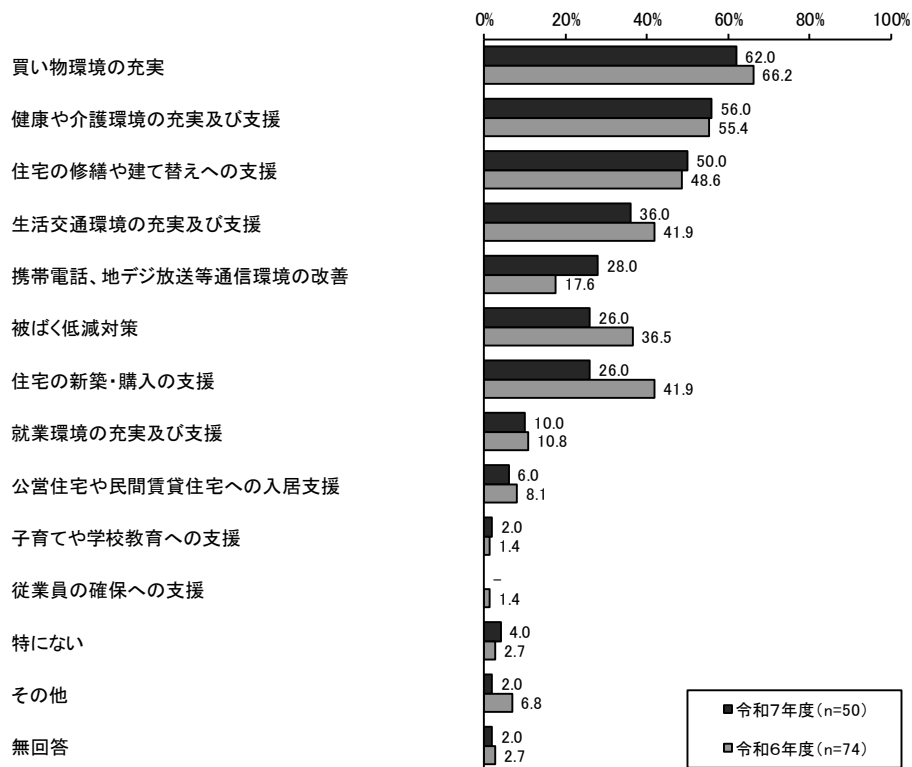


※問7で「戻りたいと考えている」と回答した世帯のみ

2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること（問 12-1）

浪江町へ帰還する場合に不足していると感じることについては、「買い物環境の充実」が62.0%と最も高く、次いで「健康や介護環境の充実及び支援」が56.0%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が50.0%となっている。

<図表2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>



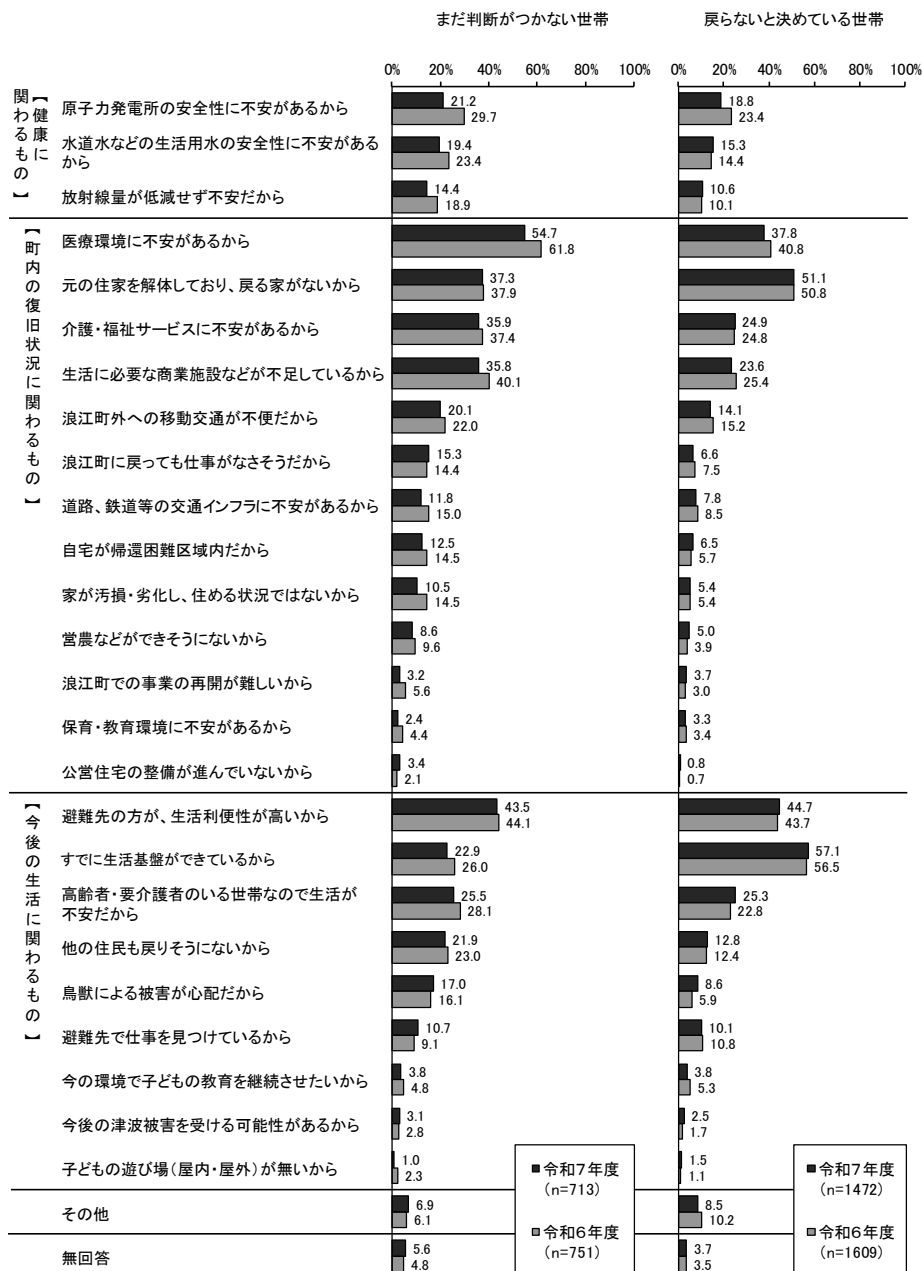
※問 12 で「すぐに戻りたい」と回答した世帯のみ  
 ※複数回答可

2-2-8 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由  
（問13・問15）

浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由は、「医療環境に不安があるから」が54.7%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が43.5%、「元の住家を解体しており、戻る家がないから」が37.3%となっている。

帰還しない理由は、「すでに生活基盤ができているから」が57.1%と最も高く、次いで「元の住家を解体しており、戻る家がないから」が51.1%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が44.7%となっている。

<図表2-2-8 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由（浪江町への帰還意向別）>



※問7で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ  
※複数回答可

### **Ⅲ 調査結果（全項目）**

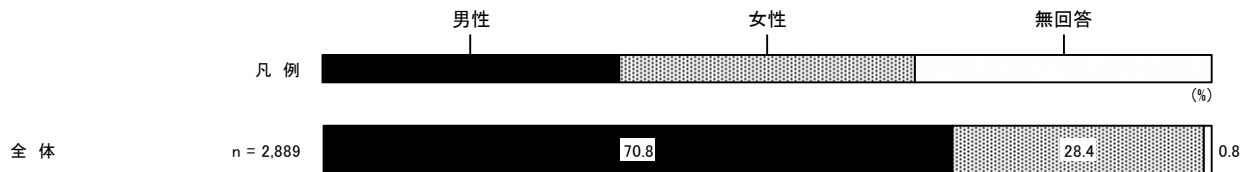


### 3-1 回答記入者の属性

#### 3-1-1 性別

問1 あなたの氏名、性別、現在の年齢を教えてください。  
 (2) 性別 (○は1つ)

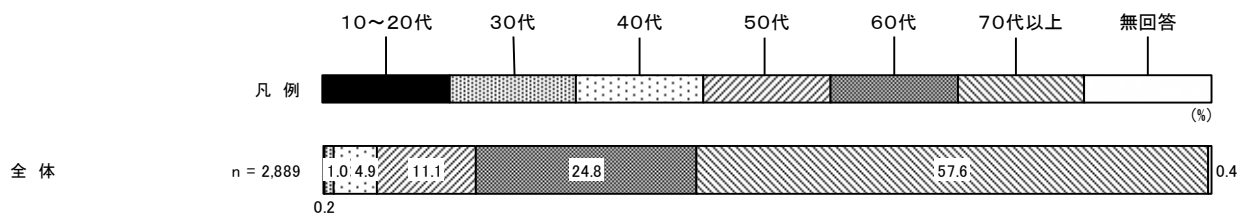
<図表3-1-1 性別>



#### 3-1-2 年齢

問1 あなたの氏名、性別、現在の年齢を教えてください。  
 (3) 年齢 (○は1つ)

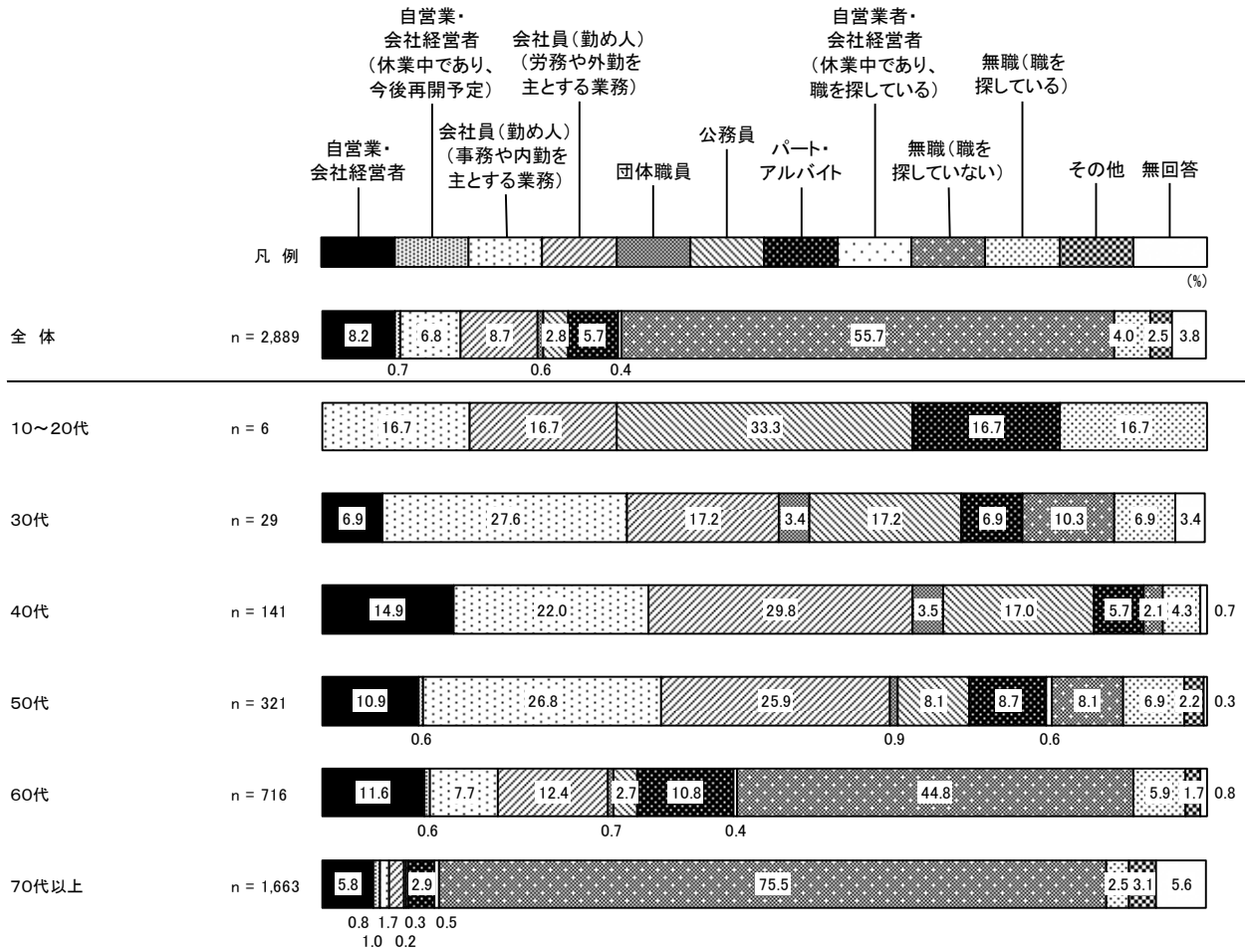
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在の世帯の主な収入源となる方の就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。  
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。  
 (1) 就業形態（○は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

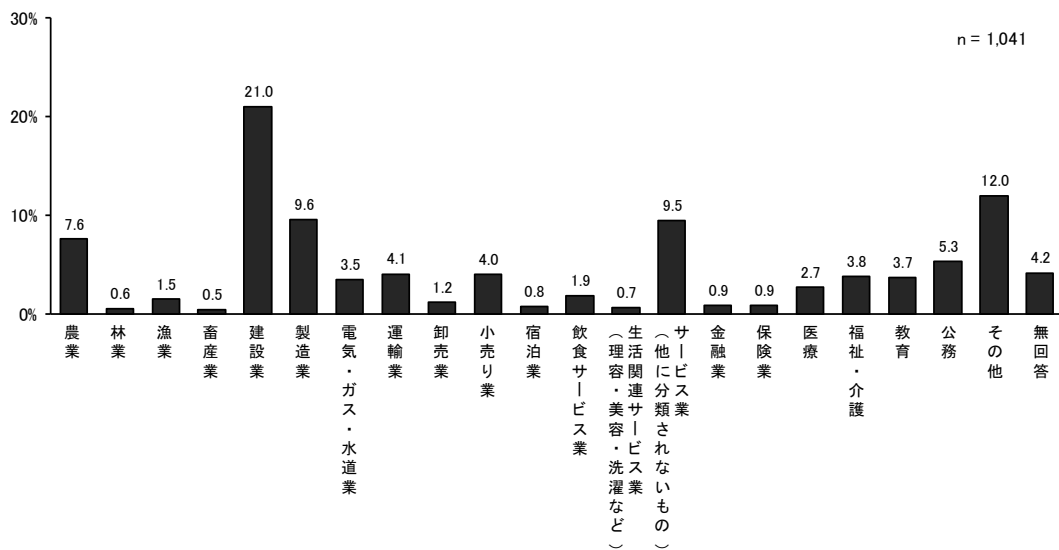


3-1-4 現在の業種

【\*問2(1)で「1」～「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】  
 問2 現在の世帯の主な収入源となる方の就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。  
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。  
 (2) 業種 (〇は1つ)

- \*問2(1) : 1. 自営業・会社経営者  
 2. 自営業・会社経営者（休業中であり、今後再開予定）  
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）  
 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 5. 団体職員  
 6. 公務員  
 7. パート・アルバイト  
 11. その他

<図表3-1-4-1 現在の業種>



<図表3-1-4-2 現在の業種（年齢別）>

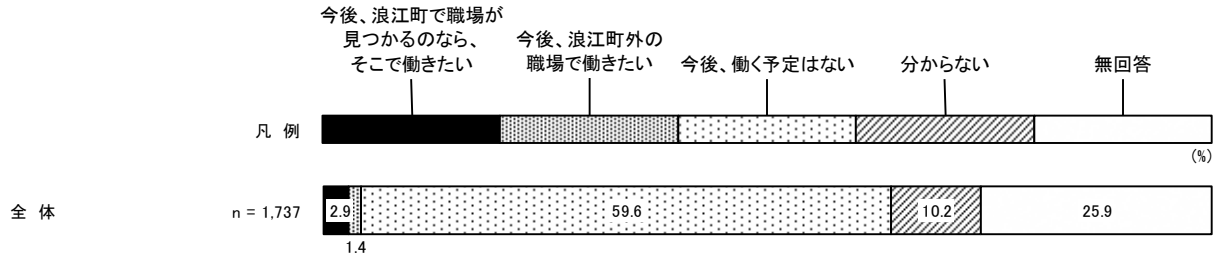
	n	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業（美容・洗濯など）	サービス業（他に分類されないもの）	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
全体	1,041	7.6	0.6	1.5	0.5	21.0	9.6	3.5	4.1	1.2	4.0	0.8	1.9	0.7	9.5	0.9	0.9	2.7	3.8	3.7	5.3	12.0	4.2
10~20代	5	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-
30代	23	4.3	-	-	-	21.7	4.3	-	8.7	-	-	-	-	-	13.0	-	-	8.7	4.3	4.3	17.4	13.0	-
40代	131	2.3	0.8	0.8	-	20.6	9.9	8.4	6.1	1.5	7.6	0.8	0.8	2.3	3.8	-	0.8	6.1	3.1	7.6	10.7	5.3	0.8
50代	270	1.9	-	1.1	-	23.7	15.6	5.2	3.0	1.9	3.7	0.7	1.5	1.1	8.9	2.6	0.4	3.7	3.3	3.7	5.9	9.3	3.0
60代	344	7.3	1.2	2.0	1.2	23.0	9.0	2.0	4.9	0.9	2.6	0.6	0.9	0.3	12.5	0.6	1.2	0.9	5.5	3.8	4.1	14.0	1.7
70代以上	264	17.0	0.4	1.9	0.4	15.9	4.5	1.5	3.0	1.1	4.9	0.8	4.5	-	8.3	-	1.1	1.9	2.3	1.1	2.3	15.9	11.0

### 3-1-5 今後の就業意向

【問2(1)で「8. 自営業者・会社経営者（休業中であり、職を探している）」「9. 無職（職を探していない）」「10. 無職（職を探している）」と回答した方にうかがいます。】

問2-1 現在の世帯の主な収入源となる方の、今後の就業意向を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-1-5 今後の就業意向＞



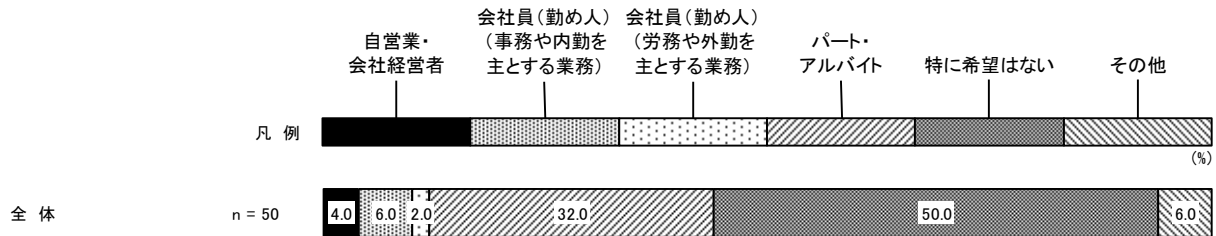
### 3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）

【問2-1で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態（〇は1つ）

＜図表3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）＞



〔その他の内訳〕  
 団体職員 -  
 公務員 -  
 その他 6.0%

3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種

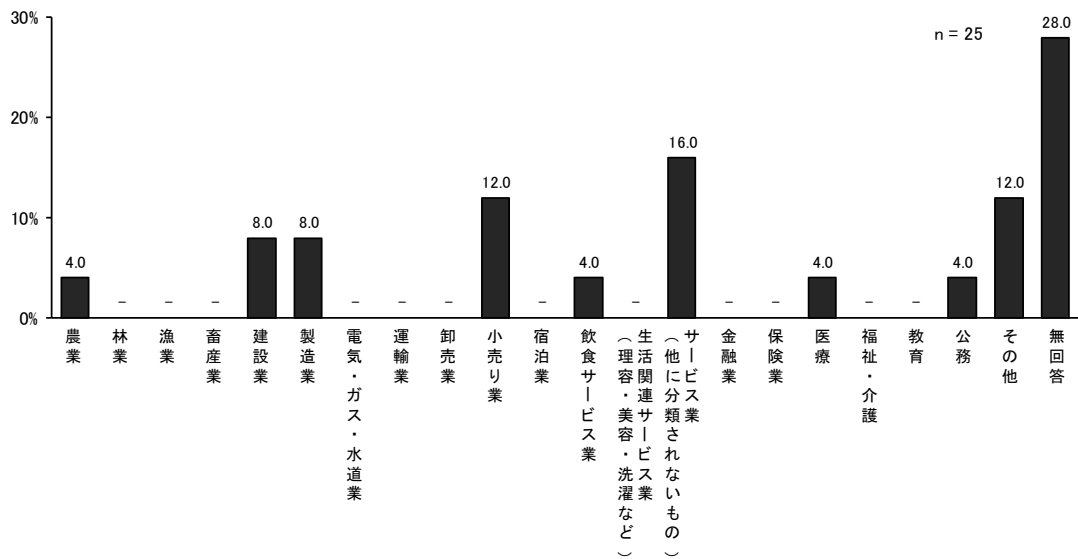
【\*問2-2（1）で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

（2） 業種（〇は1つ）

- \*問2-2（1）： 1. 自営業・会社経営者  
 2. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）  
 3. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 4. 団体職員  
 5. 公務員  
 6. パート・アルバイト  
 8. その他

<図表3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種>

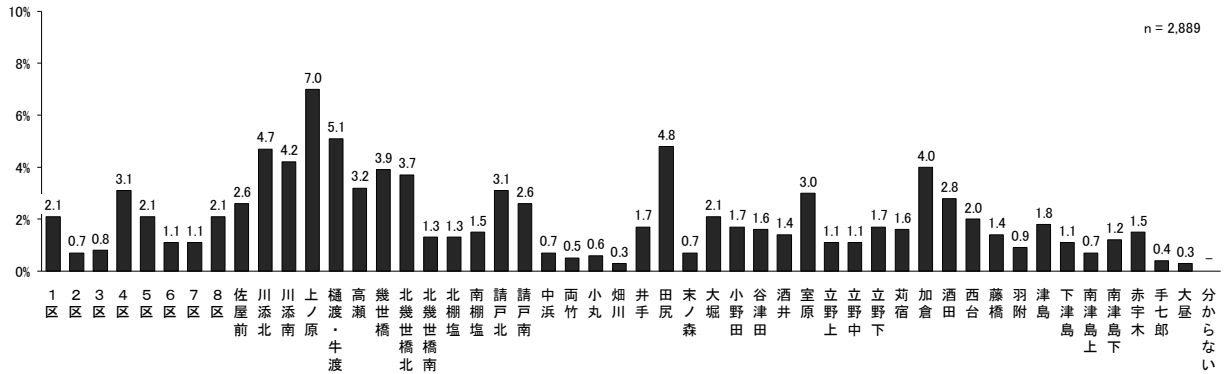


### 3-2 東日本大震災発生時の世帯の状況

#### 3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>

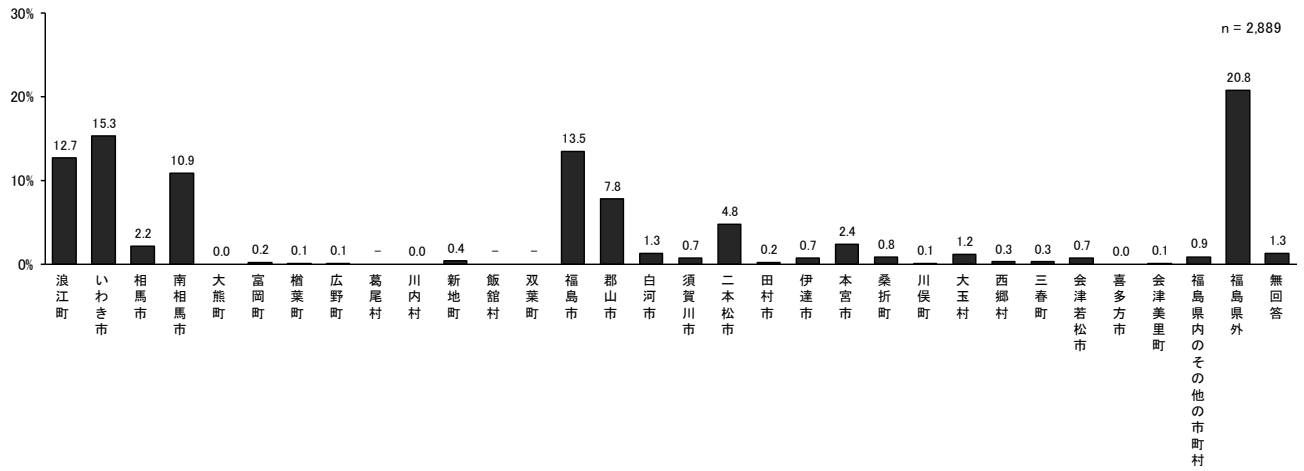


### 3-3 現在の世帯の状況

#### 3-3-1 現在の居住自治体

問4 現在お住まいの市町村を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-1-1 現在の居住自治体>



III 調査結果(全項目)

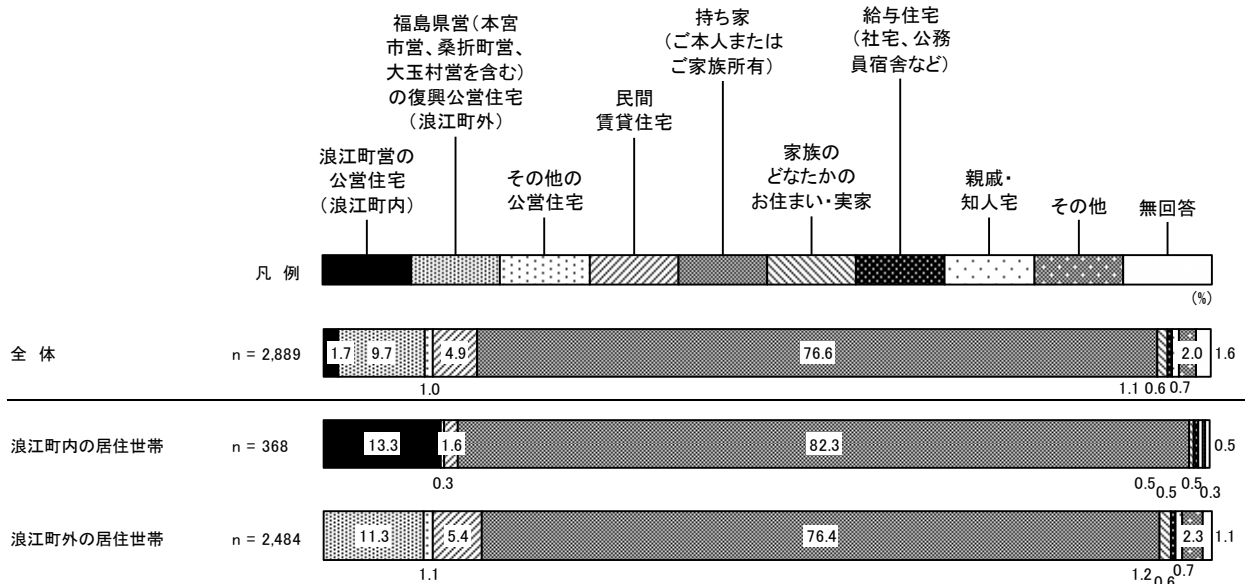
<図表3-3-1-2 現在の居住自治体(現在の世帯構成別)>

	調査数	浪江町	いわき市	相馬市	南相馬市	大熊町	富岡町	楡葉町	広野町	葛尾村	川内村	新地町	飯館村	双葉町	福島市	郡山市	白河市
全体	2889 100.0	368 12.7	441 15.3	63 2.2	316 10.9	1 0.0	6 0.2	4 0.1	3 0.1	-	1 0.0	13 0.4	-	-	391 13.5	226 7.8	37 1.3
単身世帯:計	763 100.0	124 16.3	96 12.6	14 1.8	100 13.1	1 0.1	3 0.4	2 0.3	1 0.1	-	-	2 0.3	-	-	102 13.4	50 6.6	6 0.8
15歳以上65歳未満 (中学生を除く)	145 100.0	29 20.0	17 11.7	3 2.1	17 11.7	1 0.7	2 1.4	-	1 0.7	-	-	1 0.7	-	-	13 9.0	16 11.0	2 1.4
65歳以上	618 100.0	95 15.4	79 12.8	11 1.8	83 13.4	-	1 0.2	2 0.3	-	-	-	1 0.2	-	-	89 14.4	34 5.5	4 0.6
女性	403 100.0	50 12.4	59 14.6	7 1.7	41 10.2	1 0.2	1 0.2	2 0.5	-	-	-	1 0.2	-	-	57 14.1	30 7.4	3 0.7
2人以上の世帯:計	2112 100.0	244 11.6	342 16.2	49 2.3	216 10.2	-	3 0.1	2 0.1	2 0.1	-	1 0.0	11 0.5	-	-	288 13.6	175 8.3	30 1.4
未就学児(小学校入学前)の いる世帯	167 100.0	24 14.4	25 15.0	7 4.2	14 8.4	-	1 0.6	-	-	-	-	2 1.2	-	-	26 15.6	13 7.8	2 1.2
小学生のいる世帯	115 100.0	8 7.0	25 21.7	4 3.5	13 11.3	-	1 0.9	-	-	-	-	1 0.9	-	-	11 9.6	10 8.7	1 0.9
中学生のいる世帯	102 100.0	6 5.9	19 18.6	1 1.0	9 8.8	-	-	-	-	-	-	2 2.0	-	-	6 5.9	11 10.8	2 2.0
15歳以上18歳未満 (中学生を除く)のいる世帯	99 100.0	5 5.1	17 17.2	4 4.0	6 6.1	-	1 1.0	-	-	-	-	2 2.0	-	-	8 8.1	11 11.1	1 1.0
18歳以上65歳未満の いる世帯	1313 100.0	138 10.5	204 15.5	36 2.7	130 9.9	-	1 0.1	1 0.1	1 0.1	-	1 0.1	7 0.5	-	-	179 13.6	108 8.2	20 1.5
65歳以上のいる世帯	1690 100.0	201 11.9	268 15.9	38 2.2	179 10.6	-	2 0.1	2 0.1	1 0.1	-	1 0.1	8 0.5	-	-	230 13.6	147 8.7	24 1.4
女性のいる世帯	2053 100.0	230 11.2	334 16.3	45 2.2	211 10.3	-	3 0.1	2 0.1	2 0.1	-	1 0.0	11 0.5	-	-	281 13.7	172 8.4	30 1.5
65歳以上だけの世帯	752 100.0	98 13.0	132 17.6	12 1.6	82 10.9	-	2 0.3	1 0.1	1 0.1	-	-	4 0.5	-	-	102 13.6	62 8.2	9 1.2
	調査数	須賀川市	二本松市	田村市	伊達市	本宮市	桑折町	川俣町	大玉村	西郷村	三春町	会津若松市	喜多方市	会津美里町	福島県内の その他の市町村	福島県外	無回答
全体	2889 100.0	19 0.7	140 4.8	5 0.2	20 0.7	69 2.4	24 0.8	3 0.1	35 1.2	9 0.3	9 0.3	19 0.7	1 0.0	2 0.1	26 0.9	601 20.8	37 1.3
単身世帯:計	763 100.0	3 0.4	51 6.7	1 0.1	2 0.3	16 2.1	13 1.7	2 0.3	7 0.9	1 0.1	1 0.1	1 0.1	-	-	7 0.9	139 18.2	17 2.2
15歳以上65歳未満 (中学生を除く)	145 100.0	1 0.7	10 6.9	-	-	1 0.7	2 1.4	1 0.7	1 0.7	-	-	-	-	-	1 0.7	23 15.9	3 2.1
65歳以上	618 100.0	2 0.3	41 6.6	1 0.2	2 0.3	15 2.4	11 1.8	1 0.2	6 1.0	1 0.2	1 0.2	1 0.2	-	1 0.2	6 1.0	116 18.8	14 2.3
女性	403 100.0	2 0.5	29 7.2	-	1 0.2	7 1.7	7 1.7	2 0.5	5 1.2	-	-	-	-	1 0.2	5 1.2	84 20.8	8 2.0
2人以上の世帯:計	2112 100.0	15 0.7	89 4.2	4 0.2	18 0.9	53 2.5	11 0.5	1 0.0	28 1.3	8 0.4	8 0.4	18 0.9	1 0.0	1 0.0	19 0.9	458 21.7	17 0.8
未就学児(小学校入学前)の いる世帯	167 100.0	1 0.6	7 4.2	-	-	5 3.0	1 0.6	-	1 0.6	-	1 1.2	2 1.2	-	-	3 1.8	29 17.4	4 2.4
小学生のいる世帯	115 100.0	-	2 1.7	-	-	3 2.6	1 0.9	-	1 0.9	1 0.9	-	1 0.9	-	-	2 1.7	27 23.5	3 2.6
中学生のいる世帯	102 100.0	-	2 2.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0	-	1 1.0	1 1.0	-	3 2.9	-	-	-	34 33.3	1 1.0
15歳以上18歳未満 (中学生を除く)のいる世帯	99 100.0	1 1.0	2 2.0	-	-	1 1.0	2 2.0	-	-	1 1.0	1 1.0	3 3.0	1 1.0	-	-	31 31.3	1 1.0
18歳以上65歳未満の いる世帯	1313 100.0	9 0.7	58 4.4	3 0.2	11 0.8	30 2.3	6 0.5	1 0.1	21 1.6	5 0.4	5 0.4	11 0.8	1 0.1	1 0.1	9 0.7	305 23.2	11 0.8
65歳以上のいる世帯	1690 100.0	12 0.7	73 4.3	3 0.2	17 1.0	46 2.7	9 0.5	1 0.1	20 1.2	5 0.3	7 0.4	13 0.8	1 0.1	1 0.1	16 0.9	353 20.9	12 0.7
女性のいる世帯	2053 100.0	15 0.7	86 4.2	4 0.2	17 0.8	53 2.6	11 0.5	-	25 1.2	6 0.3	8 0.4	18 0.9	1 0.0	1 0.0	19 0.9	453 22.1	14 0.7
65歳以上だけの世帯	752 100.0	6 0.8	29 3.9	1 0.1	7 0.9	22 2.9	5 0.7	-	7 0.9	3 0.4	3 0.4	6 0.8	-	-	9 1.2	145 19.3	4 0.5

3-3-2 現在の住居形態

問5 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-3-2-1 現在の住居形態（現在の居住地域別）>



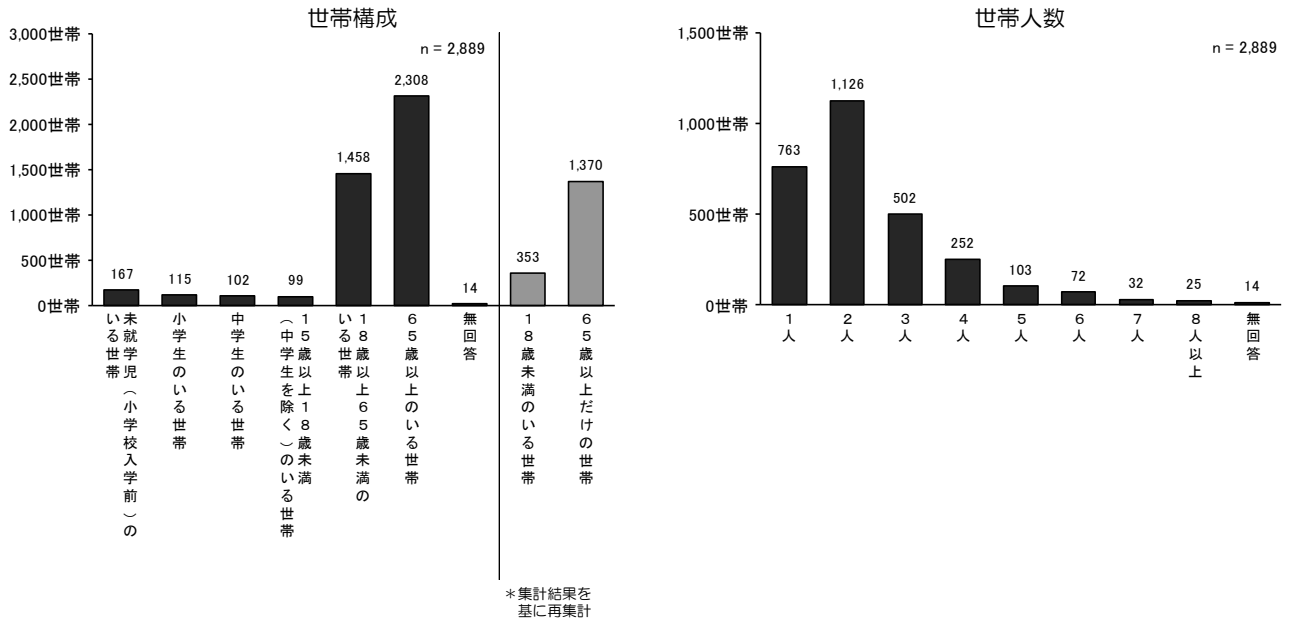
<図表3-3-2-2 現在の住居形態（現在の世帯構成別）>

	調査数	浪江町内の公営住宅 (浪江町内)	浪江町外の公営住宅 (浪江町外)	民間賃貸住宅	持ち家 (ご本人またはご家族所有)	給与住宅 (社宅、公務員宿舎など)	家族のどなたかのお住まい・実家	親戚・知人宅	その他	無回答
全体	2889	49	281	30	142	2213	31	18	19	59
	100.0	1.7	9.7	1.0	4.9	76.6	1.1	0.6	0.7	2.0
単身世帯: 計	763	35	163	18	59	402	6	7	3	44
	100.0	4.6	21.4	2.4	7.7	52.7	0.8	0.9	0.4	5.8
15歳以上65歳未満 (中学生を除く)	145	7	24	5	25	74	-	5	2	2
	100.0	4.8	16.6	3.4	17.2	51.0	-	3.4	1.4	1.4
65歳以上	618	28	139	13	34	328	6	2	1	42
	100.0	4.5	22.5	2.1	5.5	53.1	1.0	0.3	0.2	6.8
女性	403	16	86	11	24	214	2	-	1	33
	100.0	4.0	21.3	2.7	6.0	53.1	0.5	-	0.2	8.2
2人以上の世帯: 計	2112	14	118	11	83	1808	25	10	16	10
	100.0	0.7	5.6	0.5	3.9	85.6	1.2	0.5	0.8	0.5
未就学児 (小学校入学前) のいる世帯	167	1	5	1	13	138	2	2	2	3
	100.0	0.6	3.0	0.6	7.8	82.6	1.2	1.2	1.2	1.8
小学生のいる世帯	115	-	3	-	7	100	-	3	1	-
	100.0	-	2.6	-	6.1	87.0	-	2.6	0.9	-
中学生のいる世帯	102	1	3	-	3	91	-	2	-	2
	100.0	1.0	2.9	-	2.9	89.2	-	2.0	-	2.0
15歳以上18歳未満 (中学生を除く) のいる世帯	99	-	3	-	3	89	1	2	-	1
	100.0	-	3.0	-	3.0	89.9	1.0	2.0	-	1.0
18歳以上65歳未満のいる世帯	1313	5	57	5	70	1129	21	9	9	2
	100.0	0.4	4.3	0.4	5.3	86.0	1.6	0.7	0.7	0.2
65歳以上のいる世帯	1690	9	101	10	38	1469	20	2	16	9
	100.0	0.5	6.0	0.6	2.2	86.9	1.2	0.1	0.9	0.5
女性のいる世帯	2053	14	109	11	80	1768	24	10	16	8
	100.0	0.7	5.3	0.5	3.9	86.1	1.2	0.5	0.8	0.4
65歳以上だけの世帯	752	9	58	5	11	641	4	1	7	8
	100.0	1.2	7.7	0.7	1.5	85.2	0.5	0.1	0.9	1.1

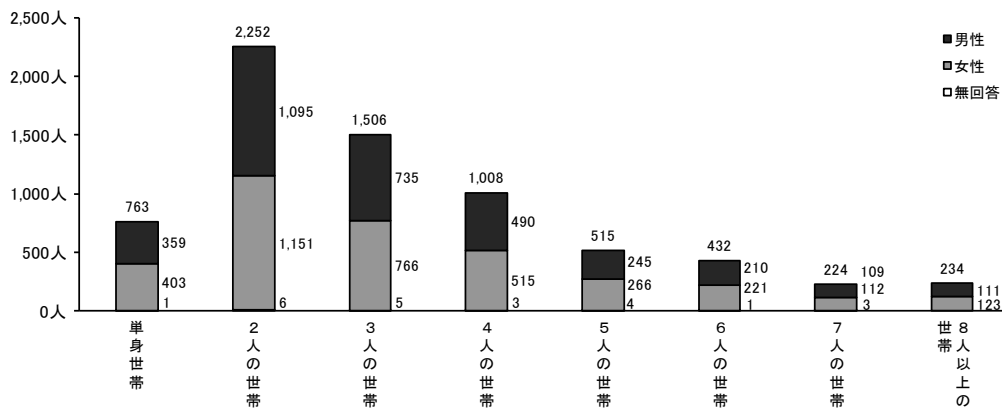
### 3-3-3 現在の世帯構成・人数

問6 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数を性別ごとにご回答ください。（性別ごとに人数で回答）

<図表3-3-3-1 現在の世帯構成・人数>



<図表3-3-3-2 現在の世帯構成（性別）>

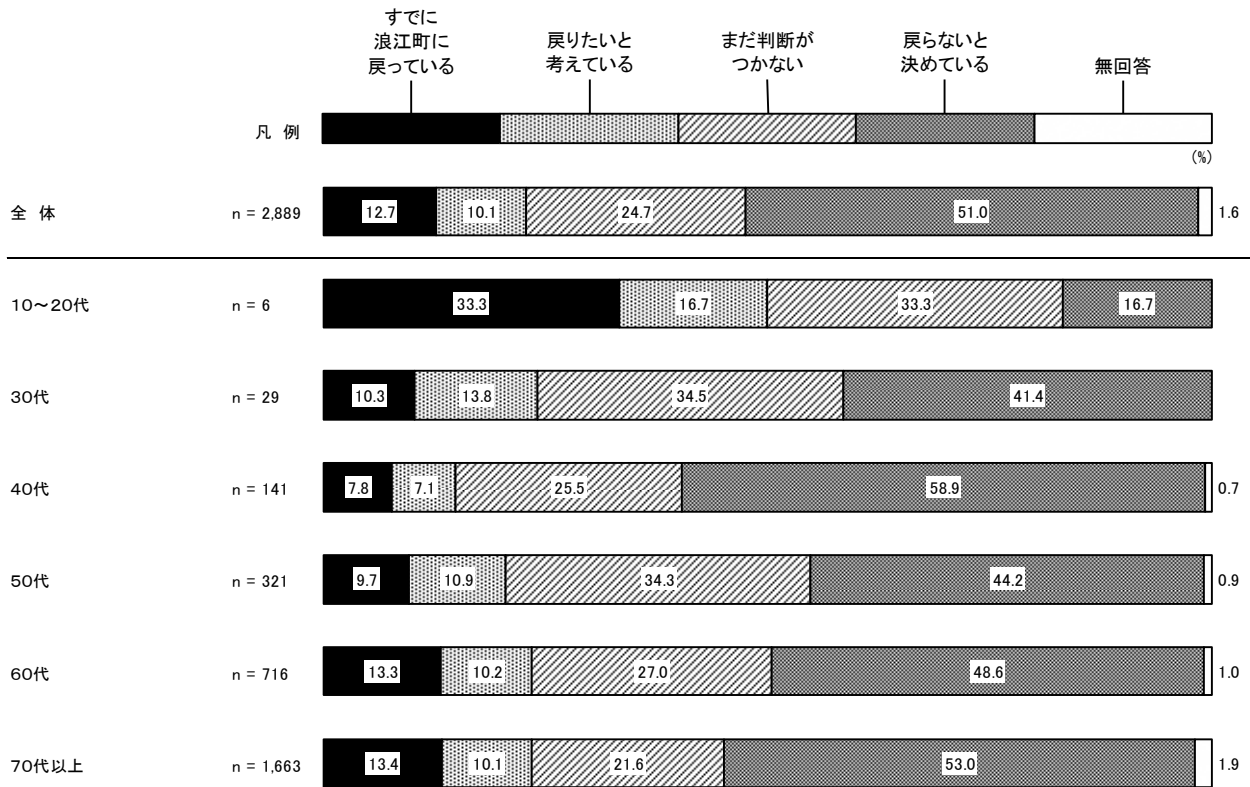


### 3-4 将来に関する世帯の意向

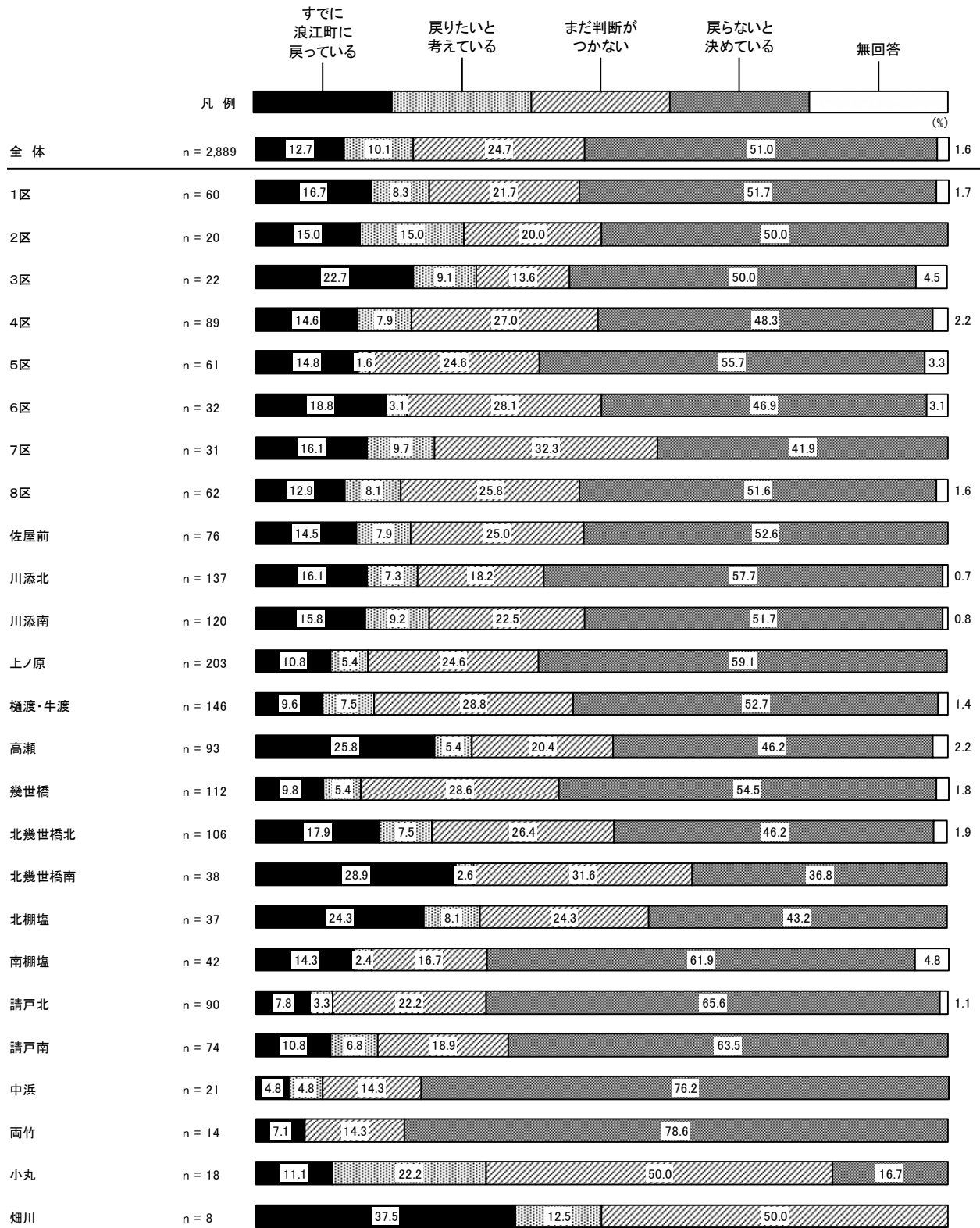
#### 3-4-1 浪江町への帰還意向

問7 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。  
「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。（〇は1つ）

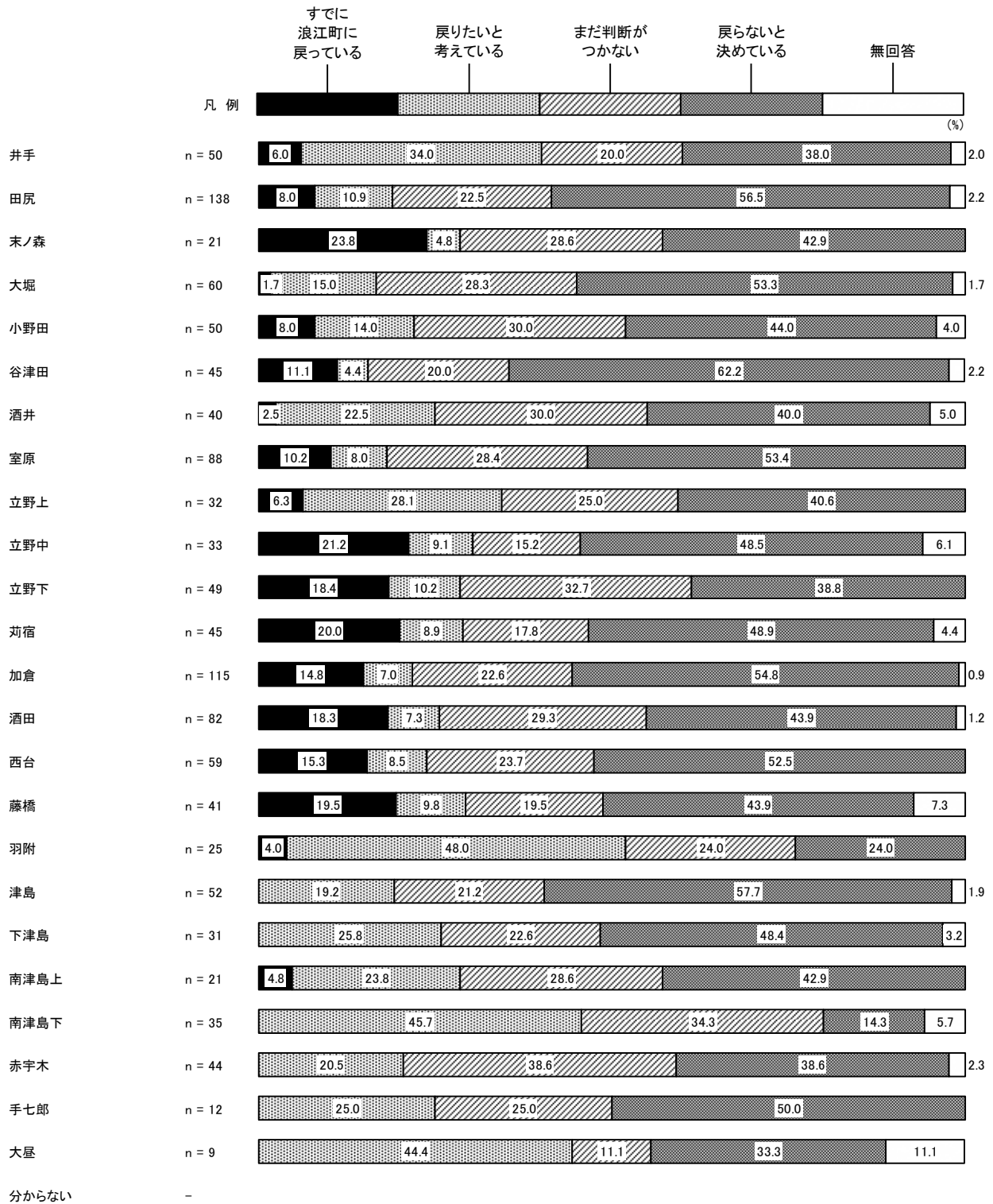
<図表3-4-1-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>

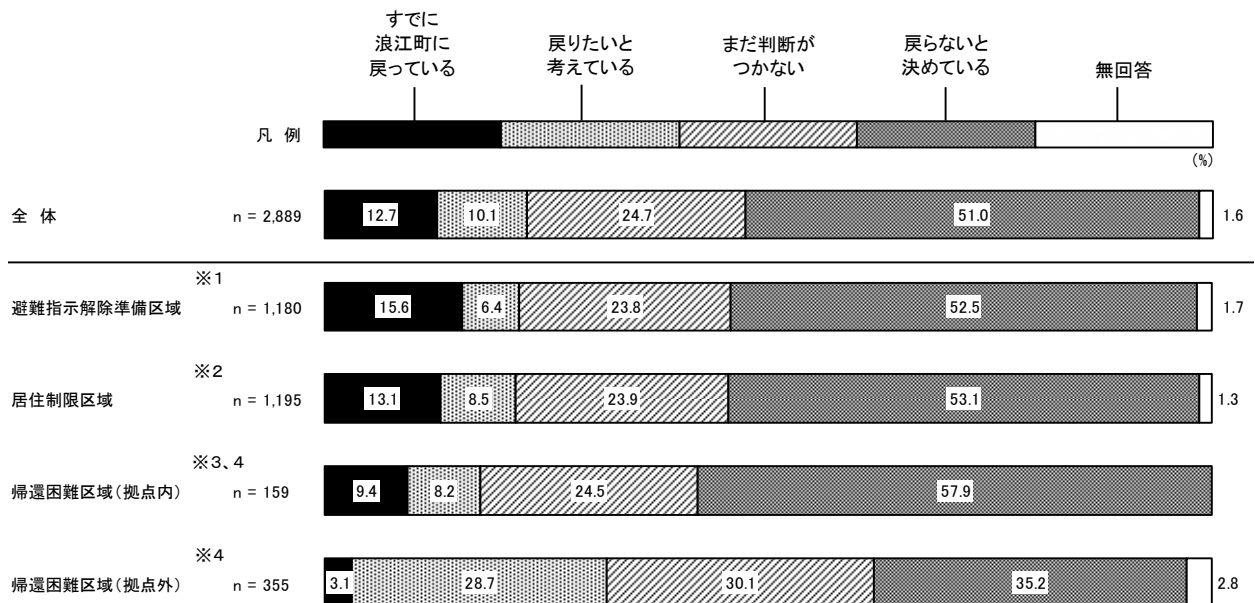


<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



### III 調査結果（全項目）

<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（避難指示区域別）>



- ※1 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※2 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※3 令和5年3月31日に避難指示解除済み
- ※4 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

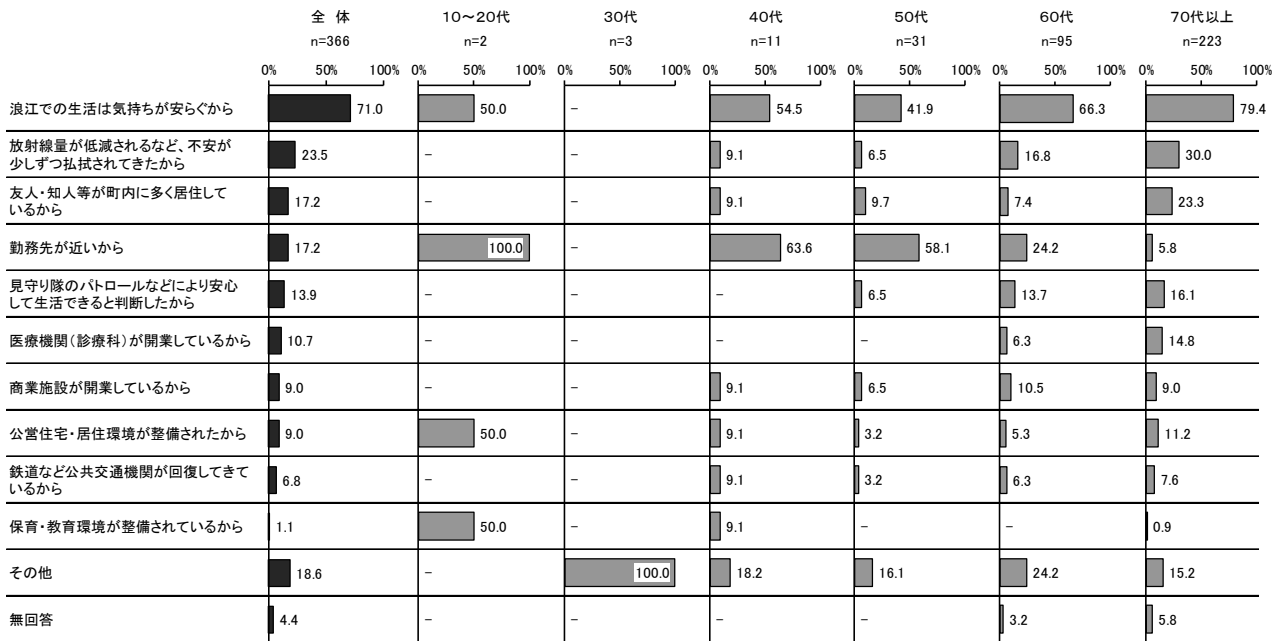
<図表3-4-1-3 浪江町への帰還意向（現在の世帯構成別）>

	調査数	すでに浪江町に戻っている	戻りたいと考えている	まだ判断がつかない	戻らないと決めている	無回答
全体	2889 100.0	366 12.7	292 10.1	713 24.7	1472 51.0	46 1.6
単身世帯:計	763 100.0	123 16.1	63 8.3	159 20.8	391 51.2	27 3.5
15歳以上65歳未満 (中学生を除く)	145 100.0	28 19.3	10 6.9	44 30.3	59 40.7	4 2.8
65歳以上	618 100.0	95 15.4	53 8.6	115 18.6	332 53.7	23 3.7
女性	403 100.0	50 12.4	31 7.7	75 18.6	233 57.8	14 3.5
2人以上の世帯:計	2112 100.0	243 11.5	229 10.8	551 26.1	1073 50.8	16 0.8
未就学児(小学校入学前)の いる世帯	167 100.0	24 14.4	12 7.2	49 29.3	82 49.1	-
小学生のいる世帯	115 100.0	8 7.0	16 13.9	26 22.6	64 55.7	1 0.9
中学生のいる世帯	102 100.0	5 4.9	12 11.8	26 25.5	57 55.9	2 2.0
15歳以上18歳未満 (中学生を除く)のいる世帯	99 100.0	5 5.1	3 3.0	31 31.3	59 59.6	1 1.0
18歳以上65歳未満の いる世帯	1313 100.0	138 10.5	134 10.2	363 27.6	671 51.1	7 0.5
65歳以上のいる世帯	1690 100.0	200 11.8	182 10.8	418 24.7	875 51.8	15 0.9
女性のいる世帯	2053 100.0	229 11.2	219 10.7	534 26.0	1057 51.5	14 0.7
65歳以上だけの世帯	752 100.0	98 13.0	92 12.2	176 23.4	380 50.5	6 0.8

3-4-2 浪江町への帰還を決めた理由

【問7で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にかがいます。】  
 問8 浪江町内に戻られた判断材料はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-2-1 浪江町への帰還を決めた理由（年齢別）>



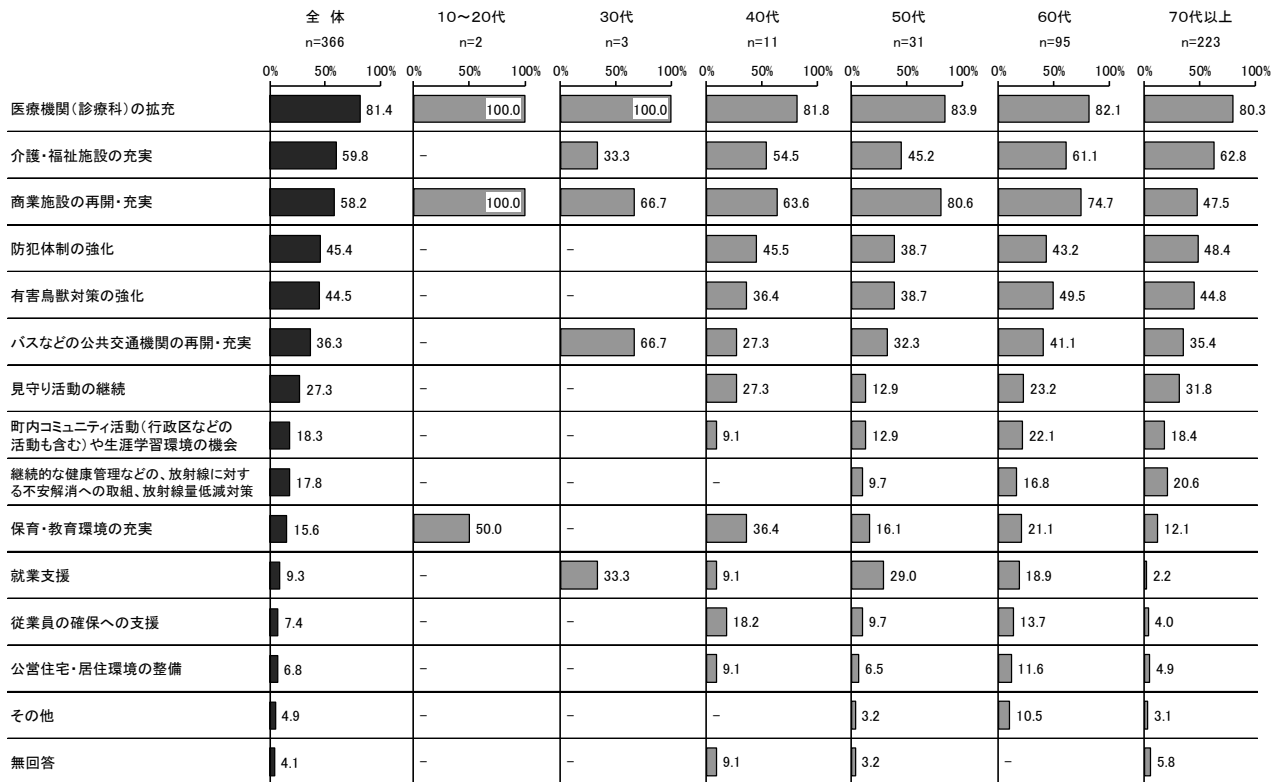
<図表3-4-2-2 浪江町への帰還を決めた理由（現在の世帯構成別）>

	調査数	浪江での生活は気持ちが安らぐから	放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ拭かれてきたから	友人・知人等が町内に多く居住しているから	勤務先が近いから	見守り隊のパトロールなどにより安心して生活できると判断したから	医療機関（診療科）が開業しているから	商業施設が開業しているから	公営住宅・居住環境が整備されたから	鉄道など公共交通機関が回復してきているから	保育・教育環境が整備されているから	その他	無回答
全体	366 100.0	260 71.0	86 23.5	63 17.2	63 17.2	51 13.9	39 10.7	33 9.0	33 9.0	25 6.8	4 1.1	68 18.6	16 4.4
単身世帯：計	123 100.0	79 64.2	25 20.3	26 21.1	21 17.1	16 13.0	14 11.4	11 8.9	19 15.4	11 8.9	1 0.8	13 10.6	12 9.8
15歳以上65歳未満 （中学生を除く）	28 100.0	13 46.4	4 14.3	4 14.3	12 42.9	4 14.3	2 7.1	3 10.7	3 10.7	3 10.7	-	4 14.3	1 3.6
65歳以上	95 100.0	66 69.5	21 22.1	22 23.2	9 9.5	12 12.6	12 12.6	8 8.4	16 16.8	8 8.4	1 1.1	9 9.5	11 11.6
女性	50 100.0	34 68.0	9 18.0	10 20.0	1 2.0	7 14.0	7 14.0	4 8.0	10 20.0	3 6.0	-	7 14.0	5 10.0
2人以上の世帯：計	243 100.0	181 74.5	61 25.1	37 15.2	42 17.3	35 14.4	25 10.3	22 9.1	14 5.8	14 5.8	3 1.2	55 22.6	4 1.6
未就学児（小学校入学前）の いる世帯	24 100.0	16 66.7	5 20.8	1 4.2	9 37.5	1 4.2	-	3 12.5	2 8.3	1 4.2	1 4.2	4 16.7	-
小学生のいる世帯	8 100.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5	-
中学生のいる世帯	5 100.0	5 100.0	-	2 40.0	-	2 40.0	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-
15歳以上18歳未満 （中学生を除く）のいる世帯	5 100.0	5 100.0	-	-	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
18歳以上65歳未満の いる世帯	138 100.0	90 65.2	30 21.7	14 10.1	37 26.8	17 12.3	9 6.5	10 7.2	5 3.6	6 4.3	3 2.2	38 27.5	2 1.4
65歳以上のいる世帯	200 100.0	158 79.0	60 30.0	36 18.0	21 10.5	33 16.5	25 12.5	20 10.0	11 5.5	13 6.5	1 0.5	45 22.5	4 2.0
女性のいる世帯	229 100.0	171 74.7	58 25.3	35 15.3	36 15.7	34 14.8	25 10.9	21 9.2	14 6.1	13 5.7	3 1.3	51 22.3	4 1.7
65歳以上だけの世帯	98 100.0	86 87.8	30 30.6	22 22.4	5 5.1	17 17.3	16 16.3	12 12.2	9 9.2	7 7.1	-	15 15.3	2 2.0

3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問7で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】  
 問9 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-3-1 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）>



<図表3-4-3-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（現在の世帯構成別）>

	調査数	医療機関（診療科）の拡充	介護・福祉施設の充実	商業施設の再開・充実	防犯体制の強化	有害鳥獣対策の強化	バスなどの公共交通機関の再開・充実	見守り活動の継続	町内コミュニティ活動（行政区などの活動も含む）や生涯学習の機会	放射線量低減対策	継続的な健康管理などの取組、放線量低減対策	保育・教育環境の充実	就業支援	従業員の確保への支援	公営住宅・居住環境の整備	その他	無回答
全体	366 100.0	298 81.4	219 59.8	213 58.2	166 45.4	163 44.5	133 36.3	100 27.3	67 18.3	65 17.8	57 15.6	34 9.3	27 7.4	25 6.8	18 4.9	15 4.1	
単身世帯：計	123 100.0	95 77.2	68 55.3	61 49.6	48 39.0	44 35.8	43 35.0	30 24.4	17 13.8	15 12.2	14 11.4	8 6.5	8 6.5	7 5.7	7 5.7	9 7.3	
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	28 100.0	22 78.6	14 50.0	19 67.9	8 28.6	12 42.9	10 35.7	4 14.3	3 10.7	4 14.3	2 7.1	7 25.0	2 7.1	3 10.7	3 10.7	-	
65歳以上	95 100.0	73 76.8	54 56.8	42 44.2	40 42.1	32 33.7	33 34.7	26 27.4	14 14.7	11 11.6	12 12.6	1 1.1	6 6.3	4 4.2	4 4.2	9 9.5	
女性	50 100.0	42 84.0	36 72.0	27 54.0	18 36.0	15 30.0	22 44.0	17 34.0	9 18.0	6 12.0	7 14.0	5 10.0	4 8.0	6 12.0	3 6.0	2 4.0	
2人以上の世帯：計	243 100.0	203 83.5	151 62.1	152 62.6	118 48.6	119 49.0	90 37.0	70 28.8	50 20.6	50 20.6	43 17.7	26 10.7	19 7.8	18 7.4	11 4.5	6 2.5	
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	24 100.0	22 91.7	13 54.2	16 66.7	8 33.3	8 33.3	8 33.3	4 16.7	5 20.8	7 29.2	7 29.2	2 8.3	5 20.8	1 4.2	-	-	
小学生のいる世帯	8 100.0	8 100.0	3 37.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	2 25.0	6 75.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-	-	
中学生のいる世帯	5 100.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	5 100.0	5 100.0	3 60.0	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-	
18歳以上65歳未満のいる世帯	138 100.0	116 84.1	81 58.7	91 65.9	62 44.9	68 49.3	47 34.1	34 24.6	28 20.3	23 16.7	31 22.5	22 15.9	14 10.1	11 8.0	8 5.8	3 2.2	
65歳以上のいる世帯	200 100.0	168 84.0	135 67.5	117 58.5	102 51.0	104 52.0	78 39.0	63 31.5	47 23.5	47 23.5	34 17.0	16 8.0	13 6.5	16 8.0	8 4.0	5 2.5	
女性のいる世帯	229 100.0	191 83.4	143 62.4	141 61.6	112 48.9	113 49.3	86 37.6	66 28.8	47 20.5	48 21.0	40 17.5	25 10.9	18 7.9	17 7.4	10 4.4	6 2.6	
65歳以上だけの世帯	98 100.0	81 82.7	67 68.4	57 58.2	52 53.1	49 50.0	39 39.8	34 34.7	22 22.4	24 24.5	11 11.2	4 4.1	5 5.1	7 7.1	3 3.1	3 3.1	

3-4-4 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容

【問7で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】  
問9-1 問9で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。  
そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

<浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容（上位項目の主な意見）>

**【医療機関（診療科）の拡充】**

- 子供が増えてきている為小児科を増やしてほしい。（10～20代・女性）
- 町内で皮膚科眼科歯科等を増やしてほしい。（40代・女性）
- 大規模な医療機関が必要だと思う。又は近くの大規模医療機関への交通機関や方法のサポート。（60代・男性）
- 医療も商業施設も、ほとんどが南相馬市頼りなので、町内で充実して欲しい。（60代・女性）
- 他町へ行っている町民が多いと思うので診療について拡充すれば戻りたいと考えている人、判断のつかない人も変わって来ると思う。（70代以上・男性）

**【介護・福祉施設の充実】**

- 高齢の母親が町内持家に一人で住んでいるが、将来体が弱った時に、受け入れてくれる施設がないのが心配。（60代・男性）
- 現在は自分の事は何とかありますが、年を重ねていくうち、いつどこでどうなるか不安です。もう少し施設の内容や、数があったら良いと思います。（60代・女性）
- 町内には短期、長期入所できる介護施設がないため、介護施設を探すのが大変です。自分たちの老後もとても不安です。（60代・女性）
- 介護等これから先必要になるでであると考えてるので簡単な訪問介護ができる会社。（70代以上・男性）
- 介護施設、デイサービスばかりではなく、施設にあずかってほしい。（70代以上・女性）

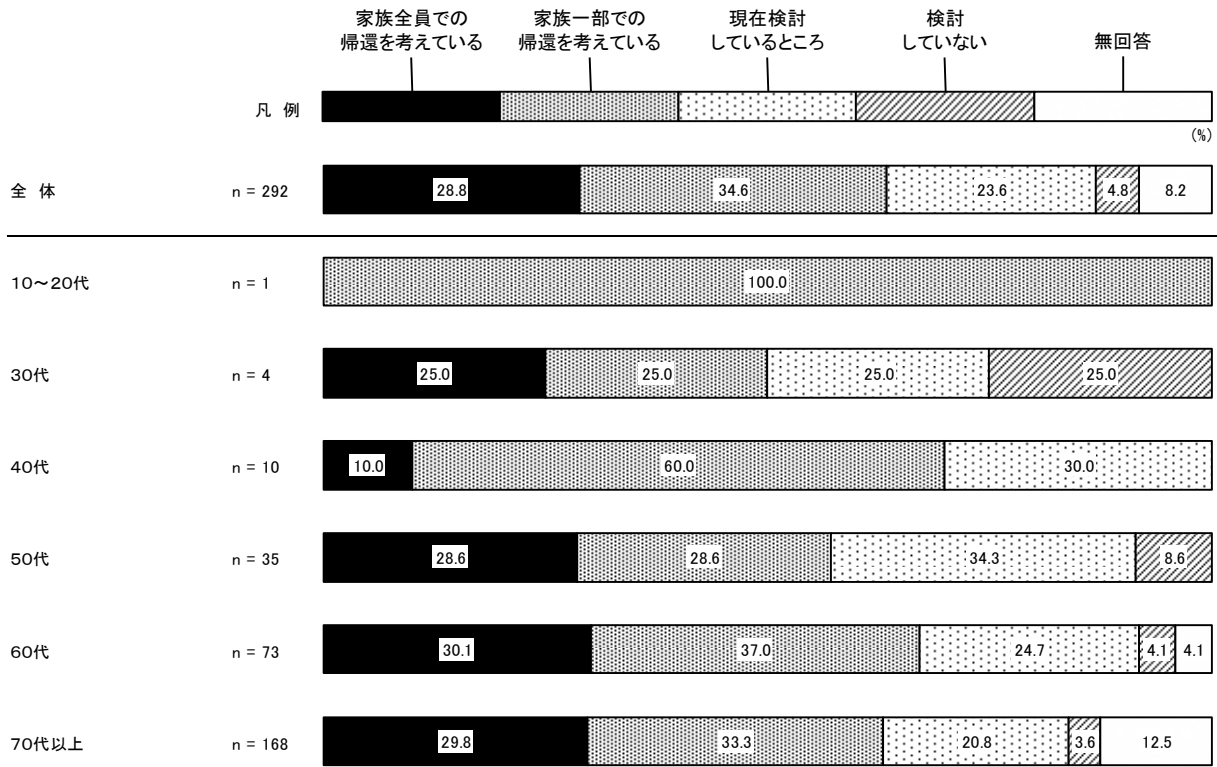
**【商業施設の再開・充実】**

- わざわざ南相馬市まで買い物に出ないといけないため。（30代・男性）
- 夜帰宅時間でスーパーが開いていないもしくは買えるものが無い。（50代・男性）
- もっと商業施設の増加。特にホームセンター、ドラッグストア、食料品などのお店を増やせるように努力をお願いします。（60代・男性）
- 品数が少ない（野菜・生魚）。（70代以上・男性）
- 医薬品・ホームセンター・衣料品の店があれば便利です。（70代以上・女性）

3-4-5 浪江町へ帰還する場合の家族

【問7で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にかがいます。】  
 問10 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（○は1つ）

<図表3-4-5-1 浪江町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



### III 調査結果（全項目）

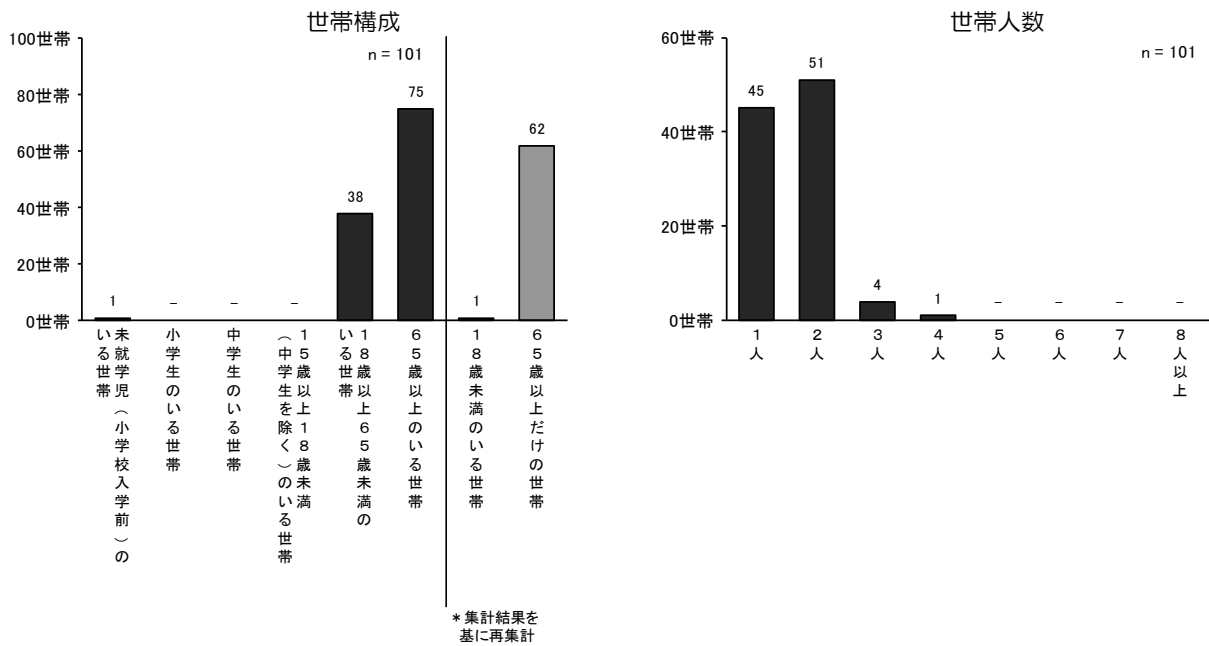
<図表3-4-5-2 浪江町へ帰還する場合の家族（現在の世帯構成別）>

	調査数	家族全員での帰還を考えている	家族一部での帰還を考えている	現在検討しているところ	検討していない	無回答
全体	292 100.0	84 28.8	101 34.6	69 23.6	14 4.8	24 8.2
単身世帯：計	63 100.0	16 25.4	21 33.3	12 19.0	4 6.3	10 15.9
15歳以上65歳未満 （中学生を除く）	10 100.0	1 10.0	6 60.0	2 20.0	1 10.0	- -
65歳以上	53 100.0	15 28.3	15 28.3	10 18.9	3 5.7	10 18.9
女性	31 100.0	9 29.0	11 35.5	6 19.4	1 3.2	4 12.9
2人以上の世帯：計	229 100.0	68 29.7	80 34.9	57 24.9	10 4.4	14 6.1
未就学児（小学校入学前）の いる世帯	12 100.0	1 8.3	6 50.0	4 33.3	- -	1 8.3
小学生のいる世帯	16 100.0	2 12.5	9 56.3	5 31.3	- -	- -
中学生のいる世帯	12 100.0	2 16.7	4 33.3	6 50.0	- -	- -
15歳以上18歳未満 （中学生を除く）のいる世帯	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3
18歳以上65歳未満の いる世帯	134 100.0	37 27.6	55 41.0	32 23.9	5 3.7	5 3.7
65歳以上のいる世帯	182 100.0	54 29.7	64 35.2	43 23.6	7 3.8	14 7.7
女性のいる世帯	219 100.0	66 30.1	75 34.2	57 26.0	10 4.6	11 5.0
65歳以上だけの世帯	92 100.0	29 31.5	25 27.2	24 26.1	5 5.4	9 9.8

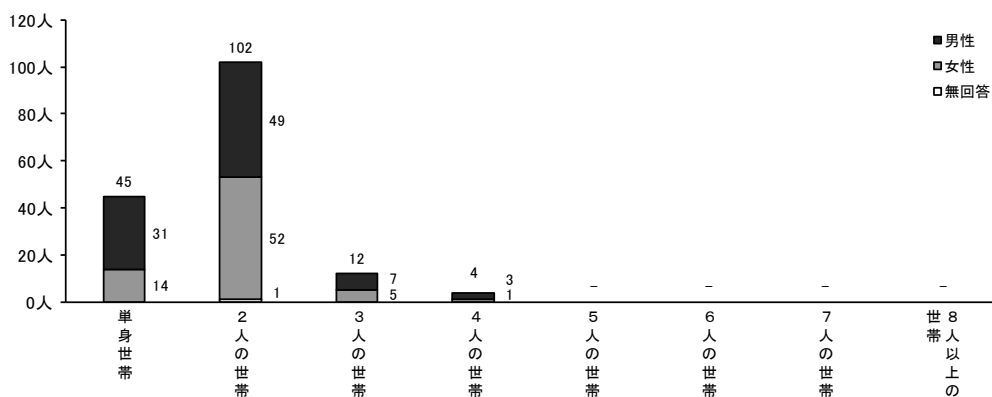
### 3-4-6 浪江町へ帰還した場合の世帯構成・人数

【問 10 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 10-1 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数を性別ごとにご回答ください。（性別ごとに人数で回答）

<図表3-4-6-1 浪江町へ帰還した場合の世帯構成・人数>



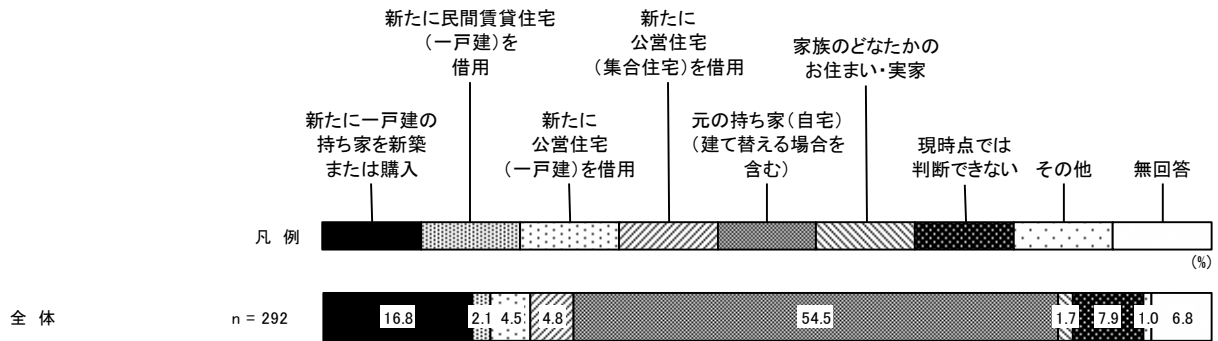
<図表3-4-6-2 浪江町へ帰還した場合の世帯構成（性別）>



### 3-4-7 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問7で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 11 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-7 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態>



〔その他の内訳〕

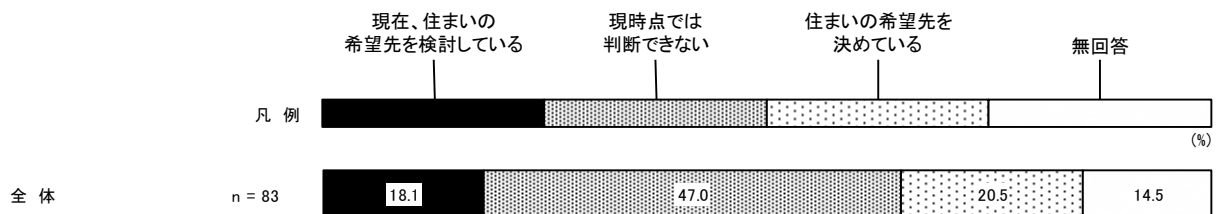
新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用	0.3%
元の民間賃貸住宅(一戸建)	-
元の民間賃貸住宅(集合住宅)	-
元の給与住宅(社宅など)	-
親戚・知人宅	-
その他	0.7%

### 3-4-8 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区

【\*問 11 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】  
 問 11-1 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。（〇は1つ）

- \*問 11 : 1. 新たに戸建の持ち家を新築または購入  
 2. 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用  
 3. 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用  
 4. 新たに公営住宅(一戸建)を借用  
 5. 新たに公営住宅(集合住宅)を借用

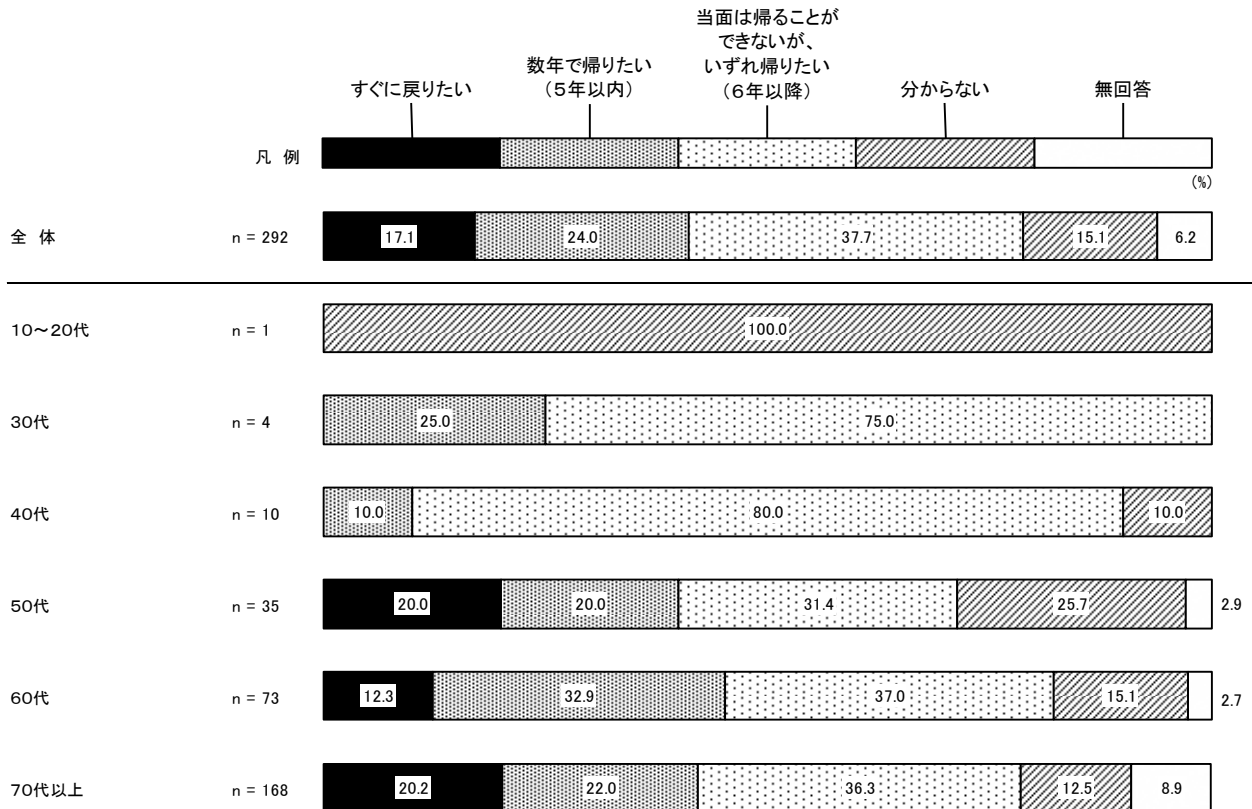
<図表3-4-8 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区>



### 3-4-9 浪江町への帰還時期

【問7で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】  
 問12 浪江町へ帰還する時期を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-9-1 浪江町への帰還時期（年齢別）>



### Ⅲ 調査結果（全項目）

<図表3-4-9-2 浪江町への帰還時期（現在の世帯構成別）>

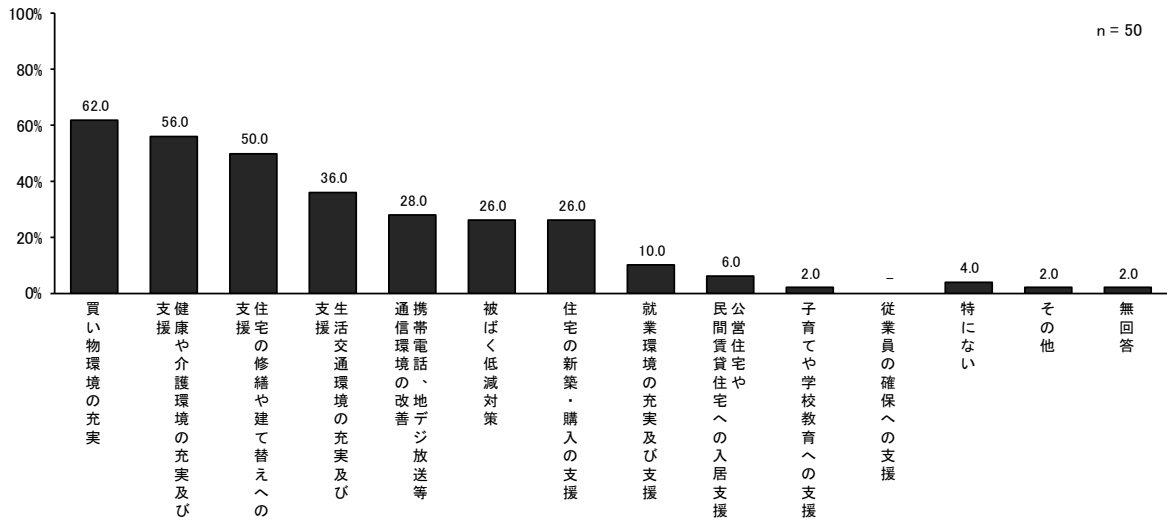
	調査数	すぐに戻りたい	数年で帰りたい（5年以内）	当面は帰りたい（6年以上）が、	分からない	無回答
全体	292 100.0	50 17.1	70 24.0	110 37.7	44 15.1	18 6.2
単身世帯：計	63 100.0	11 17.5	11 17.5	21 33.3	12 19.0	8 12.7
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	10 100.0	1 10.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	-
65歳以上	53 100.0	10 18.9	7 13.2	17 32.1	11 20.8	8 15.1
女性	31 100.0	5 16.1	6 19.4	9 29.0	7 22.6	4 12.9
2人以上の世帯：計	229 100.0	39 17.0	59 25.8	89 38.9	32 14.0	10 4.4
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	12 100.0	-	3 25.0	8 66.7	1 8.3	-
小学生のいる世帯	16 100.0	1 6.3	3 18.8	11 68.8	1 6.3	-
中学生のいる世帯	12 100.0	-	3 25.0	7 58.3	1 8.3	1 8.3
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	3 100.0	-	-	3 100.0	-	-
18歳以上65歳未満のいる世帯	134 100.0	17 12.7	38 28.4	54 40.3	19 14.2	6 4.5
65歳以上のいる世帯	182 100.0	32 17.6	48 26.4	72 39.6	22 12.1	8 4.4
女性のいる世帯	219 100.0	38 17.4	57 26.0	84 38.4	31 14.2	9 4.1
65歳以上だけの世帯	92 100.0	22 23.9	19 20.7	35 38.0	13 14.1	3 3.3

### 3-4-10 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること

【問12で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問12-1 浪江町へ帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-10 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>

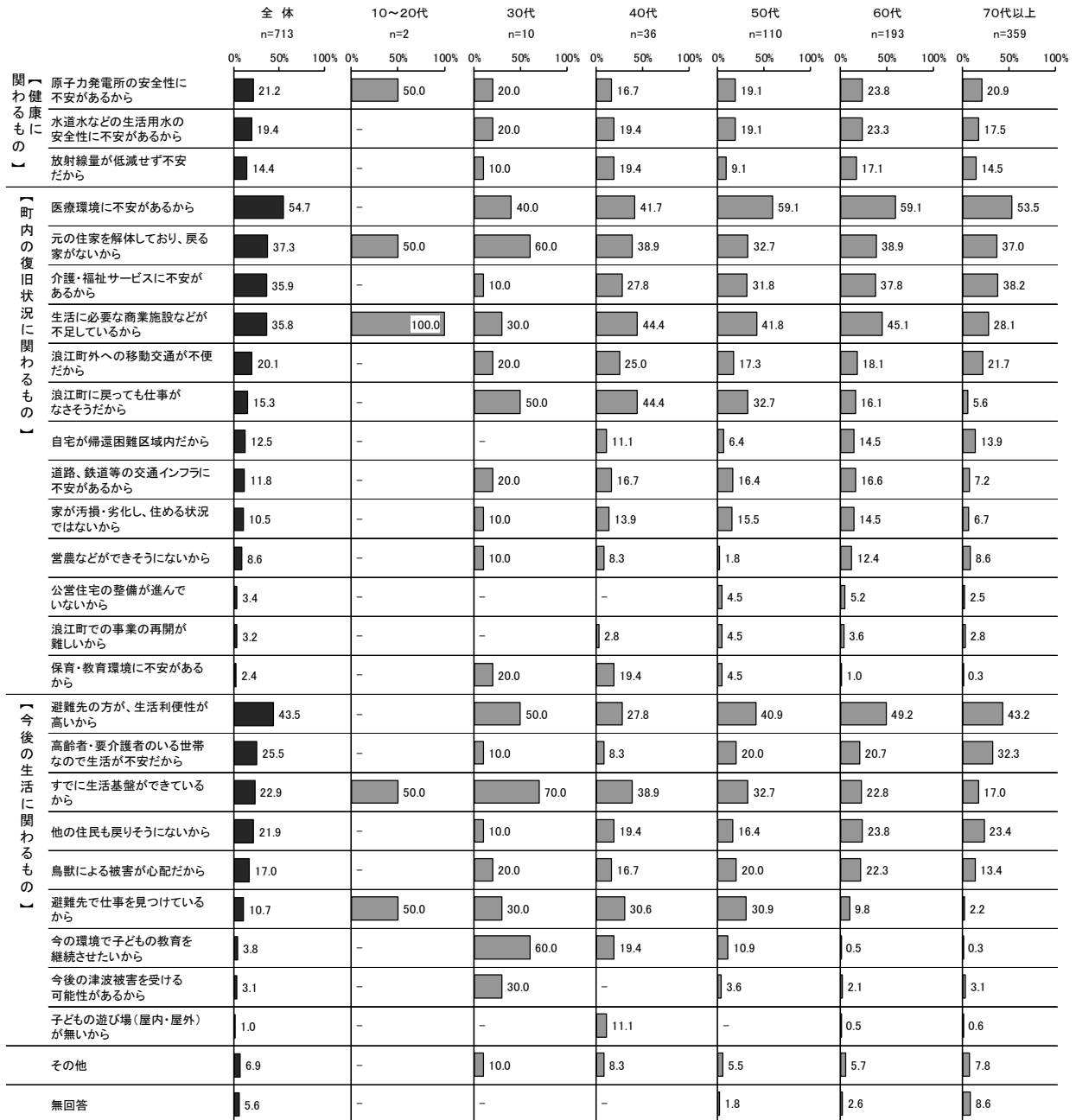


3-4-11 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由

【問7で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問13 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-11-1 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由（年齢別）>



<図表3-4-11-2 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由（現在の世帯構成別）>

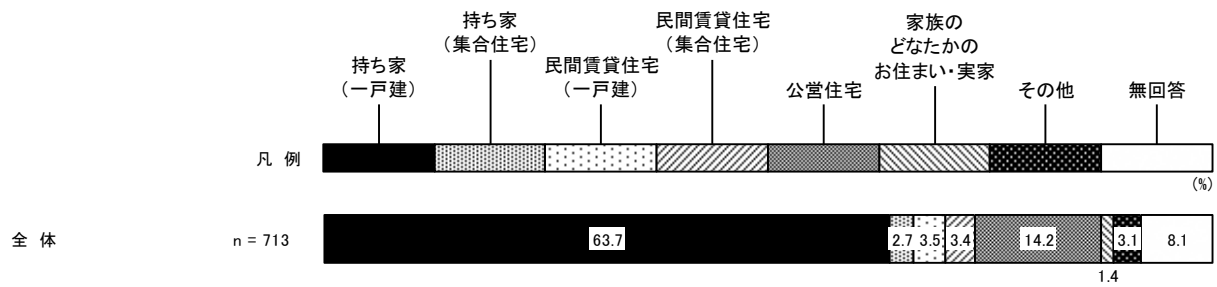
	調査数	【健康に関わるもの】				【町内の復旧状況に関わるもの】													
		原子力発電所の安全性に不安があるから	水道水などの生活用水の安全性に不安があるから	放射線量が低減せず不安だから	医療環境に不安があるから	元の住家を解体しており、戻るのがないから	介護・福祉サービスに不安があるから	生活に必要な商業施設などが不足しているから	浪江町外への移動交通が不便だから	浪江町に戻っても仕事がなさそうだから	自宅が帰還困難区域内だから	道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから	住める状況ではないから	営農などができそうにないから	公営住宅の整備が進んでいないから	浪江町での事業の再開が難しいから	保育・教育環境に不安があるから		
全体	713	151	138	103	390	266	256	255	143	109	89	84	75	61	24	23	17		
	100.0	21.2	19.4	14.4	54.7	37.3	35.9	35.8	20.1	15.3	12.5	11.8	10.5	8.6	3.4	3.2	2.4		
単身世帯：計	159	30	27	14	76	59	50	50	32	19	15	14	11	3	12	4	1		
	100.0	18.9	17.0	8.8	47.8	37.1	31.4	31.4	20.1	11.9	9.4	8.8	6.9	1.9	7.5	2.5	0.6		
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	44	6	8	3	20	19	9	15	10	10	2	3	4	-	4	2	1		
	100.0	13.6	18.2	6.8	45.5	43.2	20.5	34.1	22.7	22.7	4.5	6.8	9.1	-	9.1	4.5	2.3		
65歳以上	115	24	19	11	56	40	41	35	22	9	13	11	7	3	8	2	-		
	100.0	20.9	16.5	9.6	48.7	34.8	35.7	30.4	19.1	7.8	11.3	9.6	6.1	2.6	7.0	1.7	-		
女性	75	14	12	7	44	27	28	30	21	9	3	8	5	2	10	2	-		
	100.0	18.7	16.0	9.3	58.7	36.0	37.3	40.0	28.0	12.0	4.0	10.7	6.7	2.7	13.3	2.7	-		
2人以上の世帯：計	551	121	111	89	314	207	206	205	111	90	74	70	64	58	12	19	16		
	100.0	22.0	20.1	16.2	57.0	37.6	37.4	37.2	20.1	16.3	13.4	12.7	11.6	10.5	2.2	3.4	2.9		
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	49	10	7	8	20	15	14	16	7	14	4	5	9	1	1	1	3		
	100.0	20.4	14.3	16.3	40.8	30.6	28.6	32.7	14.3	28.6	8.2	10.2	18.4	2.0	2.0	2.0	6.1		
小学生のいる世帯	26	2	1	2	11	7	5	7	7	10	1	4	4	2	-	-	5		
	100.0	7.7	3.8	7.7	42.3	26.9	19.2	26.9	26.9	38.5	3.8	15.4	15.4	7.7	-	-	19.2		
中学生のいる世帯	26	4	4	3	11	7	8	6	5	7	2	2	3	3	-	-	3		
	100.0	15.4	15.4	11.5	42.3	26.9	30.8	23.1	19.2	26.9	7.7	7.7	11.5	11.5	-	-	11.5		
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	31	5	5	1	15	6	8	9	3	6	2	2	6	3	-	-	3		
	100.0	16.1	16.1	3.2	48.4	19.4	25.8	29.0	9.7	19.4	6.5	6.5	19.4	9.7	-	-	9.7		
18歳以上65歳未満のいる世帯	363	83	79	59	207	142	132	137	74	84	47	47	49	36	7	14	16		
	100.0	22.9	21.8	16.3	57.0	39.1	36.4	37.7	20.4	23.1	12.9	12.9	13.5	9.9	1.9	3.9	4.4		
65歳以上のいる世帯	418	94	84	71	244	160	163	146	87	46	64	50	44	49	10	15	4		
	100.0	22.5	20.1	17.0	58.4	38.3	39.0	34.9	20.8	11.0	15.3	12.0	10.5	11.7	2.4	3.6	1.0		
女性のいる世帯	534	120	107	86	307	202	201	200	106	89	70	68	61	56	12	19	16		
	100.0	22.5	20.0	16.1	57.5	37.8	37.6	37.5	19.9	16.7	13.1	12.7	11.4	10.5	2.2	3.6	3.0		
65歳以上だけの世帯	176	36	31	28	104	62	72	65	36	4	26	22	13	22	5	4	-		
	100.0	20.5	17.6	15.9	59.1	35.2	40.9	36.9	20.5	2.3	14.8	12.5	7.4	12.5	2.8	2.3	-		
	調査数	【今後の生活に関わるもの】														その他	無回答		
		高難先の方、生活利便性が	高齢者・要介護者のいる世帯	から生活基盤ができていないから	他の住民も戻りそうにないから	鳥獣による被害が心配だから	避難先で仕事をみつけないから	今の環境で子どもの教育を継続させたいから	今後の津波被害を受ける可能性があるから	（屋内・屋外）遊び場が無いから									
全体	713	310	182	163	156	121	76	27	22	7	49	40							
	100.0	43.5	25.5	22.9	21.9	17.0	10.7	3.8	3.1	1.0	6.9	5.6							
単身世帯：計	159	59	29	22	24	18	9	-	6	1	11	14							
	100.0	37.1	18.2	13.8	15.1	11.3	5.7	-	3.8	0.6	6.9	8.8							
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	44	16	2	8	6	5	6	-	1	-	1	1							
	100.0	36.4	4.5	18.2	13.6	11.4	13.6	-	2.3	-	2.3	2.3							
65歳以上	115	43	27	14	18	13	3	-	5	1	10	13							
	100.0	37.4	23.5	12.2	15.7	11.3	2.6	-	4.3	0.9	8.7	11.3							
女性	75	31	13	11	17	11	5	-	4	1	5	5							
	100.0	41.3	17.3	14.7	22.7	14.7	6.7	-	5.3	1.3	6.7	6.7							
2人以上の世帯：計	551	251	153	141	132	103	67	27	16	6	37	24							
	100.0	45.6	27.8	25.6	24.0	18.7	12.2	4.9	2.9	1.1	6.7	4.4							
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	49	20	6	13	8	7	12	6	1	2	4	2							
	100.0	40.8	12.2	26.5	16.3	14.3	24.5	12.2	2.0	4.1	8.2	4.1							
小学生のいる世帯	26	10	-	11	2	2	7	10	2	3	3	1							
	100.0	38.5	-	42.3	7.7	7.7	26.9	38.5	7.7	11.5	11.5	3.8							
中学生のいる世帯	26	10	5	9	2	3	9	9	2	2	2	-							
	100.0	38.5	19.2	34.6	7.7	11.5	34.6	34.6	7.7	7.7	7.7	-							
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	31	10	5	8	5	6	4	5	-	1	2	1							
	100.0	32.3	16.1	25.8	16.1	19.4	12.9	16.1	-	3.2	6.5	3.2							
18歳以上65歳未満のいる世帯	363	170	96	105	81	68	64	26	11	6	18	13							
	100.0	46.8	26.4	28.9	22.3	18.7	17.6	7.2	3.0	1.7	5.0	3.6							
65歳以上のいる世帯	418	197	138	93	104	76	27	8	11	1	31	22							
	100.0	47.1	33.0	22.2	24.9	18.2	6.5	1.9	2.6	0.2	7.4	5.3							
女性のいる世帯	534	243	150	138	129	100	66	27	16	6	35	21							
	100.0	45.5	28.1	25.8	24.2	18.7	12.4	5.1	3.0	1.1	6.6	3.9							
65歳以上だけの世帯	176	78	55	36	49	34	2	1	5	-	17	10							
	100.0	44.3	31.3	20.5	27.8	19.3	1.1	0.6	2.8	-	9.7	5.7							

### 3-4-12 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして検討する住居形態

【問7で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 14 今後のお住まいとして、検討する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。  
（〇は1つ）

<図表3-4-12 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして検討する住居形態>



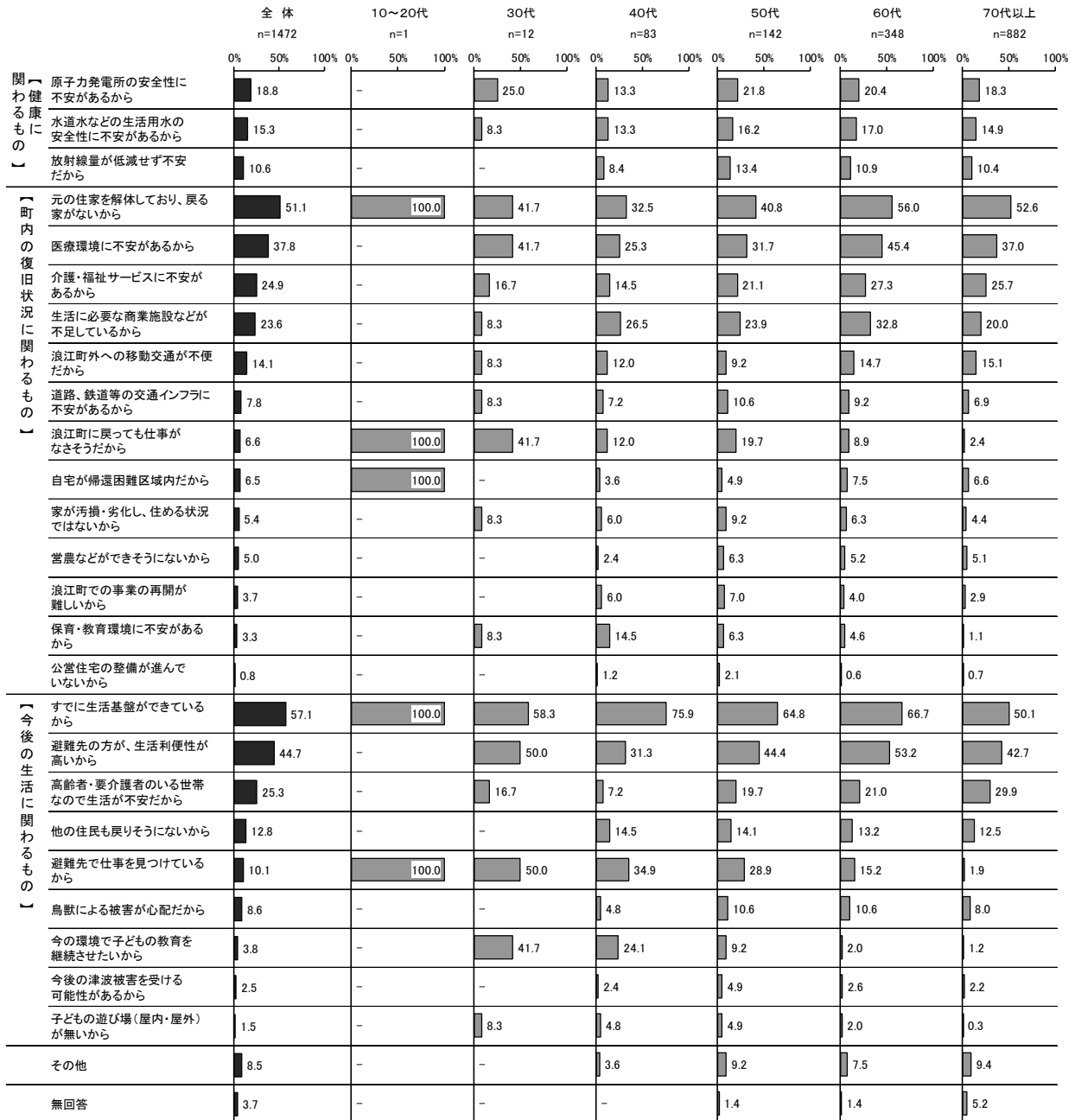
〔その他の内訳〕

給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	-
親戚・知人宅	0.3%
その他	2.8%

### 3-4-13 浪江町に帰還しない理由

【問7で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 15 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-13-1 浪江町に帰還しない理由（年齢別）>



III 調査結果（全項目）

<図表3-4-13-2 浪江町に帰還しない理由（現在の世帯構成別）>

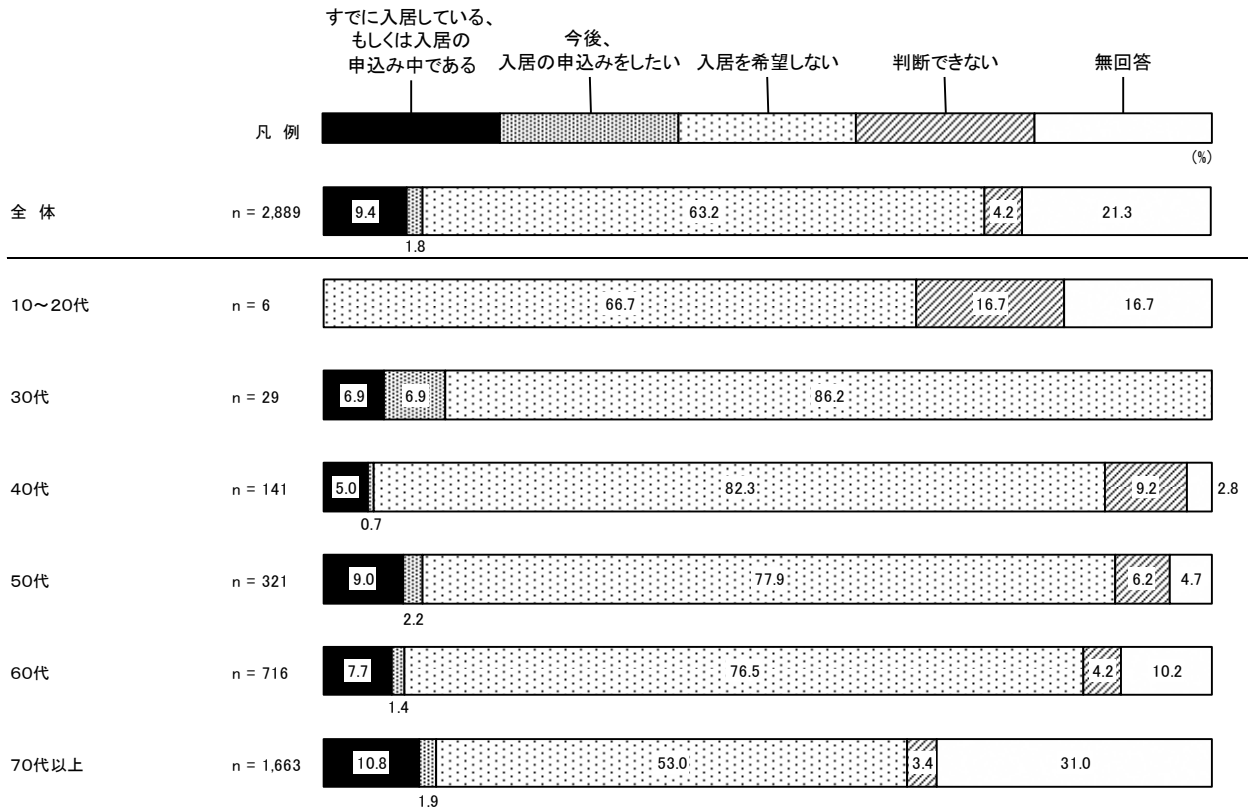
調査数	【健康に関わるもの】				【町内の復旧状況に関わるもの】													
	原子力発電所の安全性に不安があるから	水道水などの生活用水の安全性に不安があるから	放射線量が低減せず不安だから	元の住家を解体しており、戻る家がないから	医療環境に不安があるから	介護・福祉サービスに不安があるから	生活に必要な商業施設などが不足しているから	浪江町外への移動交通が不便だから	道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから	浪江町に戻っても仕事がないから	自宅が帰還困難区域内だから	家が汚損・劣化し、住める状況ではないから	営農などができそうにないから	浪江町での事業の再開が難しいから	保育・教育環境に不安があるから	公営住宅の整備が進んでいないから		
全体	1472	277	225	156	752	556	367	347	208	115	97	95	80	74	55	48	12	
	100.0	18.8	15.3	10.6	51.1	37.8	24.9	23.6	14.1	7.8	6.6	6.5	5.4	5.0	3.7	3.3	0.8	
単身世帯：計	391	63	54	36	189	131	89	88	50	26	18	30	23	15	11	2	4	
	100.0	16.1	13.8	9.2	48.3	33.5	22.8	22.5	12.8	6.6	4.6	7.7	5.9	3.8	2.8	0.5	1.0	
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	59	11	10	7	27	23	15	20	5	6	9	6	5	4	4	2	1	
	100.0	18.6	16.9	11.9	45.8	39.0	25.4	33.9	8.5	10.2	15.3	10.2	8.5	6.8	6.8	3.4	1.7	
65歳以上	332	52	44	29	162	108	74	68	45	20	9	24	18	11	7	-	3	
	100.0	15.7	13.3	8.7	48.8	32.5	22.3	20.5	13.6	6.0	2.7	7.2	5.4	3.3	2.1	-	0.9	
女性	233	37	26	21	119	77	53	48	31	15	4	17	8	5	2	1	1	
	100.0	15.9	11.2	9.0	51.1	33.0	22.7	20.6	13.3	6.4	1.7	7.3	3.4	2.1	0.9	0.4	0.4	
2人以上の世帯：計	1073	213	169	119	559	424	277	258	157	88	78	65	57	59	44	45	8	
	100.0	19.9	15.8	11.1	52.1	39.5	25.8	24.0	14.6	8.2	7.3	6.1	5.3	5.5	4.1	4.2	0.7	
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	82	16	11	6	35	29	21	18	12	9	10	1	1	4	3	7	1	
	100.0	19.5	13.4	7.3	42.7	35.4	25.6	22.0	14.6	11.0	12.2	1.2	1.2	4.9	3.7	8.5	1.2	
小学生のいる世帯	64	11	12	6	26	25	13	21	7	5	9	-	2	3	5	14	2	
	100.0	17.2	18.8	9.4	40.6	39.1	20.3	32.8	10.9	7.8	14.1	-	3.1	4.7	7.8	21.9	3.1	
中学生のいる世帯	57	10	10	8	31	23	16	15	8	8	7	-	3	2	1	10	-	
	100.0	17.5	17.5	14.0	54.4	40.4	28.1	26.3	14.0	14.0	12.3	-	5.3	3.5	1.8	17.5	-	
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	59	7	10	7	26	20	17	14	4	5	5	2	2	5	4	10	2	
	100.0	11.9	16.9	11.9	44.1	33.9	28.8	23.7	6.8	8.5	8.5	3.4	3.4	8.5	6.8	16.9	3.4	
18歳以上65歳未満のいる世帯	671	141	105	70	343	249	160	166	99	56	73	37	39	33	30	39	7	
	100.0	21.0	15.6	10.4	51.1	37.1	23.8	24.7	14.8	8.3	10.9	5.5	5.8	4.9	4.5	5.8	1.0	
65歳以上のいる世帯	875	176	136	96	485	359	239	202	130	66	41	54	40	51	30	25	4	
	100.0	20.1	15.5	11.0	55.4	41.0	27.3	23.1	14.9	7.5	4.7	6.2	4.6	5.8	3.4	2.9	0.5	
女性のいる世帯	1057	212	168	117	548	418	272	256	156	88	77	65	57	57	44	45	8	
	100.0	20.1	15.9	11.1	51.8	39.5	25.7	24.2	14.8	8.3	7.3	6.1	5.4	5.4	4.2	4.3	0.8	
65歳以上だけの世帯	380	70	63	46	205	165	109	87	55	30	3	28	18	25	14	6	1	
	100.0	18.4	16.6	12.1	53.9	43.4	28.7	22.9	14.5	7.9	0.8	7.4	4.7	6.6	3.7	1.6	0.3	
調査数	【今後の生活に関わるもの】											その他	無回答					
	からすでに生活基盤ができています	高難先の方が、生活利便性が	高齢者・要介護者のいる世帯	他の住民も戻りそうにないから	から避難先で仕事を見つけている	鳥獣による被害が心配だから	今の環境で子どもの教育を継続させたいから	今後の津波被害を受ける可能性があるから	（屋内・屋外）が無いから									
全体	1472	840	658	373	188	148	127	56	37	22	125	54						
	100.0	57.1	44.7	25.3	12.8	10.1	8.6	3.8	2.5	1.5	8.5	3.7						
単身世帯：計	391	184	158	79	38	22	22	2	5	2	43	27						
	100.0	47.1	40.4	20.2	9.7	5.6	5.6	0.5	1.3	0.5	11.0	6.9						
15歳以上65歳未満（中学生を除く）	59	37	29	4	8	16	7	1	2	2	4	1						
	100.0	62.7	49.2	6.8	13.6	27.1	11.9	1.7	3.4	3.4	6.8	1.7						
65歳以上	332	147	129	75	30	6	15	1	3	-	39	26						
	100.0	44.3	38.9	22.6	9.0	1.8	4.5	0.3	0.9	-	11.7	7.8						
女性	233	107	91	50	18	7	15	-	1	1	36	15						
	100.0	45.9	39.1	21.5	7.7	3.0	6.4	-	0.4	0.4	15.5	6.4						
2人以上の世帯：計	1073	654	499	293	150	125	103	52	32	19	79	26						
	100.0	61.0	46.5	27.3	14.0	11.6	9.6	4.8	3.0	1.8	7.4	2.4						
未就学児（小学校入学前）のいる世帯	82	53	29	15	11	13	11	12	2	7	7	2						
	100.0	64.6	35.4	18.3	13.4	15.9	13.4	14.6	2.4	8.5	8.5	2.4						
小学生のいる世帯	64	47	24	10	10	14	5	27	4	10	9	3						
	100.0	73.4	37.5	15.6	15.6	21.9	7.8	42.2	6.3	15.6	14.1	4.7						
中学生のいる世帯	57	41	22	11	10	8	3	16	2	6	3	1						
	100.0	71.9	38.6	19.3	17.5	14.0	5.3	28.1	3.5	10.5	5.3	1.8						
15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯	59	44	24	10	10	17	8	17	3	4	6	1						
	100.0	74.6	40.7	16.9	16.9	28.8	13.6	28.8	5.1	6.8	10.2	1.7						
18歳以上65歳未満のいる世帯	671	430	300	155	90	117	59	49	23	19	48	17						
	100.0	64.1	44.7	23.1	13.4	17.4	8.8	7.3	3.4	2.8	7.2	2.5						
65歳以上のいる世帯	875	509	408	273	124	61	84	23	25	9	67	24						
	100.0	58.2	46.6	31.2	14.2	7.0	9.6	2.6	2.9	1.0	7.7	2.7						
女性のいる世帯	1057	646	493	288	147	123	103	52	32	19	77	26						
	100.0	61.1	46.6	27.2	13.9	11.6	9.7	4.9	3.0	1.8	7.3	2.5						
65歳以上だけの世帯	380	212	192	129	56	6	42	2	9	-	30	7						
	100.0	55.8	50.5	33.9	14.7	1.6	11.1	0.5	2.4	-	7.9	1.8						

### 3-5 復興公営住宅についての世帯の意見

#### 3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向

問 16 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-1-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向（年齢別）>



### III 調査結果（全項目）

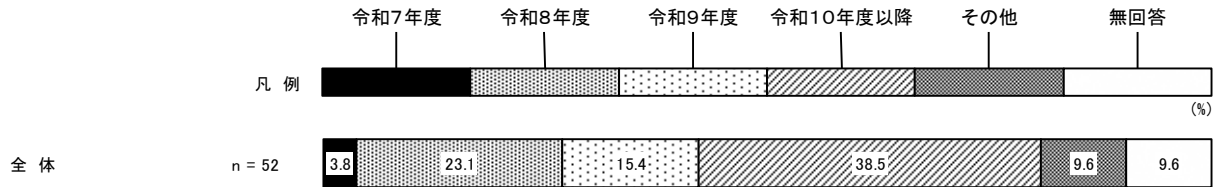
<図表3-5-1-2 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向（現在の世帯構成別）>

	調査数	入居の申込みをしている、もしくは入居の申込みを考えている	今後、入居の申込みをしたい	入居を希望しない	判断できない	無回答
全体	2889 100.0	273 9.4	52 1.8	1827 63.2	122 4.2	615 21.3
単身世帯・計	763 100.0	150 19.7	21 2.8	355 46.5	30 3.9	207 27.1
15歳以上65歳未満 （中学生を除く）	145 100.0	28 19.3	4 2.8	92 63.4	7 4.8	14 9.7
65歳以上	618 100.0	122 19.7	17 2.8	263 42.6	23 3.7	193 31.2
女性	403 100.0	75 18.6	7 1.7	191 47.4	17 4.2	113 28.0
2人以上の世帯・計	2112 100.0	122 5.8	31 1.5	1465 69.4	89 4.2	405 19.2
未就学児（小学校入学前）の いる世帯	167 100.0	8 4.8	4 2.4	131 78.4	8 4.8	16 9.6
小学生のいる世帯	115 100.0	3 2.6	2 1.7	82 71.3	9 7.8	19 16.5
中学生のいる世帯	102 100.0	3 2.9	2 2.0	76 74.5	4 3.9	17 16.7
15歳以上18歳未満 （中学生を除く）のいる世帯	99 100.0	4 4.0	2 2.0	86 86.9	2 2.0	5 5.1
18歳以上65歳未満の いる世帯	1313 100.0	60 4.6	21 1.6	972 74.0	70 5.3	190 14.5
65歳以上のいる世帯	1690 100.0	104 6.2	23 1.4	1112 65.8	60 3.6	391 23.1
女性のいる世帯	2053 100.0	113 5.5	29 1.4	1433 69.8	85 4.1	393 19.1
65歳以上だけの世帯	752 100.0	57 7.6	9 1.2	467 62.1	17 2.3	202 26.9

### 3-5-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期

【問 16 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】  
 問 16-1 入居を希望する時期について教えてください。（〇は1つ）

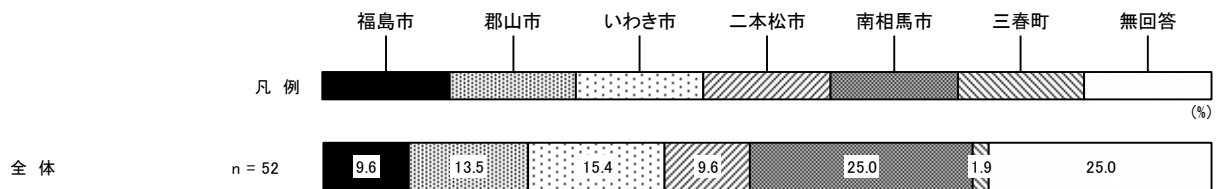
<図表3-5-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期>



### 3-5-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問 16 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】  
 問 16-2 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



〔内訳〕

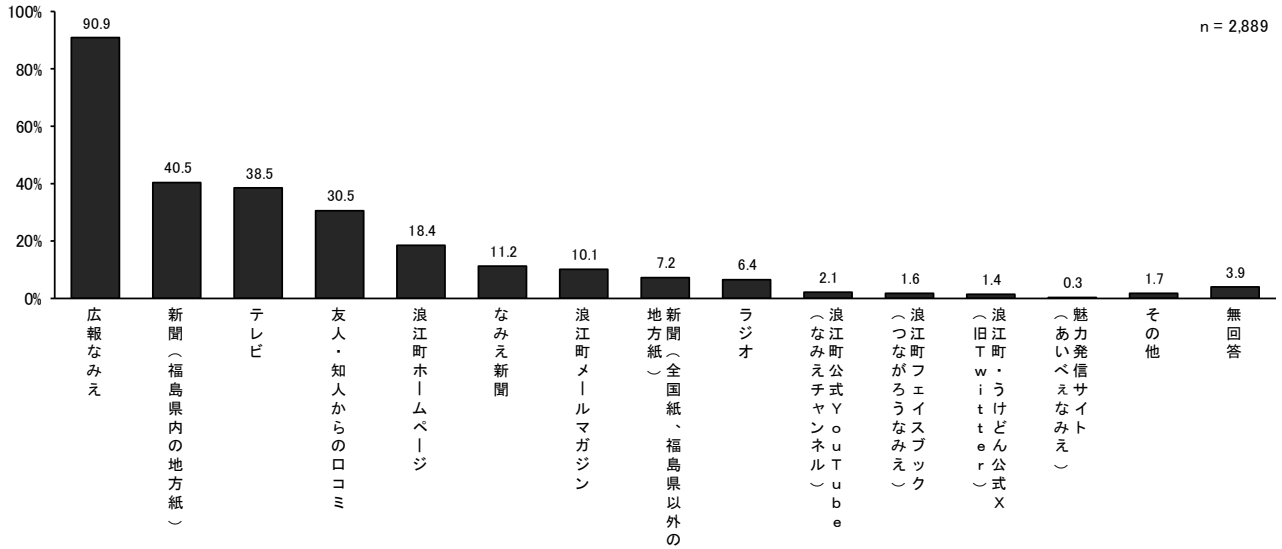
- 会津若松市 -
- 白河市 -
- 田村市 -
- 川俣町 -
- 広野町 -

### 3-6 情報入手についての世帯の意見

#### 3-6-1 浪江町に関する情報の入手経路

問 17 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。（〇はいくつでも）

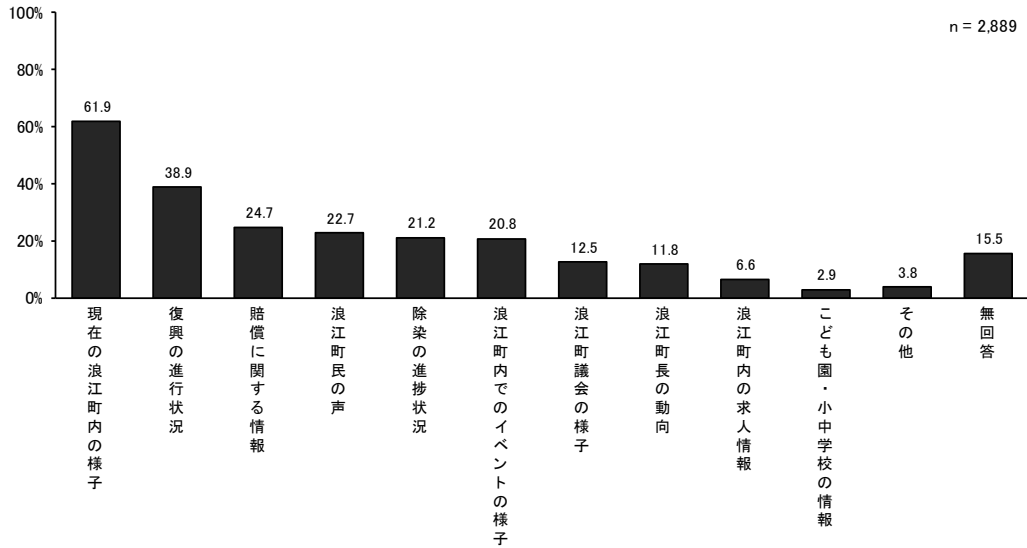
<図表3-6-1 浪江町に関する情報の入手経路>



3-6-2 浪江町役場から欲しい情報

問 18 広報なみえ、ホームページ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。  
 (〇はいくつでも)

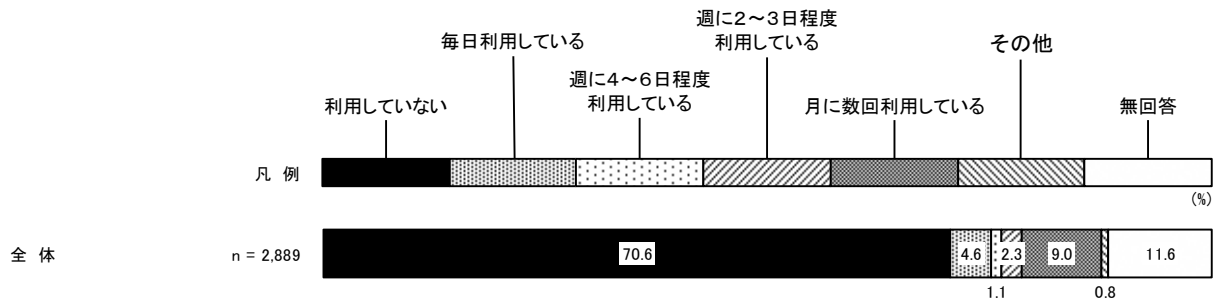
<図表3-6-2 浪江町役場から欲しい情報>



### 3-6-3 なみえ新聞を利用しているか

問 19 タブレット事業は終了しましたが、タブレットに搭載されていた「なみえ新聞」は、スマートフォンやパソコンなどから利用できます。「なみえ新聞」では、毎日、イベント情報、なみえのニュース、町民等の皆さんによる写真投稿等を更新していますが、利用していますか？（○は1つ）

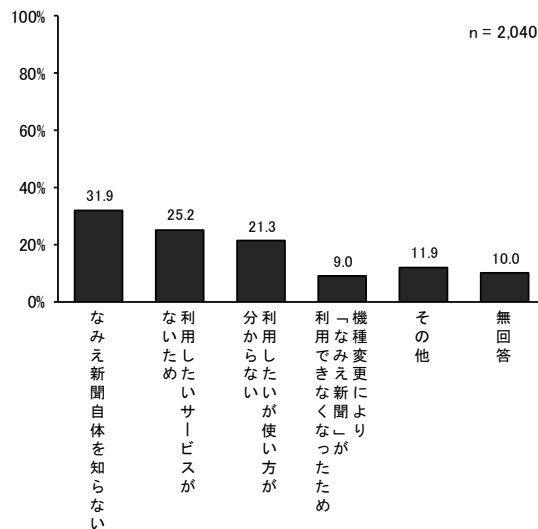
<図表3-6-3 なみえ新聞を利用しているか>



### 3-6-4 なみえ新聞を利用していない理由

【問 19 で「1. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】  
 問 19-1 なみえ新聞を利用されていない理由を教えてください。（○はいくつでも）

<図表3-6-4 なみえ新聞を利用していない理由>

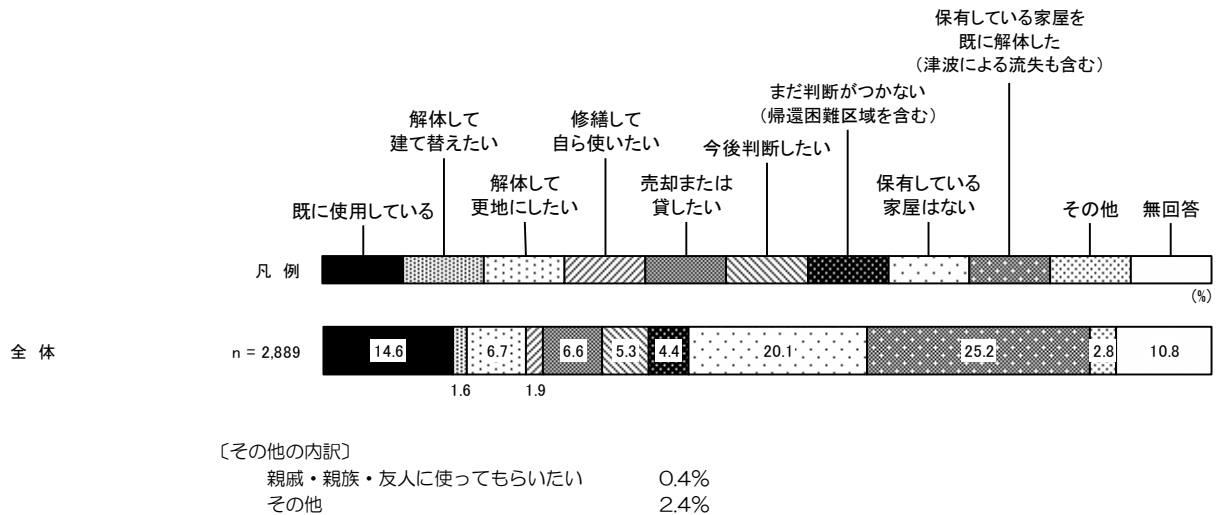


### 3-7 不動産の取り扱いについての世帯の意見

#### 3-7-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向

問 20 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

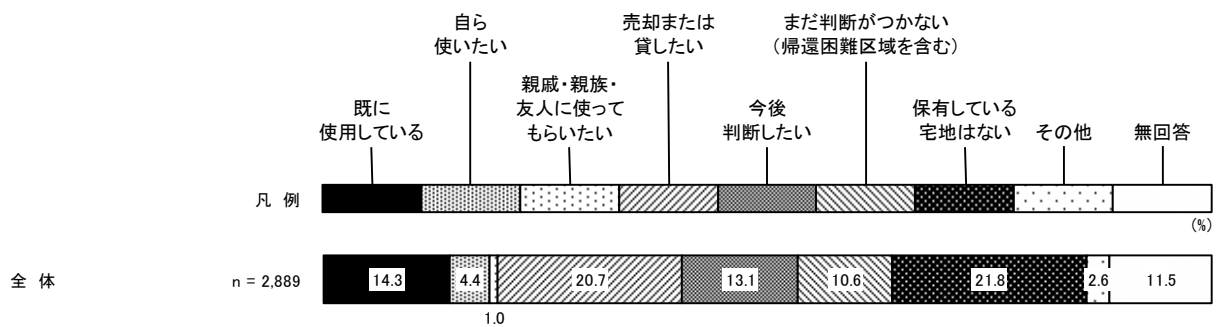
<図表3-7-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



#### 3-7-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向

問 21 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

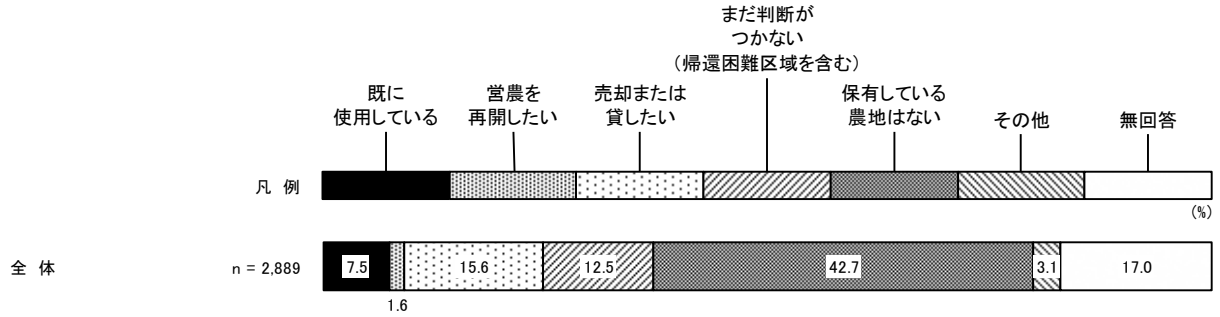
<図表3-7-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>



3-7-3 浪江町内に保有する農地の利用意向

問 22 町内に保有している農地の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

<図表3-7-3 浪江町内に保有する農地の利用意向>

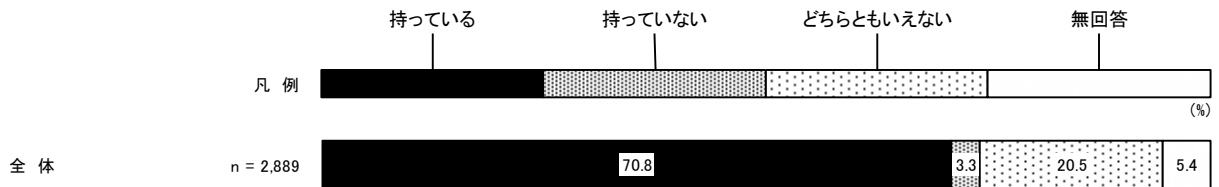


### 3-8 浪江町に対する世帯の思い

#### 3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか

問 23 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。（〇は1つ）

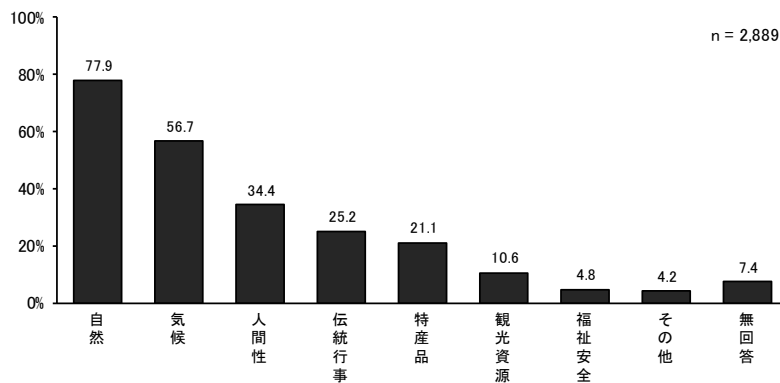
<図表3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか>



#### 3-8-2 浪江町の自慢できるところ

問 24 浪江町の自慢できるところは何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-8-2 浪江町の自慢できるところ>



### 3-9 意見・要望

問 25 国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、907 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

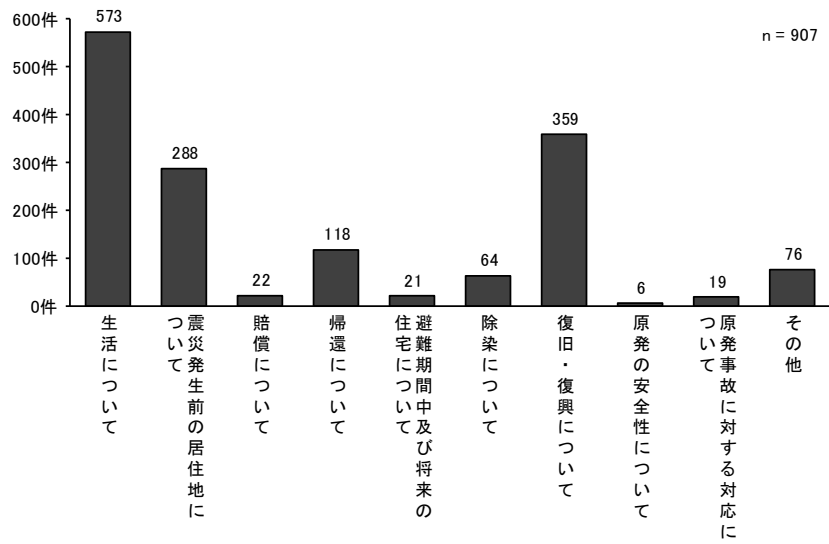
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意識について</li> <li>・除染作業の効果等について</li> <li>・除染作業の実施箇所等について</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュールの明確化について</li> <li>・除染産廃物の処理について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地等の管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> <li>・所有する住まい・土地に対する賠償全般について</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業全般について</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・現時点では帰還の判断ができない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

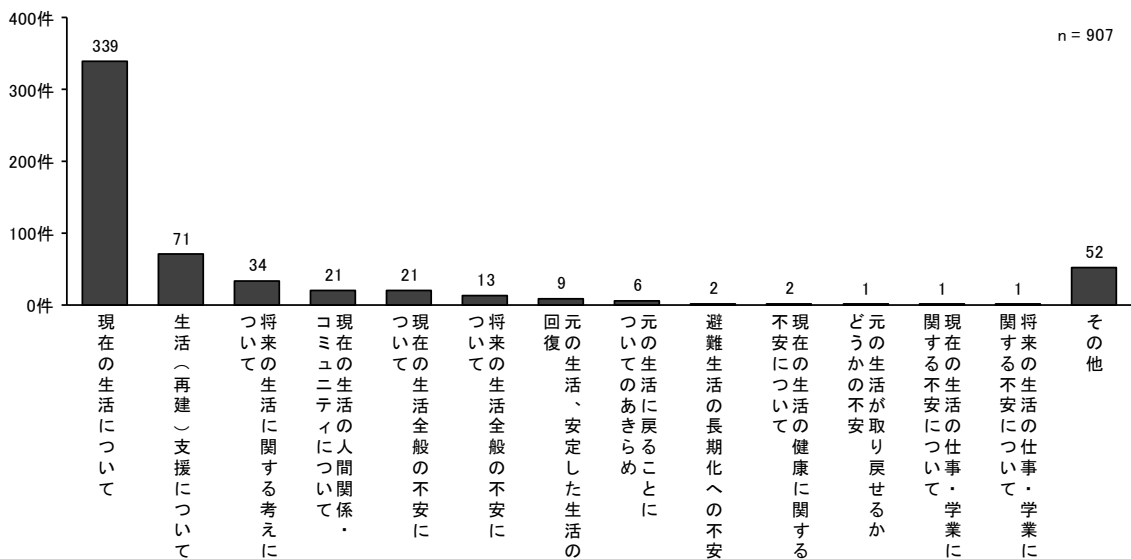
3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果>



### 3-9-2 生活について

<図表3-9-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【現在の生活について】

- 道の駅や、なみえふれあいげんきパークへ孫を遊ばせに連れて行き、なつかしい思いを夫婦で持っている。復興の様子を、目のあたりにしていきたい。子育てした大事な場所なので、元の浪江以上に発展してほしい。（60代・男性）
- 年に数回浪江に戻ります。戻ると凄くホッとし気分が落ち着くような気がします。故郷は良いものだと感じる此の頃です。友人達に逢えないのが、残念でなりません。お茶を飲んだり笑ったり、同じ趣味に興じていた頃が懐かしいです。（60代・女性）
- 自宅庭の除草に数回帰ります。自宅は解体し更地ですが植木、花を植え心だけは浪江町民でありたいと思っています。ご近所の草が伸びて来て大変ですので町民で土地所有者に声かけ等して頂くと有難いです。（70代以上・女性）

#### 【生活（再建）支援について】

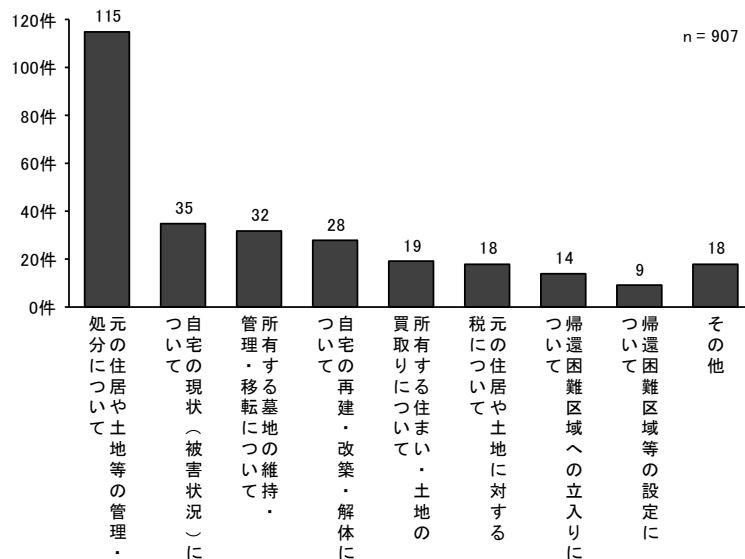
- 年に数回、お墓参りで浪江町に寄ります。町には以前のままの風景は少なく、何もなくなってしまった場所を見ると寂しさを感じます。でも、当時の思い出が自然と蘇り、心が温くなる瞬間でもあります。特に浜の海の香りが大好きで、その潮風に触れると町で過ごした日々や子ども時代の思い出がよみがえります。町に人が戻るためには、住宅を解体してしまい住む場所がないという人もいます。なので、住宅支援や給付金、仕事関係などのサポートが必要だと思います。生活、交通、医療の支援も大切です。町の人たちが安心して戻れる日が一日も早く訪れることを願っています。（30代・男性）
- 浪江町への移動は、どうしても車移動になるので、JRの本数を増やすとか、バス路線を増やすとかの対策をしないと、移動が難しい。特に、親世代は、運転させるのもするのもハラハラしている。又、遠方に就職した子供たちも車移動が多いので、高速道路利用の無償化は、とてもありがたい。ただいつまでも…という訳にもいかないのであれば、もっと交通の便利を考えてもらいたい。（50代・女性）
- 町の宝は子供かと思います。そこで若い人達が町に戻って生活ができる職場、そこに子供が生まれるので、若者への支援、子供への支援をお願いします。高齢者、要介護者がいる世帯が多くいるかと思うので、介護、福祉施設の充実をお願いします。（国、東電、町）と避難者との懇談会などをしていただけないでしょうか。県内（浜・中・会津）での開催。（70代以上・男性）

【将来の生活に関する考えについて】

- 現在、個人的に保有している土地や家はないが、親や親戚の土地や家の管理、墓の手入れ等で年数回浪江へ行くが、将来どうなっていくのかはまったく決まっていないので、今後の町の動向を見ながら考えていくようになると思います。浪江町内に戻れている人と、戻らない人との温度差が出て来ているように感じている。今生活している場所では安心して暮らせているが、親や親戚も高齢になっているので浪江もだんだん遠のいてきている。（50代・男性）
- 魅力的な山間部なので、同じところに住みたいが、冬場の生活が大変。2拠点生活出来れば、浪江町と関わっていけそう。（60代・男性）
- 自宅は壊して無いのですが今住んでいる原町から近いという事もあり時々宅地内の草刈り草むしりをしています。作業しながら目の前に広がる田んぼやまわりの風景を見ていると何とも言えない気持ちの安らぎを感じます。年齢を思うと無理に家を新築して住むという事は無駄な事と思います。十年若かったら現在住んでいる家を処分しても浪江に戻って生活したいものだといつも思っています。（70代以上・男性）

### 3-9-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-9-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・帰還困難地域の家を解体して更地にしたあとの土地をどうすればいいのか負の遺産として子供らに残すのは避けたい。国の方針としてどう考えているのか知りたいです。（50代・男性）
- ・少しずつ復興が進んでいると思いますが14年もたち子供達も別々になりこれから何年行き来出来るのか土地はどうするのかどうしたらいいのか心配です。（60代・女性）
- ・更地になっている土地をなんとかしたいです。年令的にも遠い所にいるのでなかなか行く事が出来ず、頭の中はいつもその事でいっぱいです。苦勞して買った土地なのでなんとかしていただきたいです。町や県 国 東電などに何とかお願いしたいと思っています。（70代以上・女性）

#### 【自宅の現状（被害状況）について】

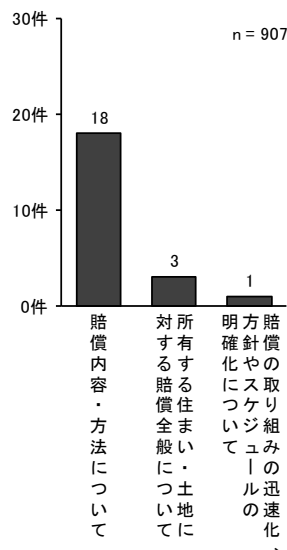
- ・浪江町に両親が住んでいます。震災当時は新しかった家も歳月が過ぎ、だんだん老朽化も進んできました。この先、この家を建て替えるにもお金がかかるし、どうしたらいいか迷っています。帰りたい気持ちもありますが、仕事の事、家の事を考えると無理なのかなと思ってしまいます。（50代・男性）
- ・周りの家が解体してしまって、隣組にポツンと一軒だけになっています。近所の雑草がどんどん生い茂り、林のようになってきて、あと10年もしたら周りが林になってしまうのではないかと心配です。（60代・女性）
- ・住んでいた家屋は解体し、現在は更地となっています。今は雑木、草などが生い茂っています。高齢者となり草刈は困難となりました。国県自治体東電等で除草はできませんか？個人での草刈は無理になりました。（70代以上・男性）

【所有する墓地の維持・管理・移転について】

- 墓参りも数年に1度程度になっており、子供達から、墓じまいの話が出ており、悩んでいる。自分までは浪江町の墓に入りたいのだが、他の方々はどうしているのでしょうか？現住地に墓移転は金もかかるし、町民の状況を知りたい。（60代・男性）
- 年に3回の墓参りに行きます。足腰が弱り歩くことも困難になると思います。せめて、墓の近くまで車で行ける様考えてほしいです。（60代・女性）
- 年に5～6回は墓参りに行きますが、お墓だけは昔のままで自分達が来られなくなった時を思うと、心が痛みます。（70代以上・男性）

### 3-9-4 賠償について

<図表3-9-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [賠償内容・方法について]

- 戻る人への手当を充分にお願いしたい。賠償も離れる人に手厚く、戻る人には少ない現状。家の修繕にもっと手当がほしい。空き地の雑草がひどい。町経由でお願いしても改善されない。法的に何かできないか。（50代・男性）
- 熊の出没と人身被害のニュースをよく目にします。浪江町も目撃数が増えており固体数も増えていると思われる。自宅が山間部なので帰還前に駆除等の対策をしていただきたい。原発事故から約15年経つが、未だ日常生活で不便を強いられている。東京電力の賠償も十分ではない。国が主導して、賠償の実情を調査して、東京電力へ是正するように求めて欲しい。帰還困難区域の除染を人が生活できる線量まで確実に行ってほしい。（50代・男性）
- 早い時期に仮設からの脱出をしたいと思ったが一次の賠償では資金が不足していた。早くしないと物件がなくなると急ぎました。私は里山暮らしが性に合っているので現在に至っています。東電賠償の基本は金をかけた分しか賠償されないのでは全て使いました。浪江に帰って終末を迎えたいと思っているが不動産の処分ができなければそれもできない。（70代以上・男性）

#### [所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

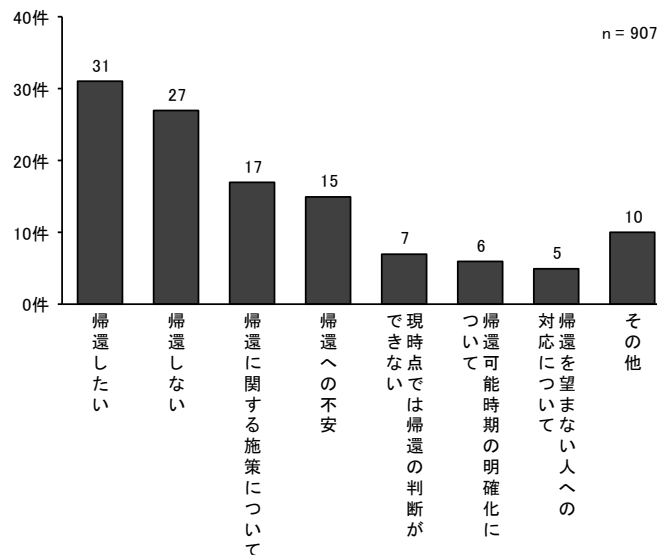
- 駅前に住宅があり、家、土地がなくなりました。近くに、代わりに土地でも斡旋してもらいたかった。都市計画に協力したので土地は協力した近くにほしかったです。金だけよこして、話し合いもしてなかった。（70代以上・男性）

#### [賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

- 賠償（廃炉が完了するまで）を続けること！精神的苦痛を考えて！（40代・男性）

### 3-9-5 帰還について

<図表3-9-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【帰還したい】

- 震災以前の浪江町は雰囲気や気候など住みやすい町と感じており、今後も仕事場があれば戻りたいと考えています。今後の更なる発展と復興を願っています。（50代・男性）
- 浪江町は、ふるさとであり、戻りたいと考えていますが、商店（ホームセンター、スーパー、飲食店etc）や医療施設が少なく、生活が難しいです。たまごが先か、ひよこが先なのか、人が集まることが、大きな課題。公営でどんどん町民の生活に必要な施設などを作っていただけたらと思います。（60代・男性）
- 浪江町に戻るとやはりなつかしさ、いろいろ思い出します。これからのことはまだわからないけどいずれはまた浪江に帰りたと思います。（60代・女性）

#### 【帰還しない】

- すでに避難先での生活が安定しており、町には戻りませんが、浪江町の復興を心より祈っております。（40代・男性）
- 年に6~7回墓参りに行きます。請戸のお墓から眺める太平洋の眺めは最高です。と同時にあの震災の恐ろしい日を思い出します。複雑な心境ではありますが浪江町の景色や請戸の潮風のにおいに気持ちがなごみます。生活基盤が整った今は残念ですがもう帰れません。（60代・男性）
- 自分の歳、体、医者、車の事を考えると帰りたけど帰れないというのが実情です。家も解体してしまい帰る家がなくなり浪江に行く回数も減りました。夫は帰りたがっていますが、こちらに家を建てた事（借り上げ住宅を売るので空けてほしいと言われ）によりお金もなくなってしまいました。こちらの家を売って又引越しをするのは疲れました。でも浪江とつながっていたいんです。（70代以上・女性）

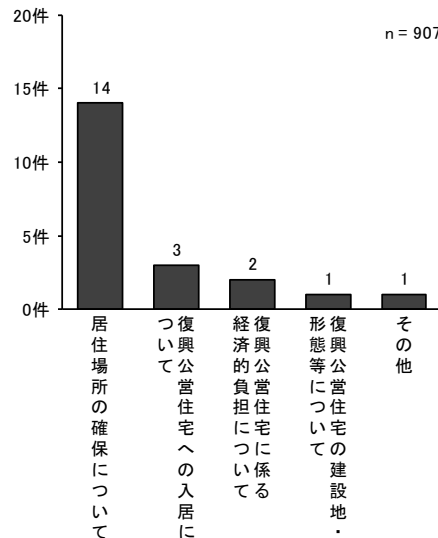
### Ⅲ 調査結果（全項目）

#### 【帰還に関する施策について】

- 新しい浪江町の政策が多いですが、双葉郡に戻って行政等で感じることは、帰還者に寄り添っていない！と皆が感じている。何をするにも不便だし、改善するのはまだまだ先の様です。これでは、若者の帰還者は居ないでしょう。私の子供も、三人連れて帰還しましたが、良い環境があれば、他での生活拠点を薦めています。とても若者に住んでくれとは言えません。（５０代・男性）
- 衣・食・住が整わなければ、町には住めないと思う。無駄な事に金を使っている。生活するのに必要な事に使い、帰っても心配ないようにすべきです。（６０代・男性）
- 周りを見ても、戻って生活しているのは高齢者ばかり。今後、若い世代が戻ってこれる、戻ってきたい環境を作らなければならない。Ｊヴィレッジのようなサッカー場とか、スポーツ施設や、小さな子供が遊べるような場所などを作ってもらいたい。（６０代・男性）

### 3-9-6 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-9-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【居住場所の確保について】

- 浪江町に戻りたいと思っています。改良した土地販売は行っておりますが、場所が不便と考えています。車がないと買い物が大変であると思います。町中（駅、町役場）周辺の土地で戻る予定がない方々へ土地を譲渡すること、売ること、（固定資産税を高くするなど）対策をとり、戻る方へ優先的に購入できるよう要望したいです。住民が戻り、家を建てれば町に税金を支払うため、将来的にみれば良い方向へむかうと思います。（40代・男性）
- 年に数回行きますが、家の周りには、住んでいる人がいないので寂しい状況です。将来、浪江に戻るとしても住居は、駅周辺かな・・・という思いです。息子が中学生なのでまだまだ先になると思います。（50代・女性）
- 春・秋のお彼岸・お盆・妹・母の命日には毎年墓参りに帰ってきます。古希も過ぎますとその往来は身体にこたえます。かつて父が建てた南深町の家跡地にUR建設が計画されていますが遅れ気味ですよね。URが完成したら入居したいと考えています。URの完成が遅れると帰還も遅れます。早期完成を願っています。（70代以上・女性）

#### 【復興公営住宅への入居について】

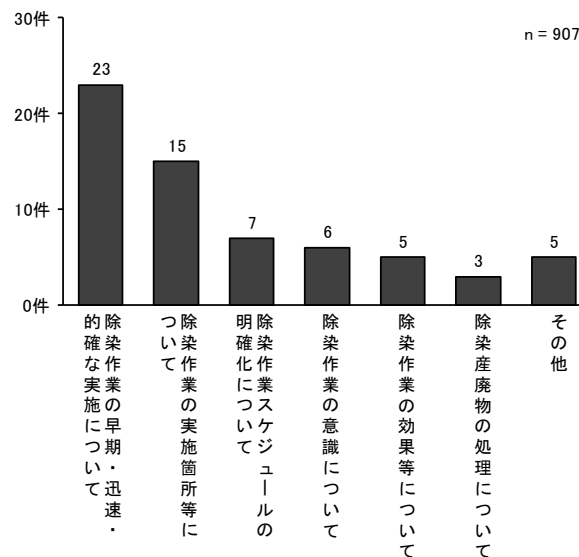
- 公営住宅から公営住宅への転居をできるようにしてほしい。（60代・男性）
- 復興公営住宅へと考えていますが、1. 2LDKでの1ヶ月の家賃を3万円以下にしてほしいです。たとえば二本松市あたりです！（70代以上・男性）

#### 【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- 復興公営住宅の家賃の決め方はなんとかならないのでしょうか。特定の家族構成や低収入の方は、低家賃で入居できていると聞く。入居をしたくても復興を目的とした住宅なのに、入居は、難しくなっているなどと思う。今後はどこに住めるのか不安になる。これからの浪江町は、安心して年をとれる町になってほしいと思う。（50代・無回答）

### 3-9-7 除染について

＜図表3-9-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・帰還困難区域の除染は、一度しても除染していない森林から枯れ葉や枝が飛んでくる。フォローアップ除染をしっかりすることと、高線量の土砂や枯れ葉を国が責任をもって継続的に管理することが、必要。（40代・男性）
- ・まだ家屋解体、除染がされていないので早期施工してほしい。年令的に年をとってしまう。農家もやりたい。農地の管理もしたい。自然豊かな地でゆっくり、静かな気持ちで生活したいです。（60代・男性）
- ・帰還希望者から、除染するという事に納得出来ない。これまで、他所の除染もそうであったのなら仕方がないが、15年も除染を待たされて家に帰る予定がないのであれば、除染はしないといわれているような気がする。帰る、帰らないは、住民の判断で、まずは、すべての帰還困難区域をすべて除染して、いつでも自由に自宅へ戻れるようにしてもらいたいものである。なぜ、自分の家に帰るのに許可をもらって帰らなければならないのか。すべての帰還困難区域が除染を完了し、解除されるのは何年の何月なのか、知りたい。自分が生きている間には解除されるのだろうか？（60代・男性）

#### 【除染作業の実施箇所等について】

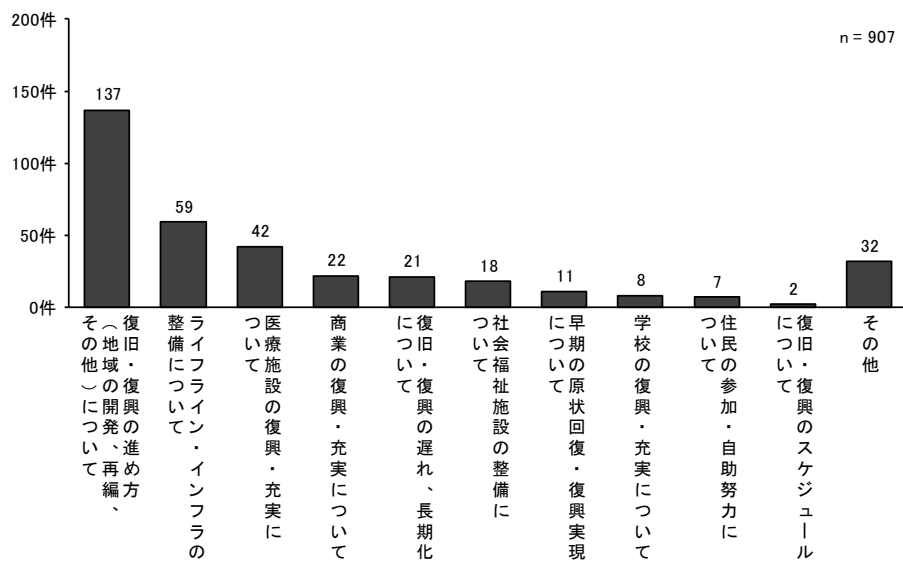
- ・津島地区に住んでいました。津島は森林地域がほとんどのため、森林地域の大部分の除染を行わなければ帰還するのは難しいと思う。（60代・男性）
- ・震災から14年が過ぎやっと行政区も除染が始まったが、すべてが対象にならず今後、次々計画に入れていただきたいです。山林に面している家屋もあるので、敷地から20mまでで除染がストップされても、上から線量の高い水が流れてくるので、生活できる状況にない。国の責任でやってほしいが、活動を自己責任で自由化、幕引きも囀る政府、どちらが被害者か加害者か分からなくなってきた現状です。目の前の山林は除染してほしいです。帰りたと思っても病院もなく、車の運転もいつまで出来るかわからない。現在も週2回のペースで浪江に通っています。気持ちが安らぎます。線量が高いということで、これまで除染が遅れ、これから解除になったらどうしたら良いか。営農は不可能。頭が痛い。これからの解除時期については、すべての農地が除染終了してから、お願いしたいです。（70代以上・男性）
- ・中山間地域では家屋周辺の山林原野や農地を除染しないと生活が成り立たない。（70代以上・男性）

【除染作業スケジュールの明確化について】

- 現在の南相馬の家と浪江の家との2拠点生活を考えているが、除染と家の解体がいつになるのか何年先になるのか、まったくわからないため、意欲が薄れてくるように感じる。（60代・男性）
- 復興復興と言って戻って来たら人の住む状態ではない。周りを見れば雑草が生い茂っている。隣り地区が除染が進まずいつになるのか。敷地内に野菜を作れば動物に食べ散らかされ楽しみにしていた作物を見てがっかりでした。震災後猪苗代に避難した時に東電の説明会があり、「元通りの生活にします。」と言ったことばはいつになるのかなあ。（70代以上・男性）
- 早く帰りたいと思って自分家の周りは草刈りとか手入れをしているのだが、いつになったら除染が始まるのか。私達の家の方が始まって来れるのか年数が経ち過ぎる。立ち入りをもう少し自由に出来れば。（70代以上・女性）

### 3-9-8 復旧・復興について

＜図表3-9-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- 今ではほとんど浪江に行く機会がなくなりましたが、用事があった際には街の風景がどんどん変わっていくことに驚いています。今後も、帰還住民だけでなく移住者も巻き込んだまちづくりを進めていただき、懐かしさと新しさが混在する素敵な町になってほしいです。（40代・男性）
- 教育施設が足りないと感じます。また、交通の電車の時間が足りなく、人が集まる施設が無いので、テーマパークまでとは言いませんが、あれば賑やかになると思います。（50代・女性）
- 町が少しずつ整備され、企業の誘致や、農業・水産業が徐々に進んでいる点に希望を持っています。頑張ってもらいたいです。（60代・女性）

#### 【ライフライン・インフラの整備について】

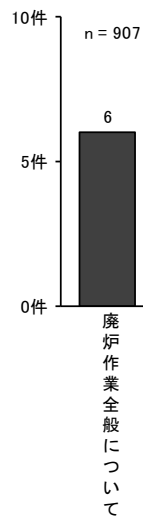
- 114号線の道路を早めに拡張して欲しい。また、今の114号線の脇の草、木を整備して欲しい。帰還困難の土地の草刈り等を年に一度でも良いのでやって欲しい。（50代・男性）
- 浪江までのアクセス道路の整備が遅い（無い）。川内や双葉は、中通りとの利便性さらに、高速道とのつながりが良い。114号線整備、高規格道路の敷設を、県、国に強く働きかけてほしい。教育施設が旧校舎の使い回しではなく、大熊や広野、川内のように、新設計によるより良い教育環境が実現できるような校舎を新設して欲しい。（60代・男性）
- 最低年1回くらいは町の行事に（十日市）町のバス出てましたがここ数年は有りません。80才以上の人は免許返納した人もいるので町では考えて下さい。（70代以上・男性）

#### 【医療施設の復興・充実について】

- 病院や、クリニック（総合病院や、専門的なクリニックなど）、眼科や、皮膚科とか新しく作って欲しい。（40代・男性）
- 地元の意向が十分に盛り込まれた事業への十分な援助をお願いしたい。例えば医療機関の充実など。救急車で遠方までの搬送を考えると帰還者や新規入所者の希望は薄れるのでは。（60代・男性）
- 診療所はありますが…整形外科 皮膚科 眼科があると良いです。原町まで行くのは高齢者には辛いです。朝早く出て順番取るし…1日かかります。（70代以上・男性）

### 3-9-9 原発の安全性について

<図表3-9-9 原発の安全性についての意見>



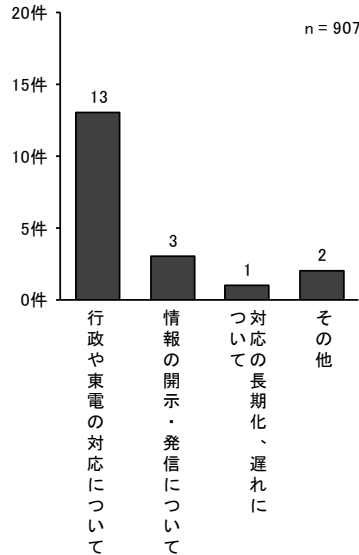
上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【廃炉作業全般について】

- 年に2回彼岸に線香あげにいたり、親父の顔を見に行ってます。将来的には、帰りたいと思っています。自宅の庭に、野菜を植えました。除染で土を取った為、野菜が育ちにくい環境です。栄養土が無くなった為だと思います。おそらく、除染土は、県外に搬出せず、あのまま、原発内か、あのままの状況だと思います。多分、政府は、法律を改正し、県外搬出はしないと思います。また、廃炉は、後何十年も掛かり、東電の工程通りに行かないと思う。福島県の復興は、その2件で、まだまだ、数十年先だと思う。  
(60代・男性)
- 原発のこれからのデブリ取り出しが心配。(70代以上・男性)
- 原発の廃炉については順調にいてほしいのですが…難しいですね！(70代以上・男性)

### 3-9-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-9-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

- 可能な限り、浪江町の復興支援を継続してほしい。（60代・男性）
- 帰還困難区域の、宅地・家屋の早急な買い取り。売却希望者→東京電力及び国が、責任を持って買い取るべき。他県に避難し、高齢になり、土地の管理が出来ない。※土地の国／町への譲渡は出来るのですか？東日本大震災／原子力発電事故は、過去にない重大事故だと思います。今までの法律ではなく、重大事故にあった法律を作り被災者を救済するべきだと思います。原子力発電事業は国策で有る以上、国は、被災者を最後まで見捨てず救済して頂きたい。（70代以上・男性）
- 現在、自宅へは雪が降らない限り雨の日も月に1回帰っております。私達は移住の為津島を購入し、主人は仕事の関係で住民票を移動する事が難しかったので私の住民票を移動致しました。兼業農家となり農業委員会のセミナーを受けトラクターやコンボも購入し、着々と移住準備を進めておりました最中に帰還困難区域になってしまいました。上記経緯により、賠償請求も二転三転（被災者として認めない→認める→認めない→その後連絡なし）致しました。60歳を過ぎた頃突然、未賠償請求の通知が届きました。東電の対応を、人としてどの様に理解したら良いのか悩んでおります。（70代以上・女性）

#### 【情報の開示・発信について】

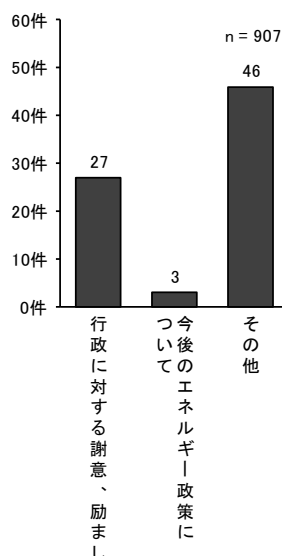
- 高瀬川、室原川、大柿ダムは、今でも釣り禁止です。いつになったら溪流釣りが出来る様になるのか？原発から拡散された放射性物質から出される放射線のレベルの数値が幾つになればOKなのか？それは何年後なのか公表して欲しい。請戸漁港内の釣りは、今でも禁止の看板が掲示されています。なぜ釣り禁止なのか理由を説明して欲しい。かえって原発処理水の海洋放出との関連性を疑われてしまうのではないのでしょうか。釣り、山菜とか草採り、いつになったら出来る様になるのか？震災前に好んでやっていた趣味が、何一つ出来ない。私にとっては、何一つとして復興していません。（60代・男性）
- 第1、第2原発廃炉後どの様に復旧するのか、何年掛かるのか知りたい、また、廃炉中、再度事故は発生しないのか、原発は安全と聞いていましたが大きな事故があったので今後心配です。（70代以上・男性）

【対応の長期化、遅れについて】

- すでに、総理大臣名で避難させられてから15年も経ち、人々は、避難先で生活基盤が出来て、その地域から容易に去れなくなっている。その場所で生活するゆえ土地を買い、家を建てればすでに支援金はない、この状況でふる里へ帰れといわれても、そこで家を建て、生活を始めるには、また支援を受けなければ無理です。又、5年くらいで、帰れたら、いろいろ仕事もできたと思うが、15年以上ですよ、できることもできなくなっています。（60代・男性）

3-9-11 その他

<図表3-9-11 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【行政に対する謝意、励まし】**

- 避難先から墓参りに行く際には、必ず自宅に立ち寄ります。今は納屋しかありませんが、当時の情景などが思い出されます。いつかはまた浪江町に戻って住みたいです。浪江町の発展に携わる関係者の皆様には尽力していただき感謝の気持ちでいっぱいです。イベントもいろいろと考えてくださり素晴らしいと思います。（50代・男性）
- 年に0～2回程浪江に行きます。もう建物はないけれど以前住んでいた場所や母校、お墓参り、道の駅、海岸に寄ったりぐるりと回ってみます。新しい施設や住んでいる人も他県からの移住者も多いとき浪江町の維持や復興に携わってくれてる方に感謝の気持ちもありつつ、自分が過ごしていた頃の町並みはなく、少し寂しさも感じます。（50代・女性）
- 高齢になり浪江に戻る事が出来なくとても残念に思います。墓参りや友人達と時々、浪江に行っては楽しみながら思い出話をすると気持ちがおだやかになります。これからも出来るだけ足を向けて行きたいと思っていますので浪江の復興見て行きたいと考えています。頑張ってください。（70代以上・女性）

**【今後のエネルギー政策について】**

- 原発被害は、これだけ長期に影響を与えることを日本国民は、知っておくべきで、安易な判断のもとで、原発の再稼動や原発促進について進むべきではない。（50代・男性）
- 基本的には原子力が必要である。BWRやPWRではなく新しいタイプの原子力発電所を作る必要があると感じる。何故と言うと送電線があり、福島第二原子力発電所は廃炉だけど新規タイプ原子炉作れば雇用と産業発展につながる。反対派は多いと思うが、日本の将来のため、電気がなくなったら、原子力より怖いと思う。（70代以上・男性）

## **IV 參考資料**



# 浪江町 住民意向調査

～「町内のまちづくり」「町外の支援の方向性」へのご意向をお聞かせください～

## 【この調査について】

### ●調査対象者：各世帯の代表者

※現在の世帯が何カ所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

### ●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

### ●提出期限：10月24日（金）まで

※記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。  
(切手は不要です)

### ●ご回答にあたっての注意事項

・本調査は「記名式」の手法でお願いしています。次のページに「氏名」の記入をお願いします。

以下の方法でご回答ください。

- ・選択肢のうち、当てはまる番号を選び、その番号に ○ を記入してください。
- ・「その他」に○をされた場合は、( ) 内に具体的な内容を記入してください。
- ・内には、具体的な内容（市町村名、人数など）を記入してください。

### ●WEBでのご回答

・以下に記載のURL又はQRコードにパソコン、スマートフォン等でアクセスいただくことにより、オンラインで回答いただくことができます。

URL : [https://src2.webcas.net/form/pub/src1/r7\\_ikou\\_tyousa\\_02](https://src2.webcas.net/form/pub/src1/r7_ikou_tyousa_02)

・ご回答の際は、下記調査IDでログインしてください。

調査ID : 20001



### ●この意向調査で得られた情報（個人情報を含む）の取り扱い

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、復興庁、福島県及び浪江町において適切に管理し、各種施策の検討・推進の目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行いますので、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

※この意向調査への回答は、あくまでも現在の考えを聞くものであり、町内に戻ることを求めるものではありません。

## 【お問い合わせ先】

復興庁  
「住民意向調査」  
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-342

[設置期間：10月7日（火）～10月24日（金） 平日10時～17時]

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
避難地域復興局 避難地域復興課  
電話：024-521-8436

福島県

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2  
浪江町役場 企画財政課 企画調整係  
電話：0240-34-0240

浪江町

本調査のご記入にあたっては、世帯内でよくご相談の上、ご回答ください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 1** あなたの氏名、性別、現在の年齢を教えてください。

(1) 氏名

(2) 性別（○は1つ）

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

(3) 年齢（○は1つ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ～19歳   | 8. 50～54歳  |
| 2. 20～24歳 | 9. 55～59歳  |
| 3. 25～29歳 | 10. 60～64歳 |
| 4. 30～34歳 | 11. 65～69歳 |
| 5. 35～39歳 | 12. 70～74歳 |
| 6. 40～44歳 | 13. 75～79歳 |
| 7. 45～49歳 | 14. 80歳以上  |

【すべての方にうかがいます。】

**問 2** 現在の世帯の主な収入源となる方の就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。

なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態（○は1つ）

- |                             |                                   |            |
|-----------------------------|-----------------------------------|------------|
| 1. 自営業・会社経営者                | 7. パート・アルバイト                      | } ⇒問 2-1 へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中であり、今後再開予定) | 8. 自営業者・会社経営者<br>(休業中であり、職を探している) |            |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)   | 9. 無職(職を探していない)                   |            |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)   | 10. 無職(職を探している)                   |            |
| 5. 団体職員                     | 11. その他 [具体的に                     |            |
| 6. 公務員                      |                                   | ]          |

【問2(1)で「1」～「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業        | 12. 飲食サービス業               |
| 2. 林業        | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業        | 14. サービス業(他に分類されないもの)     |
| 4. 畜産業       | 15. 金融業                   |
| 5. 建設業       | 16. 保険業                   |
| 6. 製造業       | 17. 医療                    |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護                 |
| 8. 運輸業       | 19. 教育                    |
| 9. 卸売業       | 20. 公務                    |
| 10. 小売り業     | 21. その他 (具体的に             |
| 11. 宿泊業      | )                         |

⇩ 問3へ

【問2(1)で「8」～「10」と回答した方にうかがいます。】

**問2-1** 現在の世帯の主な収入源となる方の、今後の就業意向を教えてください。(○は1つ)

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| 1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい | ⇒問2-2へ |
| 2. 今後、浪江町外の職場で働きたい           | } ⇒問3へ |
| 3. 今後、働く予定はない                |        |
| 4. 分からない                     |        |

【問2-1で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

**問2-2** 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 6. パート・アルバイト    |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 特に希望はない ⇒問3へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. その他 (具体的に    |
| 4. 団体職員                   | )               |
| 5. 公務員                    |                 |

#### IV 参考資料

【問2-2(1)で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業        | 12. 飲食サービス業               |
| 2. 林業        | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業        | 14. サービス業(他に分類されないもの)     |
| 4. 畜産業       | 15. 金融業                   |
| 5. 建設業       | 16. 保険業                   |
| 6. 製造業       | 17. 医療                    |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護                 |
| 8. 運輸業       | 19. 教育                    |
| 9. 卸売業       | 20. 公務                    |
| 10. 小売り業     | 21. その他(具体的に              |
| 11. 宿泊業      | )                         |

東日本大震災発生時のあなたの世帯の状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- |           |           |         |           |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1. 1区     | 14. 高瀬    | 27. 田尻  | 40. 西台    |
| 2. 2区     | 15. 幾世橋   | 28. 末ノ森 | 41. 藤橋    |
| 3. 3区     | 16. 北幾世橋北 | 29. 大堀  | 42. 羽附    |
| 4. 4区     | 17. 北幾世橋南 | 30. 小野田 | 43. 津島    |
| 5. 5区     | 18. 北棚塩   | 31. 谷津田 | 44. 下津島   |
| 6. 6区     | 19. 南棚塩   | 32. 酒井  | 45. 南津島上  |
| 7. 7区     | 20. 請戸北   | 33. 室原  | 46. 南津島下  |
| 8. 8区     | 21. 請戸南   | 34. 立野上 | 47. 赤字木   |
| 9. 佐屋前    | 22. 中浜    | 35. 立野中 | 48. 手七郎   |
| 10. 川添北   | 23. 両竹    | 36. 立野下 | 49. 大昼    |
| 11. 川添南   | 24. 小丸    | 37. 荊宿  | 50. 分からない |
| 12. 上ノ原   | 25. 畑川    | 38. 加倉  |           |
| 13. 樋渡・牛渡 | 26. 井手    | 39. 酒田  |           |



【すべての方にうかがいます。】

**問 6** 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数を性別ごとにご回答ください。(性別ごとに人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	男性	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人
イ) 小学生	男性	人	オ) 18歳以上65歳未満	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人
ウ) 中学生	男性	人	カ) 65歳以上の方	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人

**将来に関するあなたの世帯のご意向についてお聞かせください。**

【すべての方にうかがいます。】

**問 7** 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。

「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. すでに浪江町に戻っている | ⇒問 8～9 へ   |
| 2. 戻りたいと考えている   | ⇒問 10～12 へ |
| 3. まだ判断がつかない    | ⇒問 13～14 へ |
| 4. 戻らないと決めている   | ⇒問 15 へ    |

問 8～9 は、問 7 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。

【問 7 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

**問 8** 浪江町内に戻られた判断材料はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- |                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 浪江での生活は気持ちが安らぐから              | 8. 勤務先が近いから                        |
| 2. 友人・知人等が町内に多く居住しているから          | 9. 見守り隊のパトロールなどにより安心して生活できると判断したから |
| 3. 商業施設が開業しているから                 | 10. 公営住宅・居住環境が整備されたから              |
| 4. 保育・教育環境が整備されているから             | 11. その他                            |
| 5. 医療機関(診療科)が開業しているから            | (具体的に                              |
| 6. 鉄道など公共交通機関が回復してきているから         |                                    |
| 7. 放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから |                                    |

【問7で「1.すでに浪江町に戻っている」と回答した方にかがいます。】

**問9** 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。

(○はいくつでも)

1. 医療機関(診療科)の拡充	10. バスなどの公共交通機関の再開・充実
2. 介護・福祉施設の充実	11. 町内コミュニティ活動(行政区などの活動も含む)や生涯学習環境の機会
3. 保育・教育環境の充実	12. 公営住宅・居住環境の整備
4. 見守り活動の継続	13. 継続的な健康管理などの、放射線に対する不安解消への取組、放射線量低減対策
5. 就業支援	14. その他
6. 従業員の確保への支援	(具体的に
7. 防犯体制の強化	)
8. 有害鳥獣対策の強化	
9. 商業施設の再開・充実	

【問7で「1.すでに浪江町に戻っている」と回答した方にかがいます。】

**問9-1** 問9で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

問9の 選択肢番号	お考え
(例) 5	町内で就職する際のサポートをして欲しい。

➤ 問16へ

問 10～12 は、問 7 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。

【問 7 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 10** 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | ⇒問 11 へ   |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | ⇒問 10-1 へ |
| 3. 現在検討しているところ    | ⇒問 11 へ   |
| 4. 検討していない        | ⇒問 11 へ   |

【問 10 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 10-1** 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数を性別ごとにご回答ください。(性別ごとに人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	男性	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人
イ) 小学生	男性	人	オ) 18歳以上65歳未満	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人
ウ) 中学生	男性	人	カ) 65歳以上の方	男性	人
	女性	人		女性	人
	無回答	人		無回答	人

【問7で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 11** 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

**【元の住居と違う場所】**

1. 新たに一戸建の持ち家を新築または購入
2. 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用
3. 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用
4. 新たに公営住宅(一戸建)を借用
5. 新たに公営住宅(集合住宅)を借用

⇒問 11-1 へ

**【元の住居と同じ場所】**

6. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
7. 元の民間賃貸住宅(一戸建)
8. 元の民間賃貸住宅(集合住宅)
9. 元の給与住宅(社宅など)

**【その他】**

10. 家族のどなたかのお住まい・実家
11. 親戚・知人宅
12. 現時点では判断できない
13. その他(具体的に )

⇒問 12 へ

【問11で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

**問 11-1** 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

1. 現在、住まいの希望先を検討している
2. 現時点では判断できない
3. 住まいの希望先を決めている(具体的な行政区 : )

【問7で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 12** 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(○は1つ)

1. すぐに戻りたい ⇒問 12-1 へ
2. 数年で帰りたい(5年以内)
3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい(6年以降)
4. 分からない

⇒問 16 へ

【問 12 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 12-1** 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策
2. 住宅の修繕や建て替えへの支援
3. 住宅の新築・購入の支援
4. 公営住宅や民間賃貸住宅への入居支援
5. 買い物環境の充実
6. 健康や介護環境の充実及び支援
7. 子育てや学校教育への支援
8. 生活交通環境の充実及び支援
9. 就業環境の充実及び支援
10. 従業員の確保への支援
11. 携帯電話、地デジ放送等通信環境の改善
12. 特にない
13. その他(具体的に )

 問 16 へ

問 13~14 は、問 7 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 7 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問 13** 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低減せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから
16. 元の住家を解体しており、戻る家がないから

【今後の生活に関わるもの】

17. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
18. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
21. 鳥獣による被害が心配だから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. すでに生活基盤ができているから
26. その他

（具体的に）

【問 7 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問 14** 今後のお住まいとして、検討する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持ち家(一戸建)</li> <li>2. 持ち家(集合住宅)</li> <li>3. 民間賃貸住宅(一戸建)</li> <li>4. 民間賃貸住宅(集合住宅)</li> <li>5. 公営住宅</li> <li>6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 家族のどなたかのお住まい・実家</li> <li>8. 親戚・知人宅</li> <li>9. その他</li> </ol> |
|--|---|

（具体的に）

➤ 問 16 へ

問 15 は、問 7 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 7 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問 15** 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低減せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから
16. 元の住家を解体しており、戻る家がないから

【今後の生活に関わるもの】

17. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
18. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
21. 鳥獣による被害が心配だから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. すでに生活基盤ができているから
26. その他

具体的に

復興公営住宅について、あなたの世帯のご意見をうかがいます。

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰還に向け、仮設住宅等から安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※浪江町が整備した町内の公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 16** 福島県営の復興公営住宅(浪江町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. すでに入居している、もしくは入居の申込み中である    | 3. 入居を希望しない          |
| 2. 今後、入居の申込みをしたい<br>⇒ 問 16-1 へ | 4. 判断できない (判断できない理由) |

↳ 問 16 で「1」「3」「4」と回答した方は問 17 へ

【問 16 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 16-1** 入居を希望する時期について教えてください。(○は1つ)

- |          |             |               |
|----------|-------------|---------------|
| 1. 令和7年度 | 3. 令和9年度    | 5. その他 (具体的に) |
| 2. 令和8年度 | 4. 令和10年度以降 |               |

【問 16 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 16-2** 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 福島市   | 4. いわき市 | 7. 田村市  | 10. 三春町 |
| 2. 会津若松市 | 5. 白河市  | 8. 南相馬市 | 11. 広野町 |
| 3. 郡山市   | 6. 二本松市 | 9. 川俣町  |         |

※この質問への回答により、入居申込み等に影響があるものではありません。

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8306

浪江町からの情報入手について、あなたの世帯のご意見をお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 17** 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(○はいくつでも)

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 広報なみえ                   | 9. 新聞(福島県内の地方紙)       |
| 2. 浪江町メールマガジン              | 10. 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙) |
| 3. なみえ新聞                   | 11. テレビ               |
| 4. 浪江町ホームページ               | 12. ラジオ               |
| 5. 浪江町フェイスブック(つながろうなみえ)    | 13. 友人・知人からの口コミ       |
| 6. 浪江町公式 YouTube(なみえチャンネル) | 14. その他 (具体的に         |
| 7. 浪江町・うけどん公式X(旧 Twitter)  | )                     |
| 8. 魅力発信サイト(あいべえなみえ)        |                       |

【すべての方にうかがいます。】

**問 18** 広報なみえ、ホームページ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。(○はいくつでも)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 現在の浪江町内の様子    | 7. 除染の進捗状況    |
| 2. 復興の進行状況       | 8. 浪江町長の動向    |
| 3. 浪江町内の求人情報     | 9. 浪江町議会の様子   |
| 4. 浪江町民の声        | 10. 賠償に関する情報  |
| 5. 浪江町内でのイベントの様子 | 11. その他 (具体的に |
| 6. こども園・小中学校の情報  | )             |

【すべての方にうかがいます。】

**問 19** タブレット事業は終了しましたが、タブレットに搭載されていた「なみえ新聞」は、スマートフォンやパソコンなどから利用できます。「なみえ新聞」では、毎日、イベント情報、なみえのニュース、町民等の皆さんによる写真投稿等を更新していますが、利用していますか？

(○は1つ)

- |                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 1. 利用していない ⇒ <u>問 19-1</u> へ | 5. 月に数回利用している |
| 2. 毎日利用している                  | 6. その他 (具体的に  |
| 3. 週に4~6日程度利用している            | )             |
| 4. 週に2~3日程度利用している            |               |

問 19 で「2」~「6」と回答した方は問 20 へ

【問 19 で「1. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】

問 19-1 なみえ新聞を利用されていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 利用したいサービスがないため             | 5. その他(具体的に |
| 2. なみえ新聞自体を知らない               |             |
| 3. 利用したいが使い方が分からない            |             |
| 4. 機種変更により「なみえ新聞」が利用できなくなったため |             |



**「なみえ新聞」は毎日更新しています！**

アプリ版の「なみえ新聞」はサービスを終了しましたが、ウェブ版で今まで通りご利用いただくことができます。左記のバーコードを読み込んでご利用ください。

※町民申請を行うと「おくやみ情報」や「福島県のニュース」が閲覧できます。

**◆ スマホ・タブレットの使い方をサポートしています ◆**

企画財政課では、タブレットやスマートフォンなどの使い方相談会を定期的に行っています。

詳しい開催日は町広報にてお知らせしています。

役場窓口でもご相談を受け付けています。

浪江町役場 企画財政課 情報統計係 TEL : 0240-34-0241

不動産（土地・家屋）の取り扱いについて、あなたの世帯の意向をお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 20** 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 既に使用している          | 8. まだ判断がつかない(帰還困難区域を含む)         |
| 2. 解体して建て替えた         | 9. 保有している家屋はない                  |
| 3. 解体して更地にしたい        | 10. 保有している家屋を既に解体した(津波による流失も含む) |
| 4. 修繕して自ら使いたい        | 11. その他(具体的に                    |
| 5. 親戚・親族・友人に使ってもらいたい | )                               |
| 6. 売却または貸したい         |                                 |
| 7. 今後判断したい           |                                 |

【すべての方にうかがいます。】

**問 21** 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 既に使用している          | 6. まだ判断がつかない(帰還困難区域を含む) |
| 2. 自ら使いたい            | 7. 保有している宅地はない          |
| 3. 親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 8. その他(具体的に             |
| 4. 売却または貸したい         | )                       |
| 5. 今後判断したい           |                         |

【すべての方にうかがいます。】

**問 22** 町内に保有している農地の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1. 既に使用している             | 5. 保有している農地はない |
| 2. 営農を再開したい             | 6. その他(具体的に    |
| 3. 売却または貸したい            | )              |
| 4. まだ判断がつかない(帰還困難区域を含む) |                |

浪江町に対してあなたの世帯が持つ思いをお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 23 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。(○は1つ)

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 持っている  | 3. どちらともいえない |
| 2. 持っていない |              |

【すべての方にうかがいます。】

問 24 浪江町の自慢できる場所は何ですか。(○はいくつでも)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 自然   | 6. 福祉安全    |
| 2. 気候   | 7. 人間性     |
| 3. 観光資源 | 8. その他     |
| 4. 特産品  | 〔具体的に<br>〕 |
| 5. 伝統行事 |            |

国や福島県、浪江町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 25 国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

<記入例>

年に 1、2 回墓参りに行きます。故郷に帰って来たという気持ちで、避難前の年齢と気分に戻ることが出来ます。浪江の景色や潮風のおいしさに気持ちがなごみます。(70 代・女性)

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、  
**10月24日(金)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。**

**浪江町 住民意向調査  
報告書**

**令和8年3月**

**復興庁 福島県 浪江町**

**調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター**